

平成 30 年 6 月調査

障害者のスポーツに関する意識調査 報告書

東京都オリンピック・パラリンピック準備局

目次

1	調査概要	1
1.1	調査目的	1
1.2	調査方法及び回答結果	1
(1)	調査方法	1
(2)	調査内容	1
(3)	調査対象及び回答結果	1
(4)	調査期間	2
(5)	利用上の注意	2
2	調査結果	3
2.1	障害者の属性	3
(1)	本人あるいは同居する家族における障害者の有無	3
(2)	年齢	3
(3)	性別	4
(4)	障害の種類	4
(5)	障害者手帳の保有状況	6
(6)	障害が発生した年齢	10
2.2	スポーツ・運動の実施	11
(1)	過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無	11
(2)	過去1年間にスポーツ・運動を行った日数	16
(3)	過去1年間に行ったスポーツ・運動	21
(4)	スポーツ・運動を実施する場所	24
(5)	スポーツ・運動を一緒に実施する人	27
(6)	スポーツ・運動を実施する理由	30
(7)	スポーツ・運動を実施しない理由	33
(8)	今後実施したいスポーツ・運動	36
(9)	スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援	38
(10)	スポーツクラブや同好会・サークルへの加入状況とその形態	41
(11)	現在のスポーツ・運動への取組	44
2.3	スポーツ観戦の実施	48
(1)	過去1年間のスポーツ観戦の有無	48
(2)	スポーツ観戦を行う際に必要と考える支援	52
3	日常生活における車いす利用の有無によるスポーツ・運動の実施状況	54
4	まとめ	66
○	参考文献・付録	

注)「しょうがい」の用語は、「障がい」「障碍」などがあるが、本報告書では、法令等における表記である「障害」を使用した。

1 調査概要

1. 1 調査目的

今後の東京都における障害者スポーツ振興に向け、都内に居住する障害のある方のスポーツに関する意識を調査し、「東京都スポーツ推進総合計画」（平成30年3月策定）における政策目標の達成状況等を把握する。

1. 2 調査方法及び回答結果

(1) 調査方法

無記名式のインターネット調査

(2) 調査内容

- ・回答者本人および同居する家族の障害の有無
- ・障害者手帳の保有状況
- ・障害が発生した年齢
- ・過去1年間に行ったスポーツや運動の種目
- ・過去1年間に行ったスポーツや運動の実施頻度
- ・スポーツや運動を実施した場所
- ・スポーツや運動を一緒にする人
- ・スポーツや運動を実施した理由
- ・スポーツや運動を実施していない理由
- ・今後実施したいスポーツや運動の種目
- ・スポーツや運動を行う際に必要と考える支援
- ・スポーツクラブ、同好会やサークルへの加入状況とその形態
- ・スポーツや運動への取組の満足度
- ・過去1年間におけるスポーツ観戦の有無
- ・スポーツ観戦の際に必要なと考える支援

(3) 調査対象及び回答結果

インターネット市場でモニター登録している方の内、以下に該当する方を調査対象とした。

- ・都内に居住する18歳以上の障害者本人あるいは同居する家族に障害者がいる方

該当する回答者は1,004人であり、その属性は以下のとおり。【図表1、図表2、図表3】

なお、同居する家族として、障害者の兄弟、姉妹、子供が複数いる場合は、それぞれ年齢が一番上のものについてのみ、回答を依頼した結果、回答者本人及び同居する家族内の障害者を含めた障害者の総数は、1,366人であった。

【図表 1】回答者の居住地

居住地	回収数	比率 (%)
23区	679	67.6
多摩	325	32.4
島しょ	0	0.0
合計	1,004	

【図表 2】回答者の年齢

年代	回収数	比率 (%)
18～19歳	8	0.8
20歳代	97	9.7
30歳代	148	14.7
40歳代	237	23.6
50歳代	253	25.2
60歳代	156	15.5
70歳代以上	105	10.5
合計	1,004	

【図表 3】回答者の性別

性別	回収数	比率 (%)
男性	682	67.9
女性	322	32.1
合計	1,004	

(4) 調査期間

2018年6月7日～2018年6月13日

(5) 利用上の注意

- ア 比率の単位は「%」、実数の単位は「人」である。
- イ 百分率は、小数点以下第2位を四捨五入したため、内訳の合計が100%とならない場合がある。
- ウ 障害程度の分類〔軽度／重度〕については、以下のとおり分類を行った。
 - ・軽度：身体障害者手帳3～6級、療育手帳3～4度、精神障害者福祉保健手帳2～3級の保持者
 - ・重度：上記以外の障害者手帳保持者

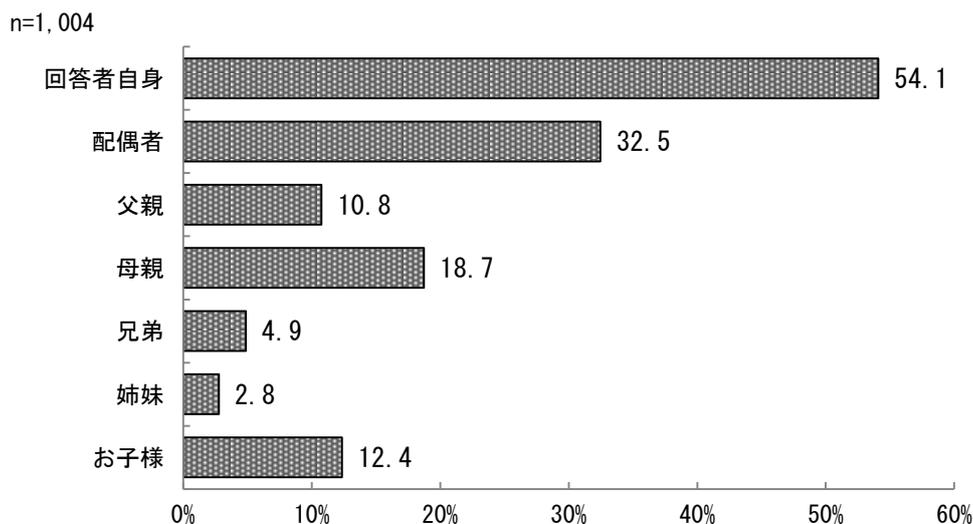
2 調査結果

2. 1 障害者の属性

(1) 本人あるいは同居する家族における障害者の有無

本人あるいは同居する家族における障害者の有無については、「回答者自身」(54.1%)が最も多く、次いで「配偶者」(32.5%)、「母親」(18.7%)であった。【図表4】

【図表4】 本人及び同居する家族における障害者の有無[複数回答]

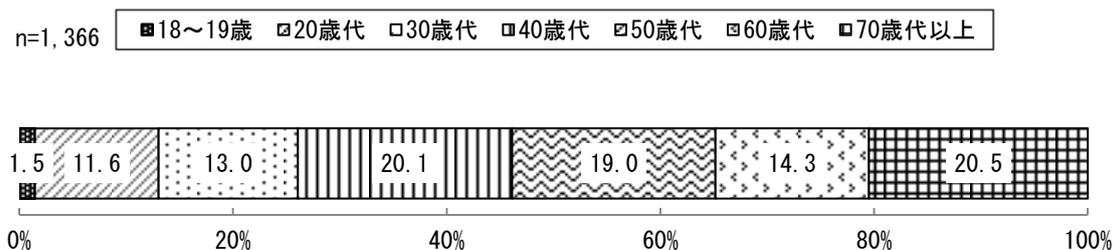


以降の報告では、障害者本人及び同居する障害者 1,366 人に関する回答結果を示している。

(2) 年齢

総務省の平成 27 年国勢調査では、東京都の 18 歳以上の人口の内、18~19 歳が 2.2%、20 歳代が 14.2%、30 歳代が 17.6%、40 歳代が 19.3%、50 歳代が 14.1%、60 歳代が 13.8%、70 歳以上が 18.8%であり、都民全体と比べて年齢構成に大きな差はなかった。【図表5】

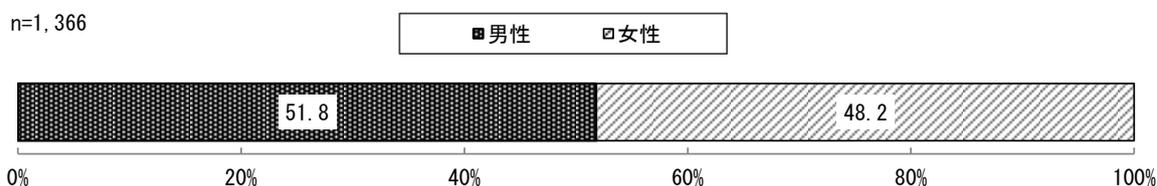
【図表5】 年齢



(3) 性別

総務省の平成 27 年国勢調査では、東京都の人口の内、男性が 49.3%、女性が 50.7%であり、都民全体と比べて大きな差はなかった。【図表 6】

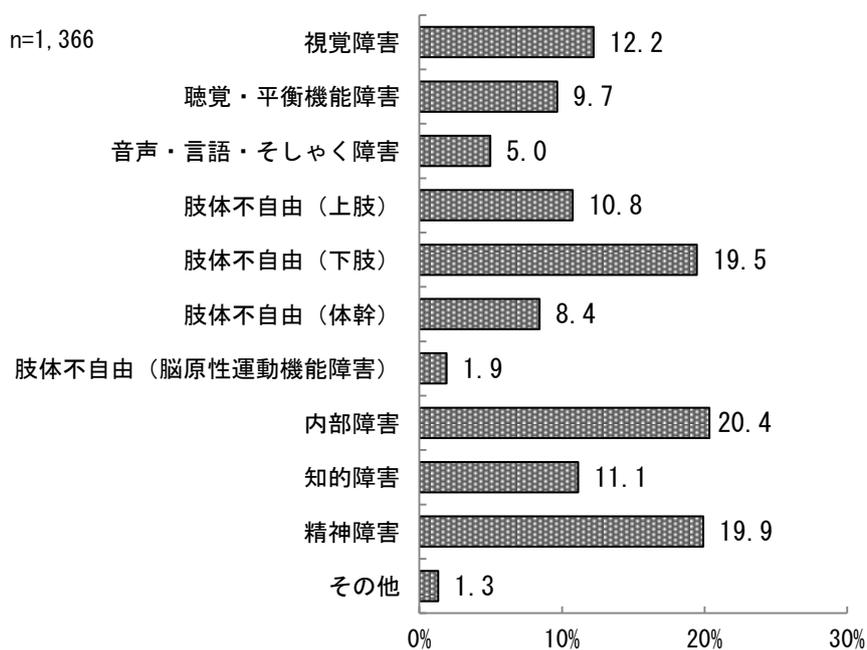
【図表 6】 性別



(4) 障害の種類

障害の種類は、「内部障害」(20.4%)が最も多く、次いで「精神障害」(19.9%)、「肢体不自由(下肢)」(19.5%)の順となっている。肢体不自由は、「上肢」「下肢」「体幹」「脳原性運動機能障害」を合わせると回答者の約4割を占めた。【図表 7】

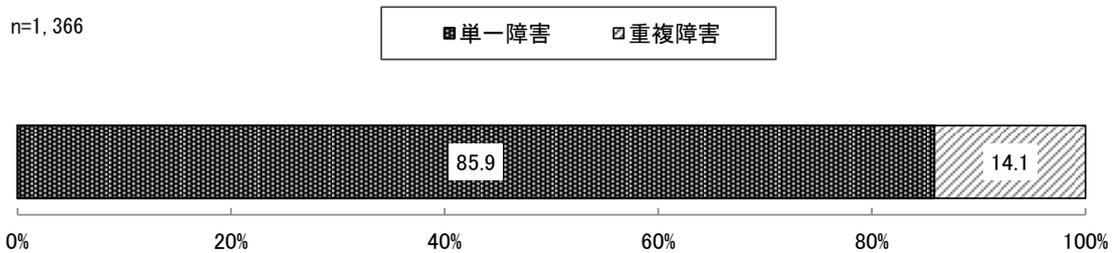
【図表 7】 障害の種類 [複数回答]



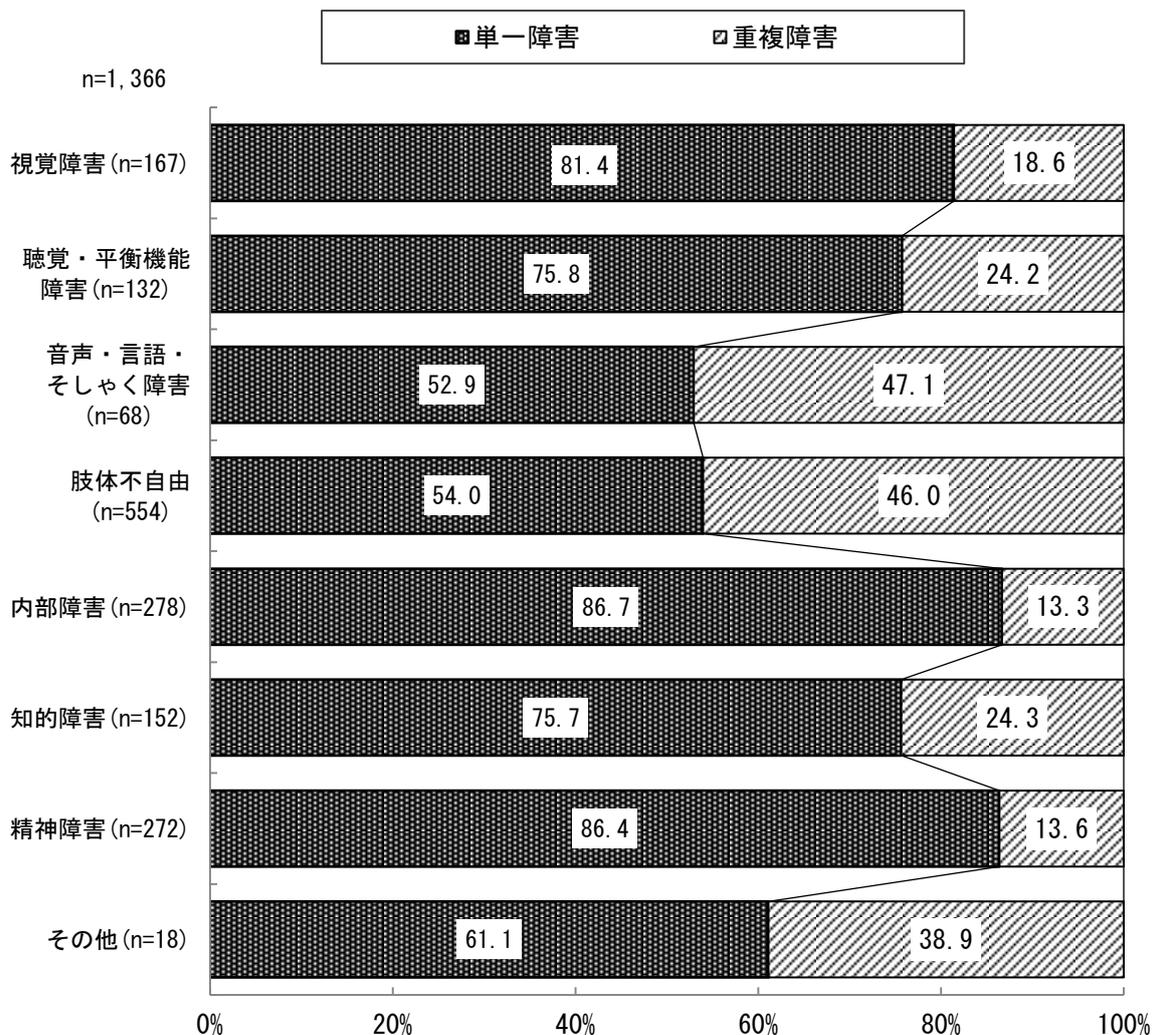
単一障害・重複障害の比率をみると、重複障害の比率は14.1%であった。【図表8】

障害種別にみると、重複障害の割合は、「音声・言語・そしゃく機能障害」が47.1%、「肢体不自由」が46.0%と、他の障害に比べて高かった。【図表9】

【図表8】 単一障害・重複障害の比率



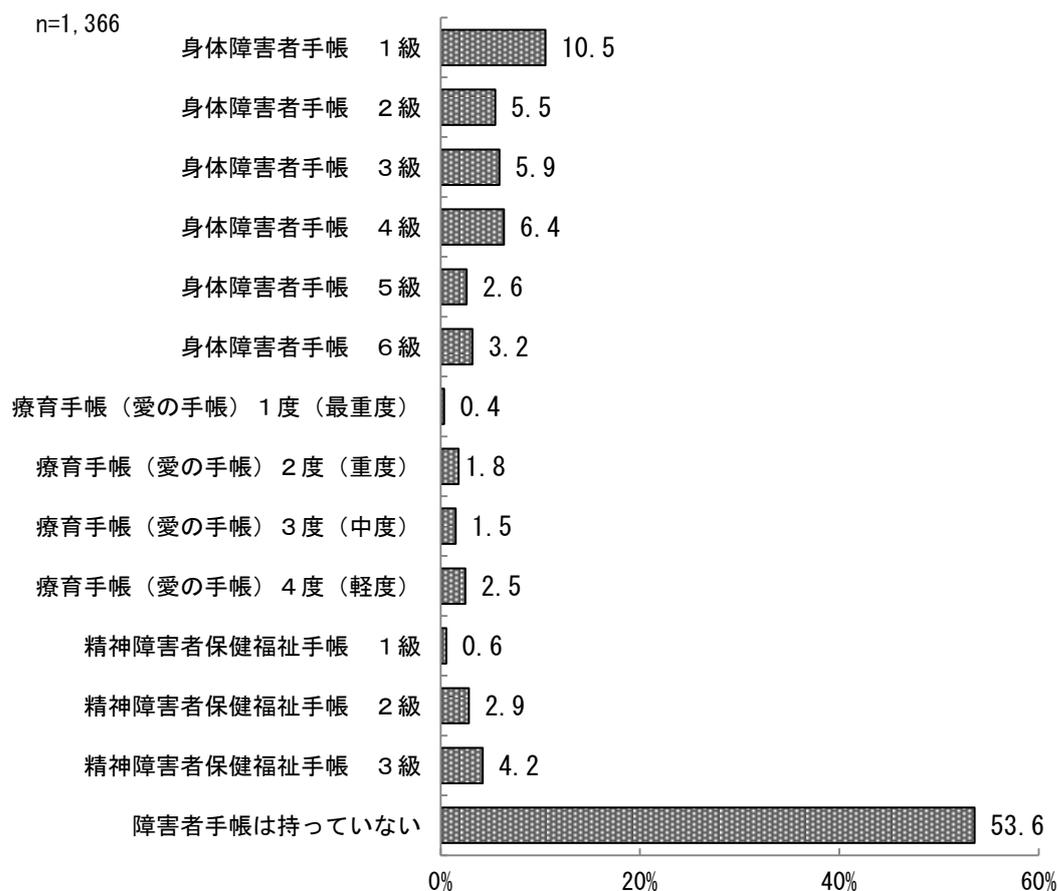
【図表9】 単一障害・重複障害の比率（障害種別）



(5) 障害者手帳の保有状況

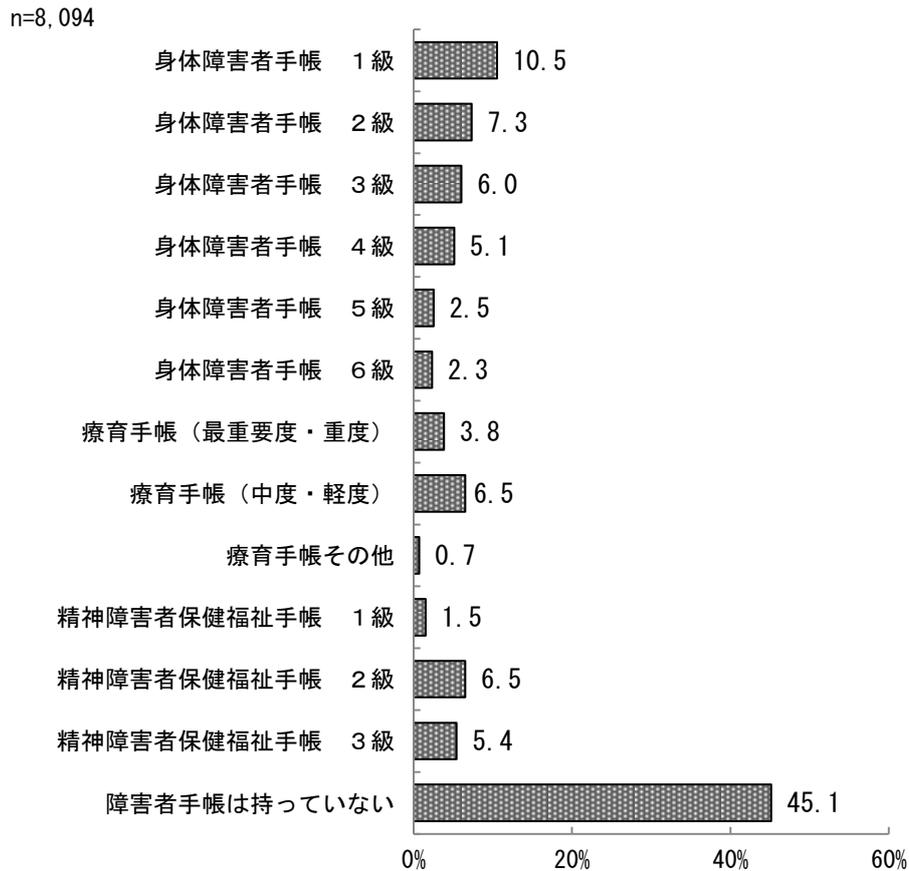
障害者手帳の保有状況については、「障害者手帳は持っていない」が 53.6%であった。障害者手帳を持っている人の中では、「身体障害者手帳 1 級」(10.5%) が最も多く、次いで「身体障害者手帳 4 級」(6.4%)、「身体障害者手帳 3 級」(5.9%) であった。【図表 10】

【図表 10】 障害者手帳の保有状況<<手帳の種類>> [複数回答]



スポーツ庁が全国の障害児・者を対象に実施している『地域における障害者スポーツ普及促進事業（障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究）』（笹川スポーツ財団：平成30年3月）と比べ、それぞれの手帳の保有率に大きな差はなかったが、本調査の方が「障害者手帳は持っていない」非保持者の割合が8.5ポイント高かった。【図表11】

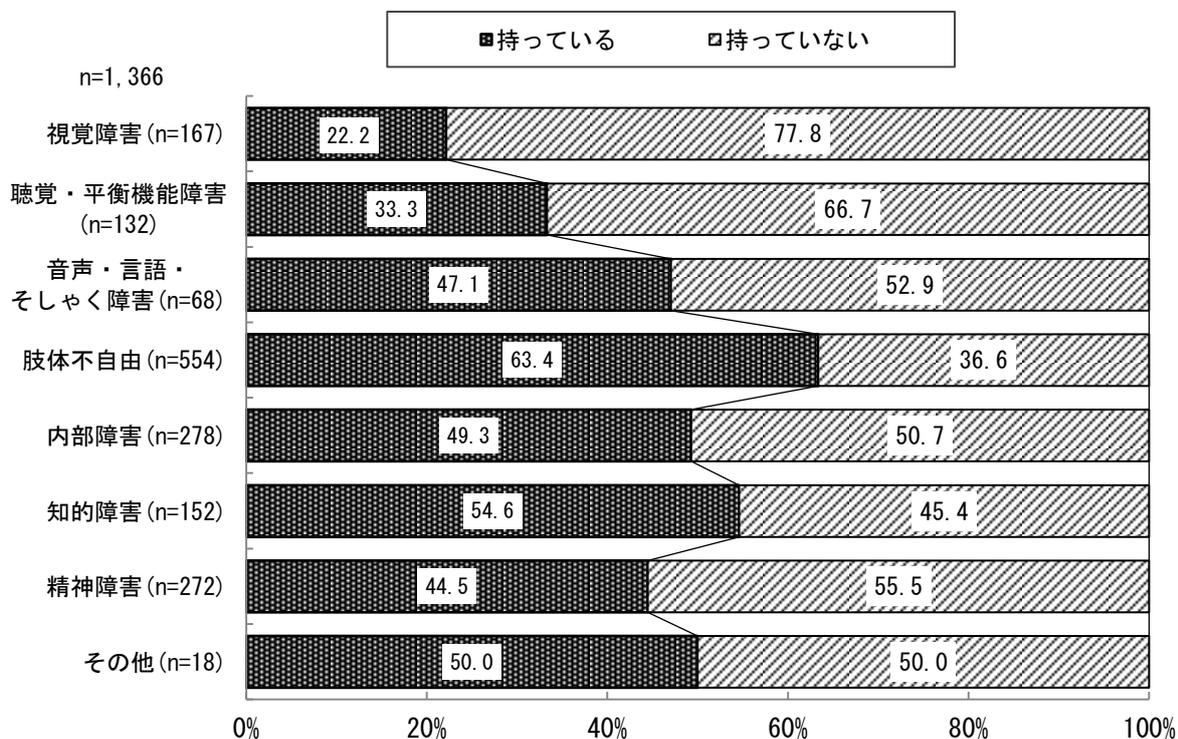
【図表11】 障害者手帳の保有状況<<手帳の種類>> [複数回答]
『地域における障害者スポーツ普及促進事業（障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究）』
（笹川スポーツ財団：平成30年3月）



障害種別にみると、障害者手帳の保有率は、「肢体不自由」(63.4%)、「知的障害」(54.6%)が5割を超えているが、「視覚障害」は22.2%と低かった。【図表12】

また、障害種別の障害者手帳の保有状況を見ると、重複して手帳を保持している方もいる。【図表13】

【図表12】 障害者手帳の保有状況《保有の有無》(障害種別)



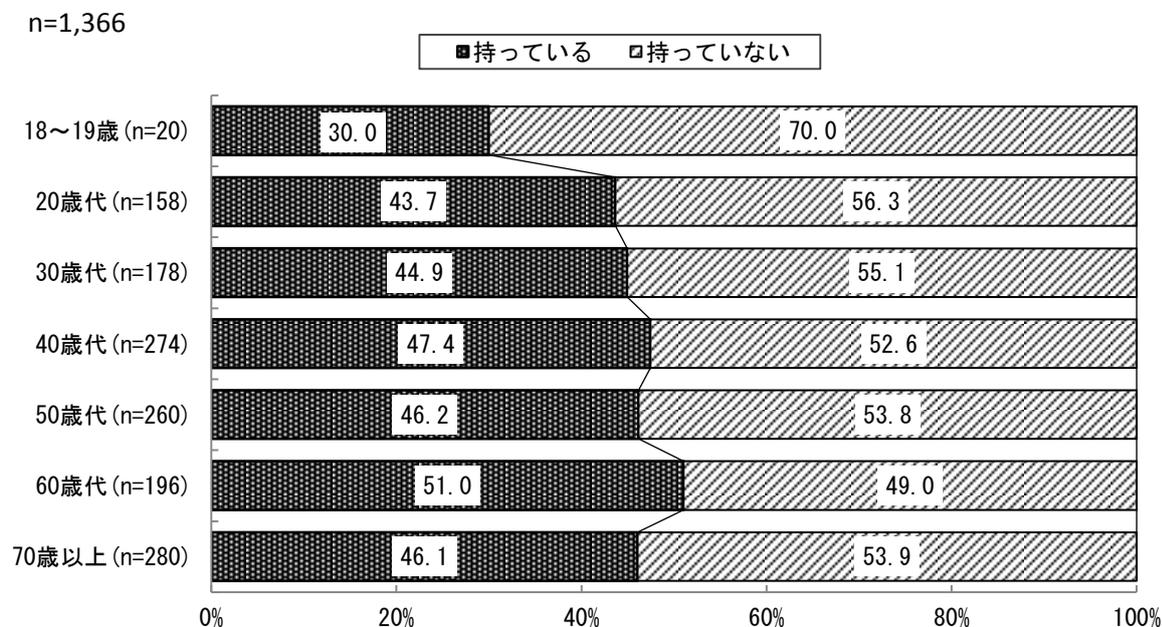
【図表13】 障害者手帳の保有状況《手帳の種類》(障害種別) [複数回答]

	視覚障害 (n=167)	聴覚・平衡機能障害 (n=132)	音声・言語・そしゃく障害 (n=68)	肢体不自由 (n=554)	内部障害 (n=278)	知的障害 (n=152)	精神障害 (n=272)	その他 (n=18)
身体障害者手帳 1級	4.2	6.1	7.4	13.9	25.9	4.6	4.0	27.8
身体障害者手帳 2級	3.6	6.8	5.9	12.6	3.2	2.0	1.1	5.6
身体障害者手帳 3級	4.8	6.8	10.3	11.4	6.5	3.3	1.1	0.0
身体障害者手帳 4級	4.2	4.5	7.4	11.0	7.9	3.3	0.7	5.6
身体障害者手帳 5級	0.6	3.0	5.9	5.8	1.1	3.3	1.1	0.0
身体障害者手帳 6級	3.6	3.8	4.4	5.8	1.4	1.3	0.7	0.0
療育手帳(愛の手帳)Ⅰ度(最重度)	0.0	0.0	1.5	0.5	0.0	0.7	0.0	0.0
療育手帳(愛の手帳)Ⅱ度(重度)	0.6	1.5	0.0	1.4	1.1	13.8	0.4	0.0
療育手帳(愛の手帳)Ⅲ度(中度)	0.0	1.5	2.9	1.1	0.7	9.2	1.8	0.0
療育手帳(愛の手帳)Ⅳ度(軽度)	1.2	1.5	2.9	0.5	1.1	15.1	2.2	0.0
精神障害者保健福祉手帳 1級	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.2	5.6
精神障害者保健福祉手帳 2級	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	1.3	13.2	5.6
精神障害者保健福祉手帳 3級	0.0	1.5	2.9	1.4	1.8	2.0	18.8	0.0
障害者手帳は持っていない	77.8	66.7	52.9	36.6	50.7	45.4	55.5	50.0

年齢別にみると、障害者手帳の保有率は、「18歳～19歳」が30.0%と低くなっている以外は、概ね40～50%程度で年齢による大きな差はなかった。【図表14】

また、身体障害者手帳は、年齢が上がるにつれて保有率が高くなる傾向にある。【図表15】

【図表14】障害者手帳の保有状況<保有の有無>（年齢別）



【図表15】障害者手帳の保有状況<手帳の種類>（年齢別）[複数回答]

(%)

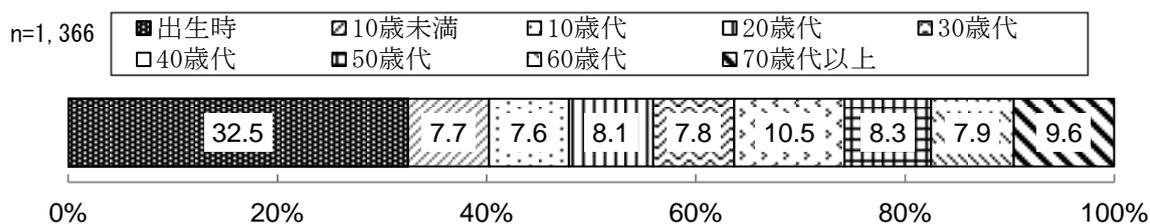
	18～19歳 (n=20)	20歳代 (n=158)	30歳代 (n=178)	40歳代 (n=274)	50歳代 (n=260)	60歳代 (n=196)	70歳以上 (n=280)
身体障害者手帳 1級	5.0	6.3	8.4	10.9	7.7	14.8	13.9
身体障害者手帳 2級	0.0	1.9	4.5	4.0	7.3	8.7	6.1
身体障害者手帳 3級	5.0	4.4	6.7	4.4	6.5	5.1	7.9
身体障害者手帳 4級	0.0	3.2	3.9	2.2	3.8	12.8	12.1
身体障害者手帳 5級	0.0	1.3	2.8	4.4	2.7	2.6	1.8
身体障害者手帳 6級	5.0	3.2	2.8	0.7	6.9	3.6	2.1
療育手帳（愛の手帳）Ⅰ度（最重度）	0.0	0.6	0.0	0.7	0.8	0.0	0.0
療育手帳（愛の手帳）Ⅱ度（重度）	0.0	6.3	2.2	3.3	0.0	0.5	0.4
療育手帳（愛の手帳）Ⅲ度（中度）	5.0	5.7	1.7	1.1	0.4	0.5	1.1
療育手帳（愛の手帳）Ⅳ度（軽度）	10.0	7.6	2.8	3.6	0.8	1.0	0.4
精神障害者保健福祉手帳 1級	0.0	1.3	0.0	1.8	0.4	0.0	0.0
精神障害者保健福祉手帳 2級	0.0	3.8	3.4	6.9	2.3	1.0	0.0
精神障害者保健福祉手帳 3級	0.0	2.5	5.6	6.6	7.7	1.5	1.1
障害者手帳は持っていない	70.0	56.3	55.1	52.6	53.8	49.0	53.9

(6) 障害が発生した年齢

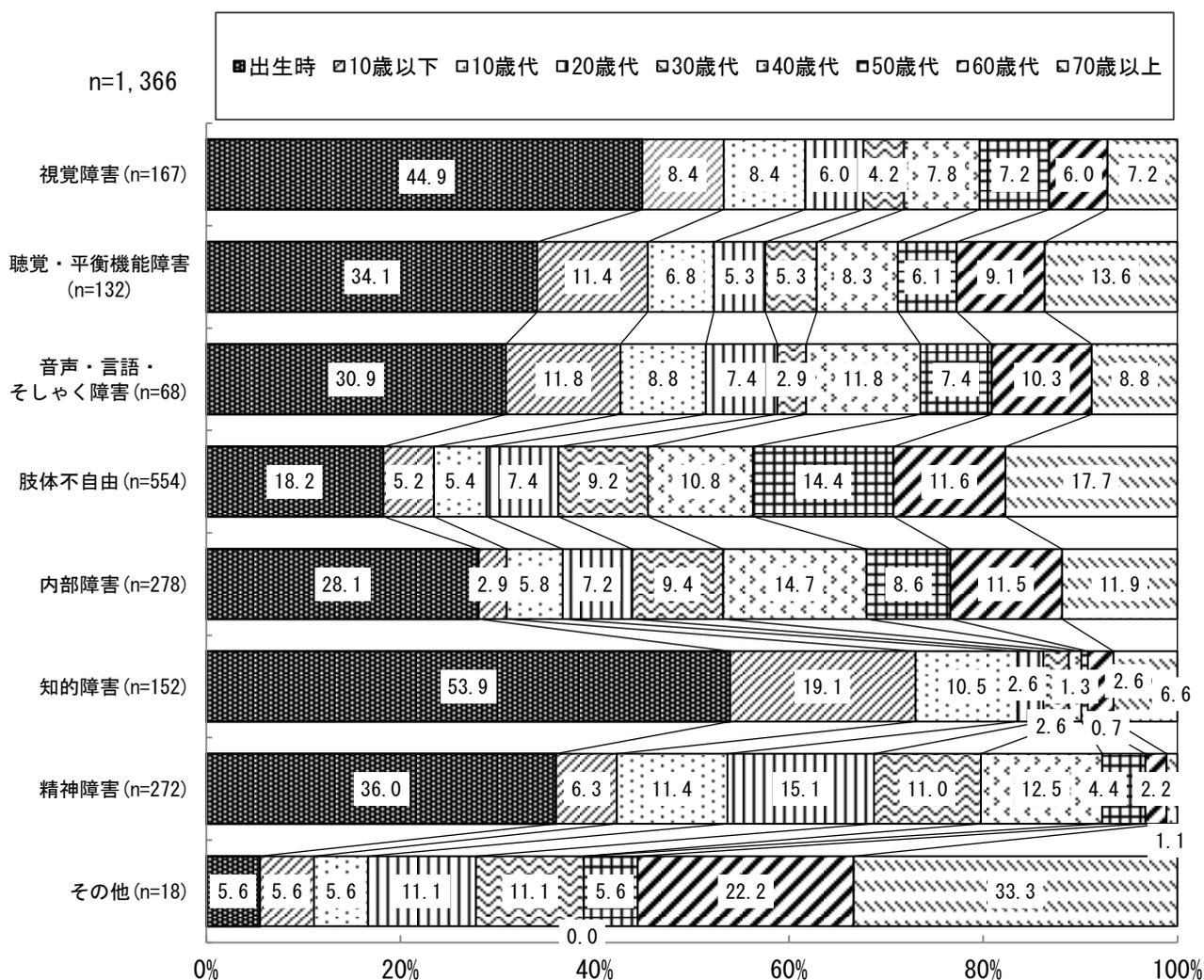
障害が発生した年齢については、「出生時」が32.5%である一方、「40歳代以降」に障害が発生した人も36.3%おり、障害が発生した年齢は多様である。【図表16】

障害種別にみると、他の障害と比べて、「知的障害」と「視覚障害」は、「出生時」の割合が高くなっている。また、「知的障害」は、低年齢時の発生が他の障害に比べて高く、「肢体不自由」は高年齢時の発生が他の障害に比べて高くなっている。【図表17】

【図表16】 障害が発生した年齢



【図表17】 障害が発生した年齢（障害種別）



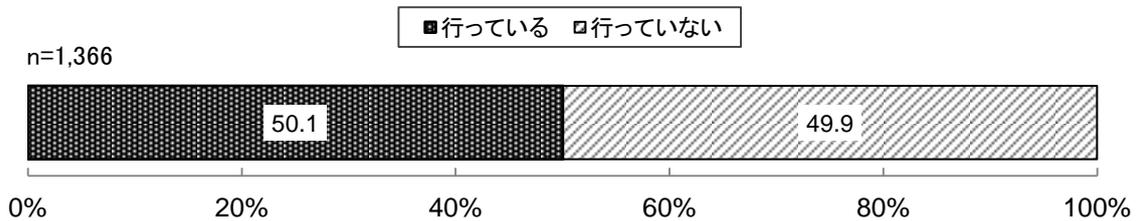
2. 2 スポーツ・運動の実施

(1) 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無

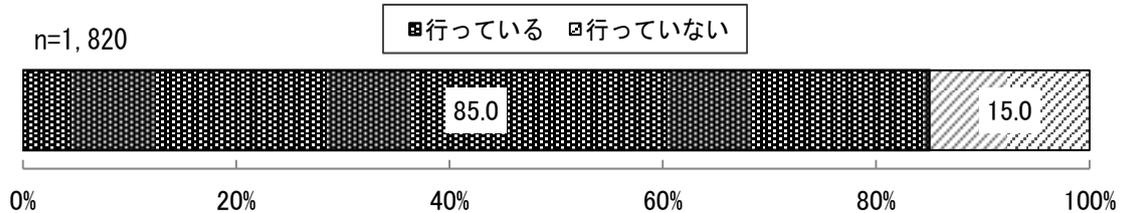
過去1年間のスポーツや運動の実施の有無については、「行っている」が50.1%であった。【図表18】

なお、18歳以上の都民全般を対象に実施している『都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査』（東京都生活文化局：平成29年1月）では、年1日以上スポーツ・運動実施者の割合は85.0%となっている。【図表19】

【図表18】 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無



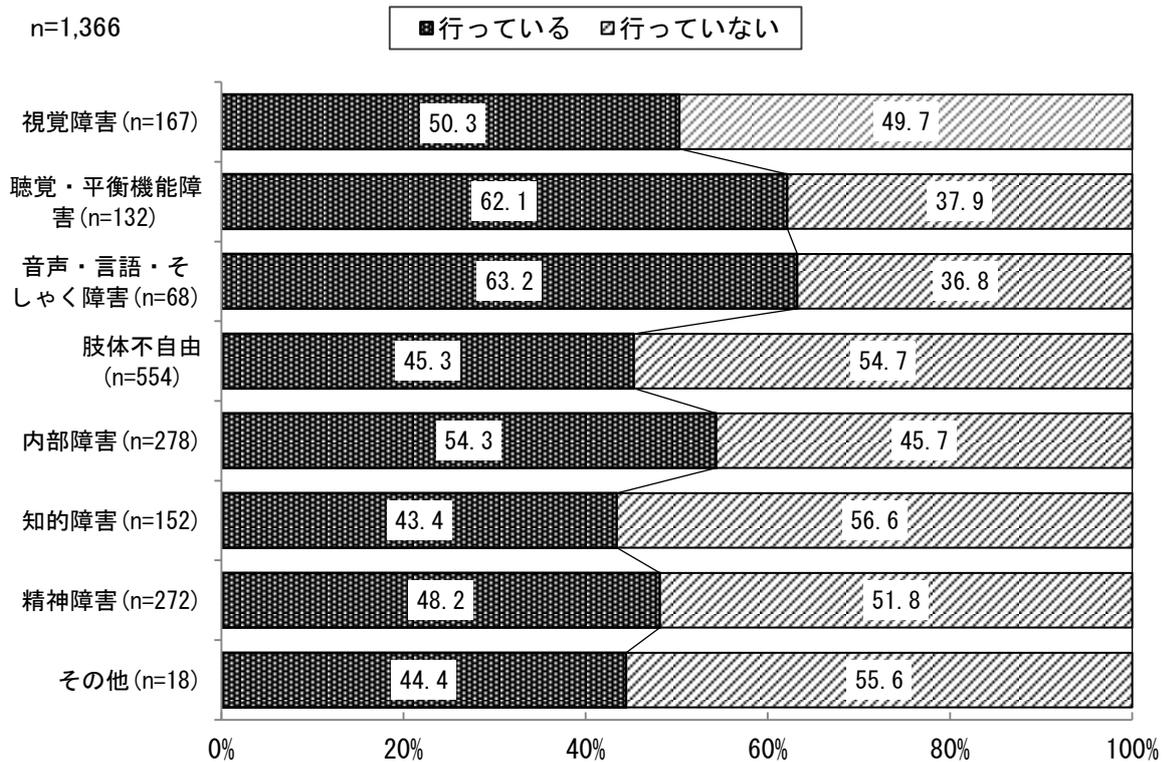
【図表19】 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無
『都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査』
(東京都生活文化局：平成29年1月)



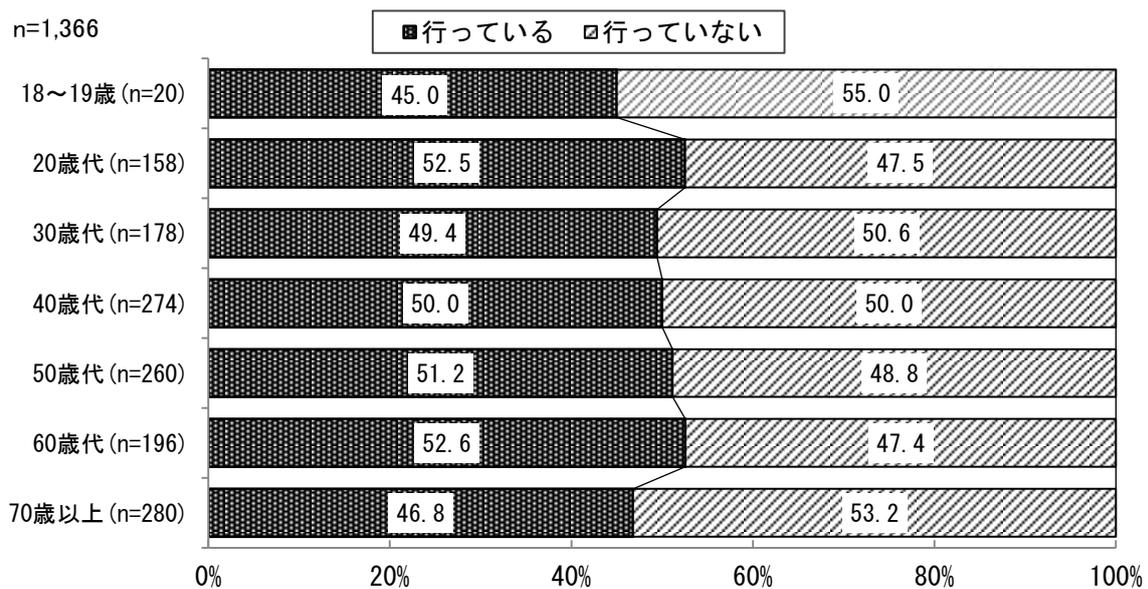
障害種別にみると、他の障害と比べて、「知的障害」(43.4%)、「肢体不自由」(45.3%)が低い一方で、「音声・言語・そしゃく障害」(63.2%)、「聴覚・平衡機能障害」(62.1%)が高かった。【図表 20】

また、年齢別で見ると、実施率については大きな差がなかった。【図表 21】

【図表 20】 過去 1 年間のスポーツ・運動の実施の有無 (障害種別)

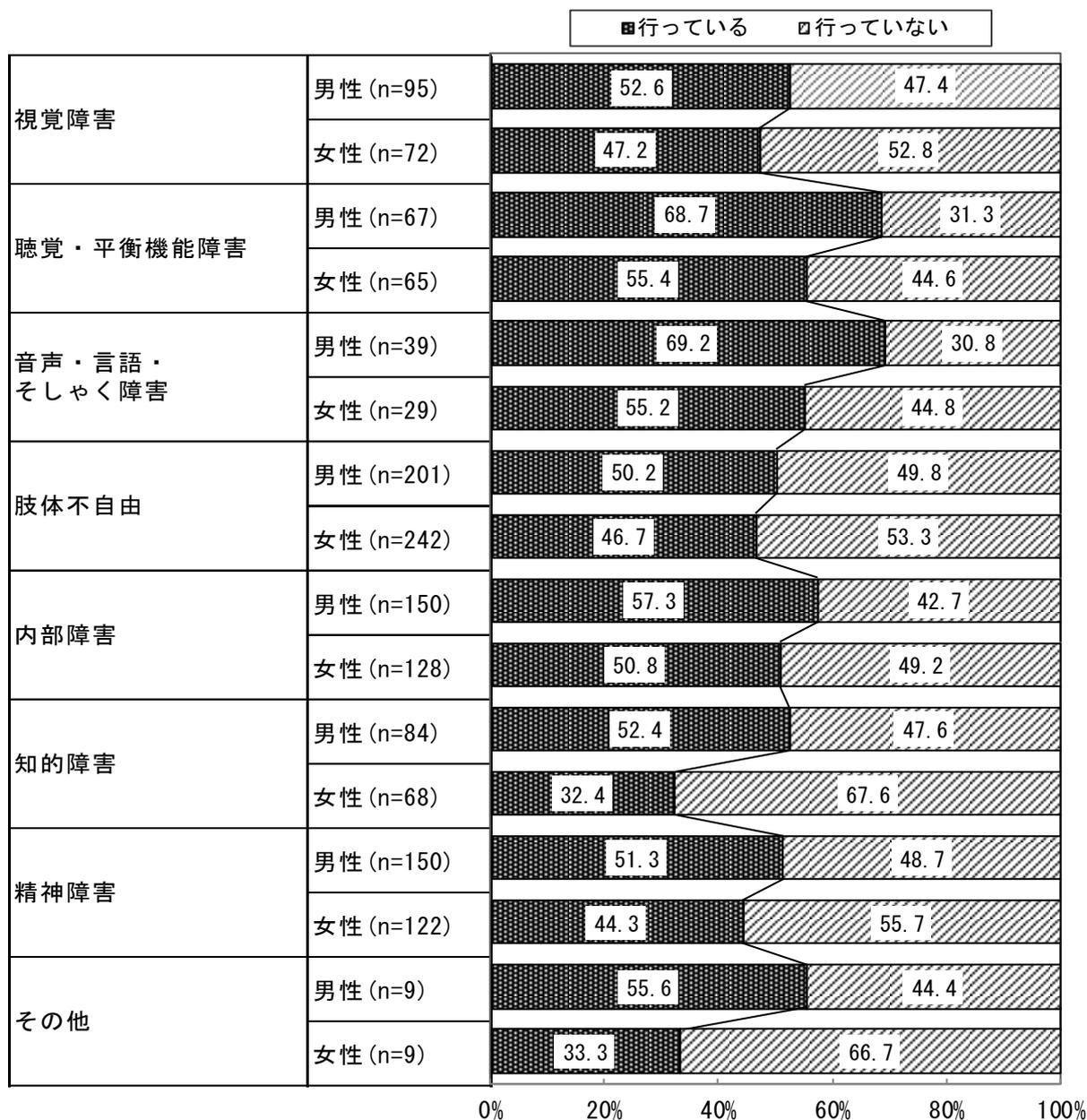


【図表 21】 過去 1 年間のスポーツ・運動の実施の有無 (年齢別)



性別でみると、全ての障害において、女性よりも男性の実施率が高く、「知的障害」では20.0ポイント、「音声・言語・そしゃく障害」では14.0ポイント、「聴覚・平衡機能障害」では13.3ポイントの差があった。【図表 22】

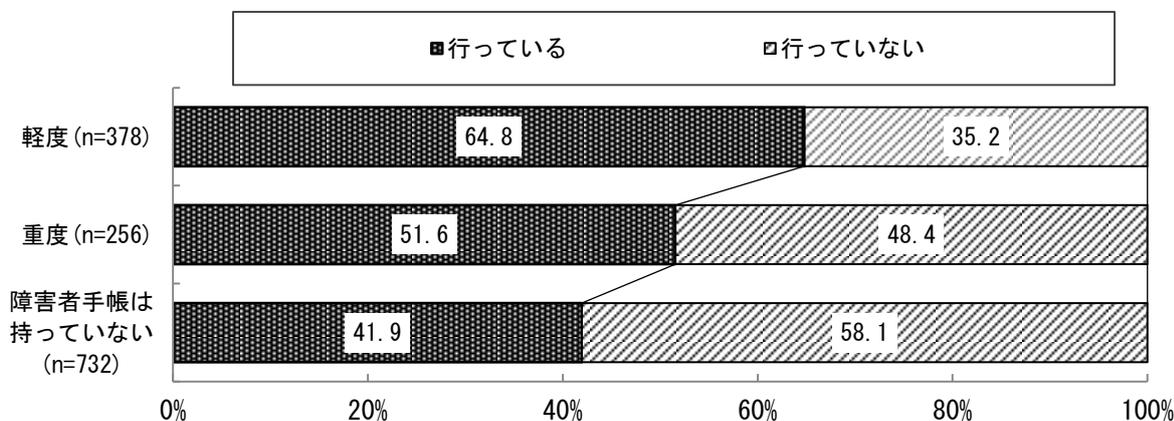
【図表 22】 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無（障害種別・性別）



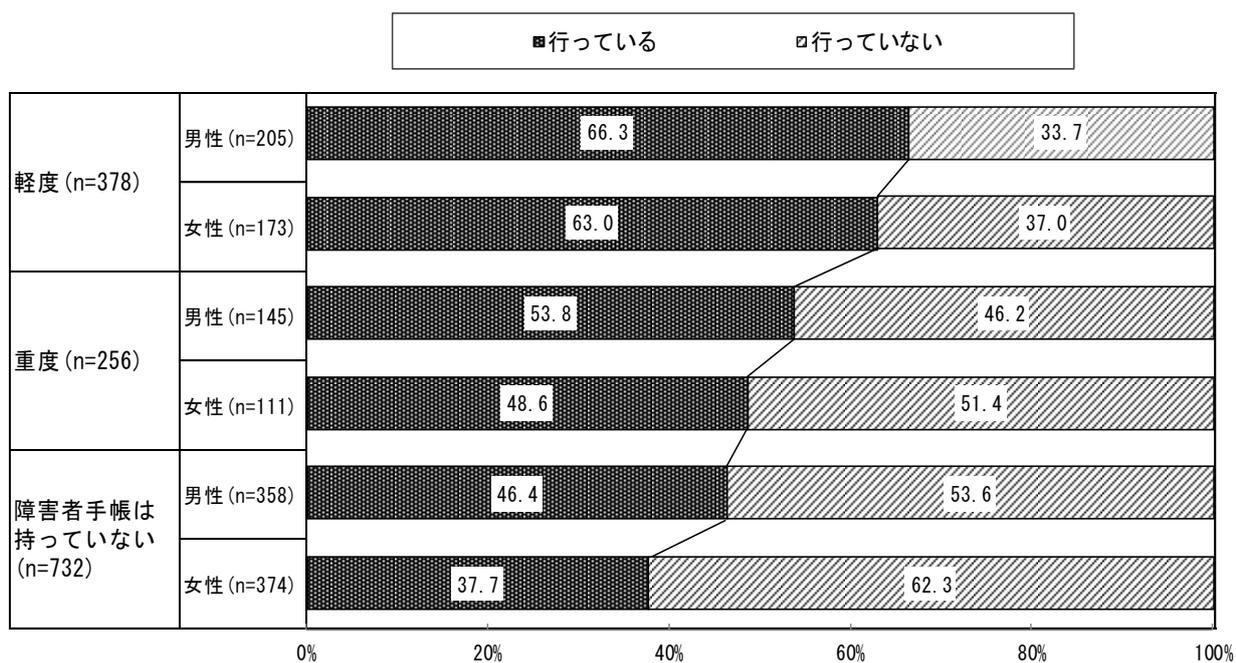
障害の程度別にみると、「軽度」が64.8%、「重度」が51.6%の実施率であった。また、「障害者手帳の非保持者」の実施率は41.9%であった。【図表 23】

なお、障害の程度にかかわらず、女性よりも男性の実施率が高かった。【図表 24】

【図表 23】 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無（障害程度別）



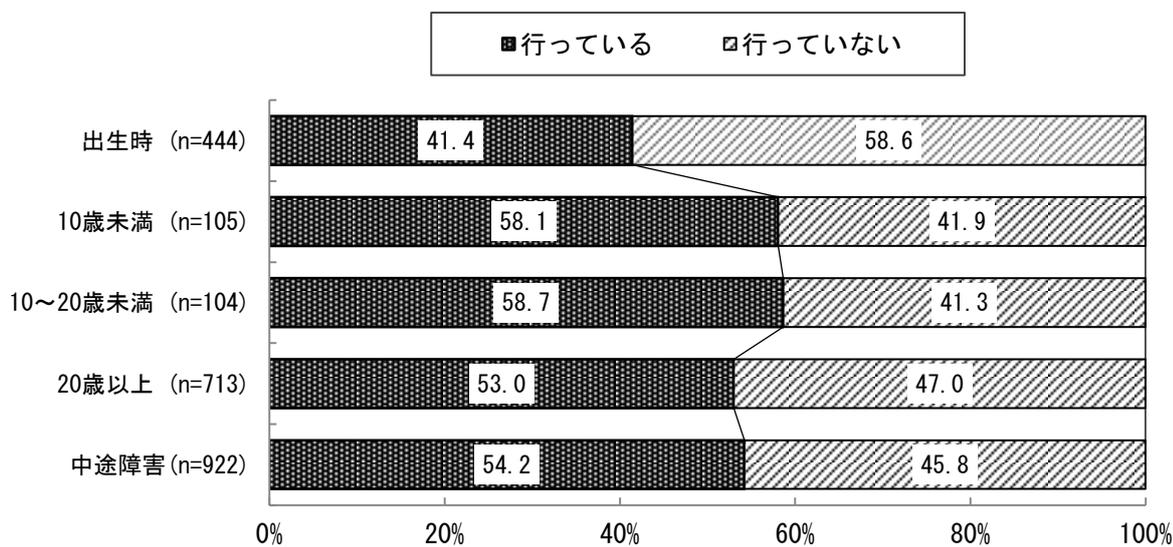
【図表 24】 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無（障害程度別・性別）



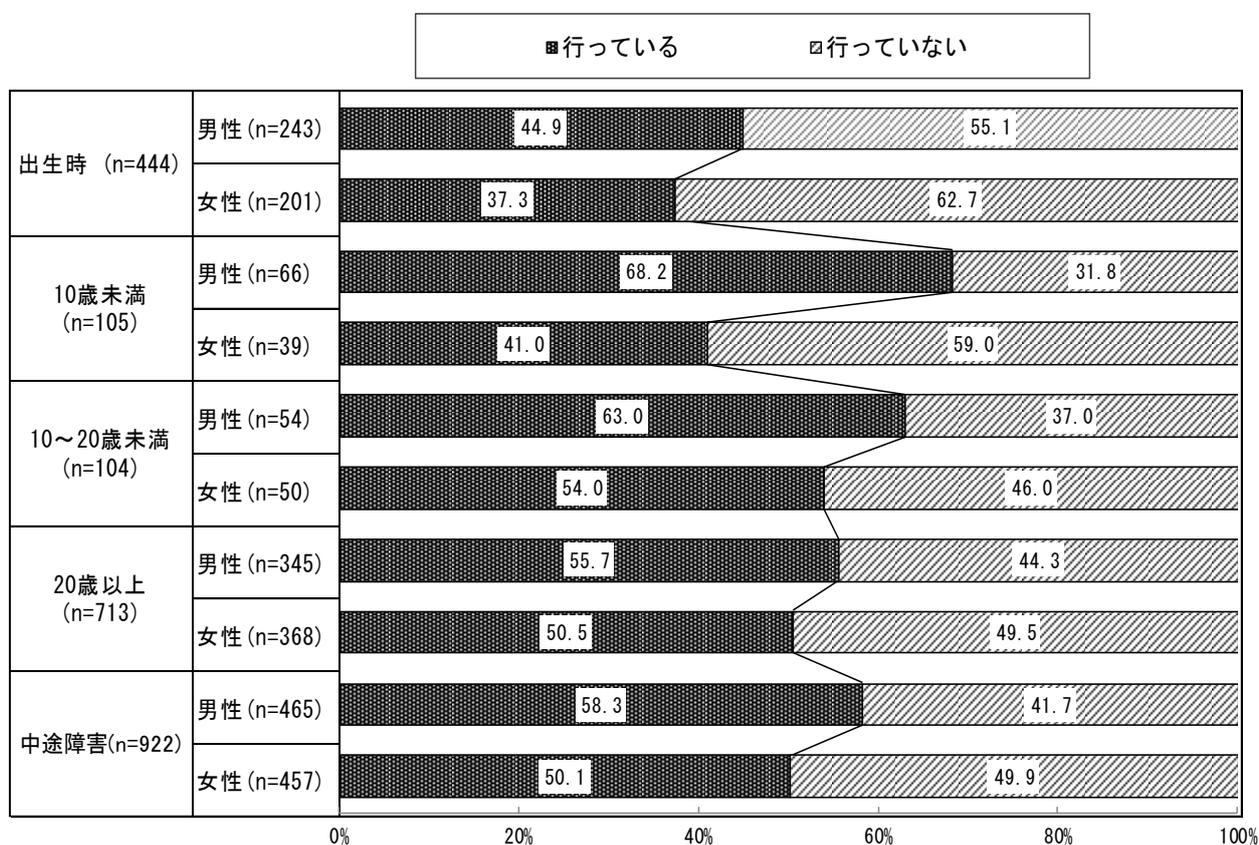
障害の発生年齢別で見ると、「出生時」(41.4%)より「中途障害」(54.2%)の方が実施率は高い。【図表 25】

また、障害の発生年齢にかかわらず、女性よりも男性の実施率が高かった。【図表 26】

【図表 25】 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無（障害発生時の年齢別）



【図表 26】 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無（障害発生時の年齢別・性別）

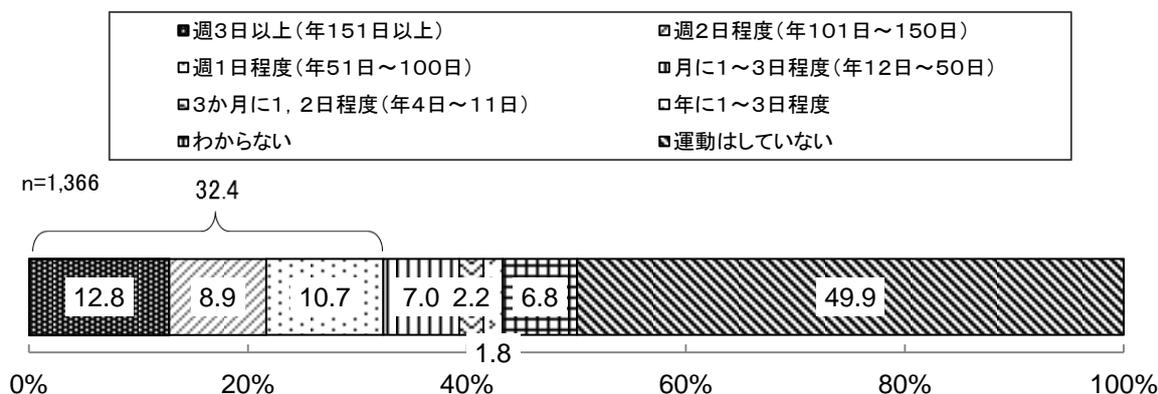


(2) 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数

過去1年間にスポーツや運動を行った日数について、「週3日以上」が12.8%、「週2日程度」が8.9%、「週1日程度」が10.7%と、週1日以上の実施者は32.4%であり、「運動はしていない」は49.9%となった。【図表27】

スポーツ庁が全国の障害児・者を対象に実施している『地域における障害者スポーツ普及促進事業（障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究）』（笹川スポーツ財団：平成30年3月）では、成人の週1日以上の実施者は20.8%となっている。【図表28】

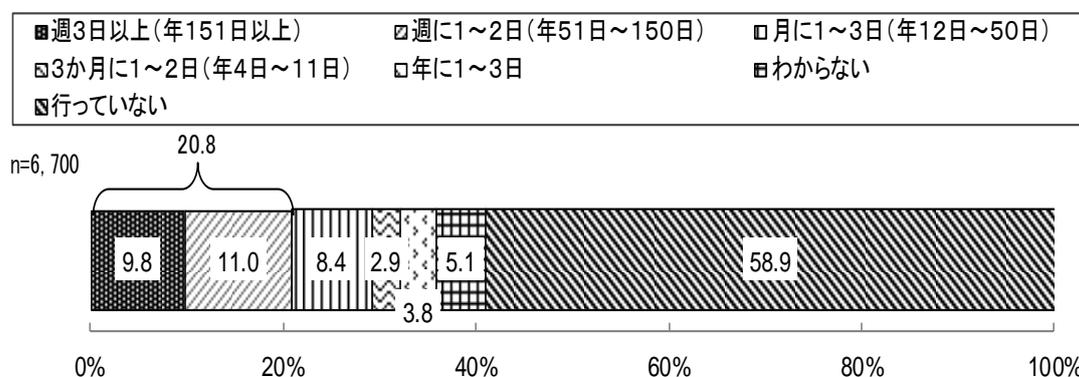
【図表27】 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数



※本調査の設問番号4に「運動はしていない」との選択肢はないが、設問番号3において、過去一年間に実施したスポーツ・運動は「特になし」と回答のあった数値を「運動はしていない」と整理している（以下、同様）。

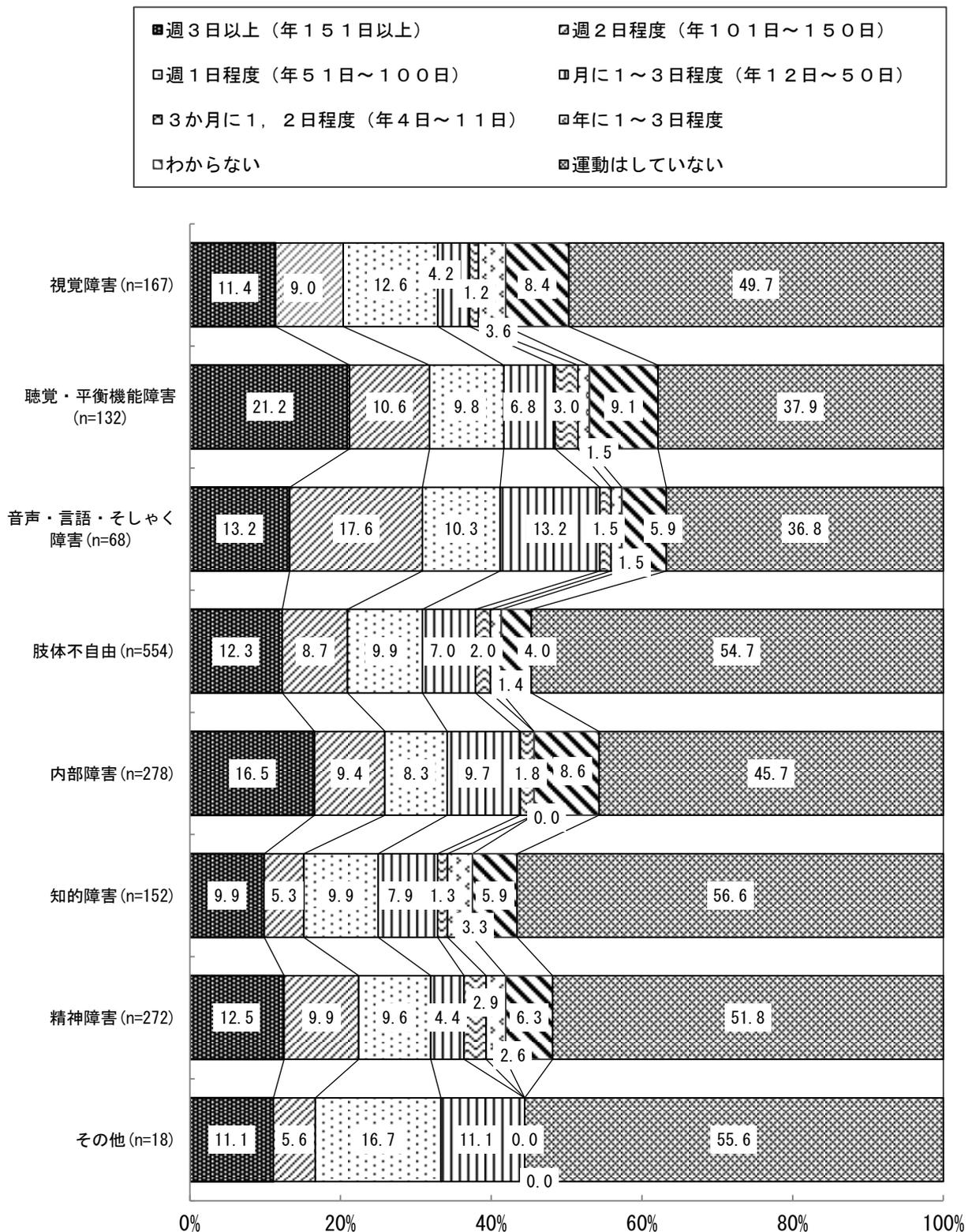
【図表28】 過去1年間にスポーツ・レクリエーションを行った日数

『地域における障害者スポーツ普及促進事業（障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究）』（笹川スポーツ財団：平成30年3月）



障害種別でみると、週1日以上スポーツ・運動を実施しているのは、「聴覚・平衡機能障害」が41.6%、「音声・言語・そしゃく障害」が41.1%に対して、「肢体不自由」は30.9%、「知的障害」は25.1%であった。【図表29】

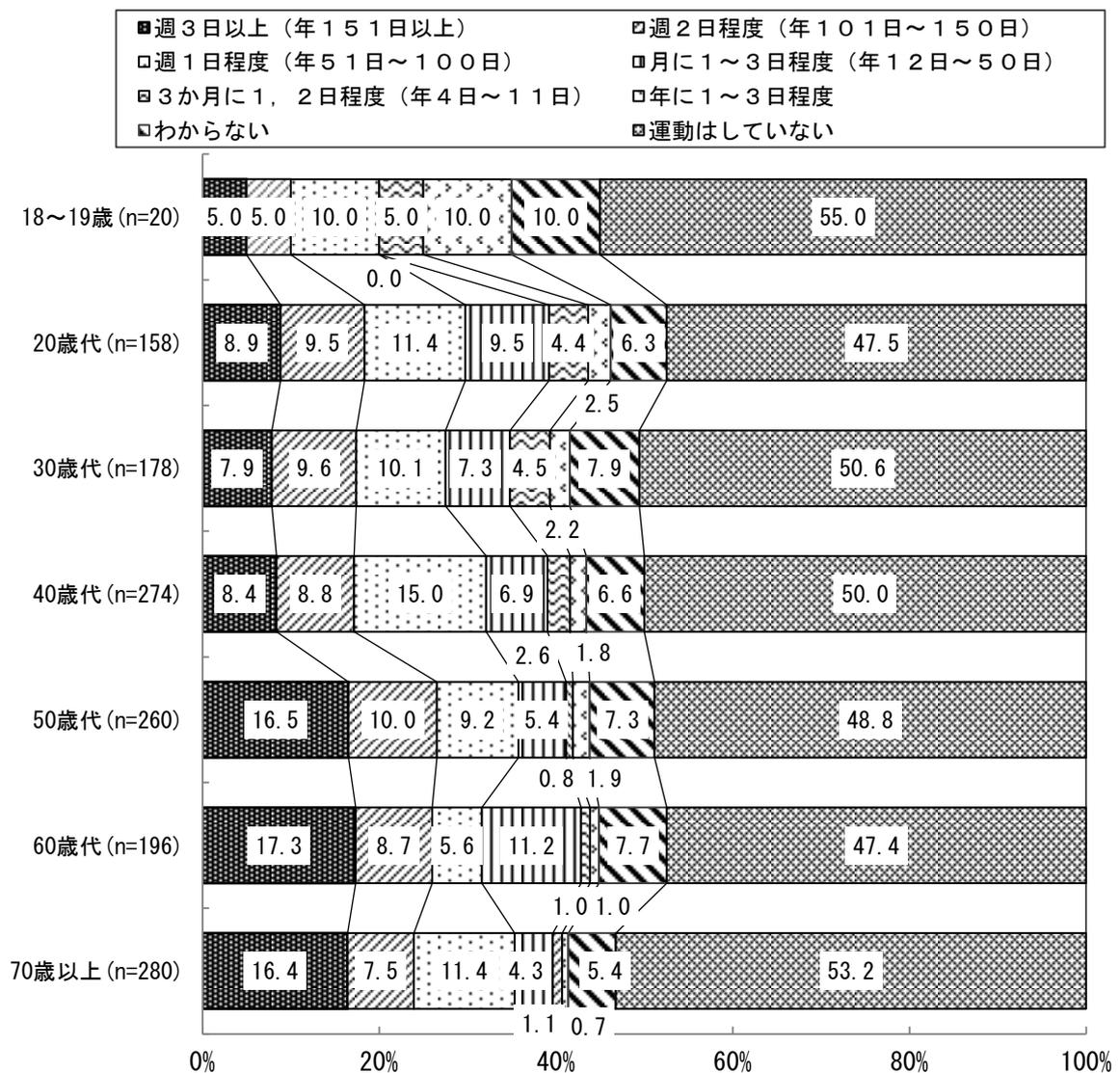
【図表29】過去1年間にスポーツ・運動を行った日数（障害種別）



年齢別でみると、週1日以上スポーツ・運動を実施しているのは、「70歳以上」が35.3%、「18～19歳」では20.0%であった。また、週3日以上の実施者の割合をみると、「40歳代まで」はいずれの年齢層も1割に満たないが、「50歳代以上」はいずれの年齢層も1割を超えている。

【図表 30】

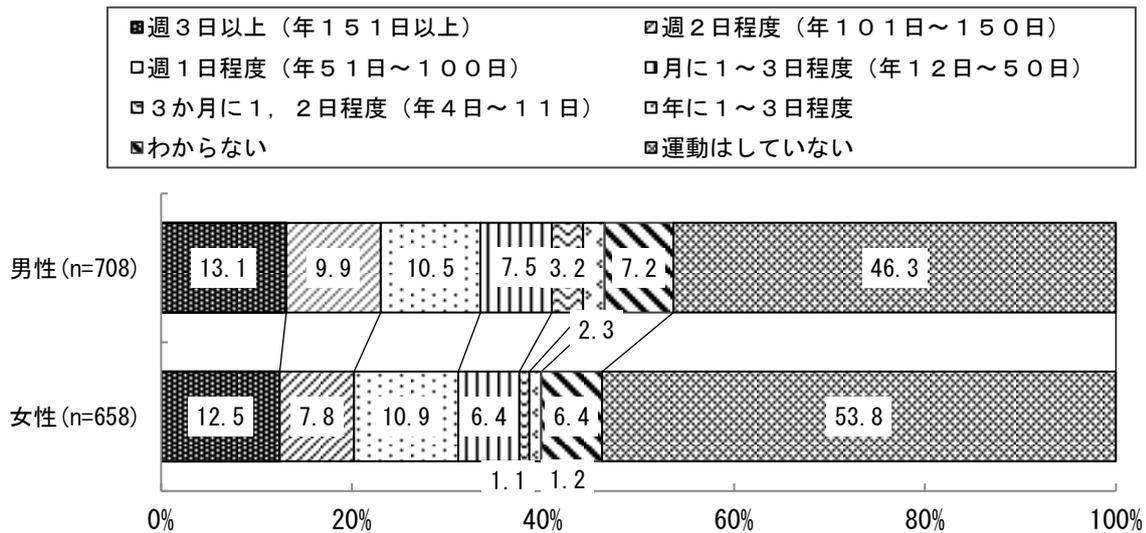
【図表 30】 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数（年齢別）



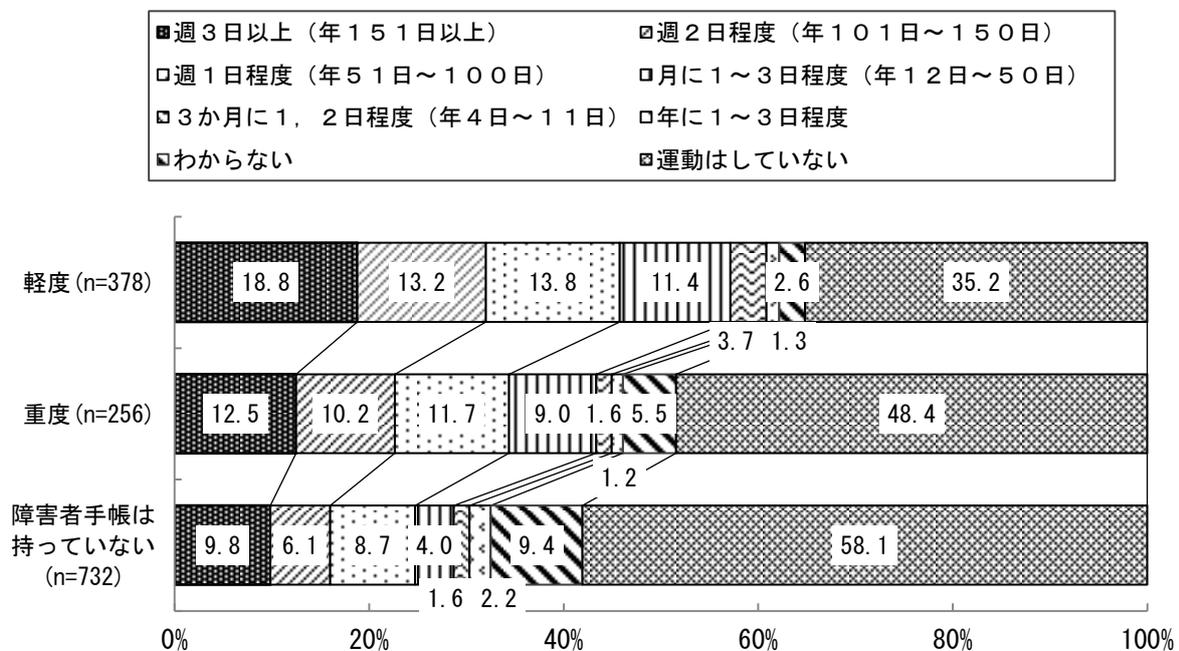
性別でみると、週1日以上スポーツ・運動を実施しているのは、「男性」が33.5%、「女性」が31.2%であった。【図表31】

障害程度でみると、週1日以上スポーツ・運動を実施しているのは、「軽度」が45.8%、「重度」が34.4%であった。なお、「障害者手帳の非保持者」は24.6%であった。【図表32】

【図表31】 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数（性別）

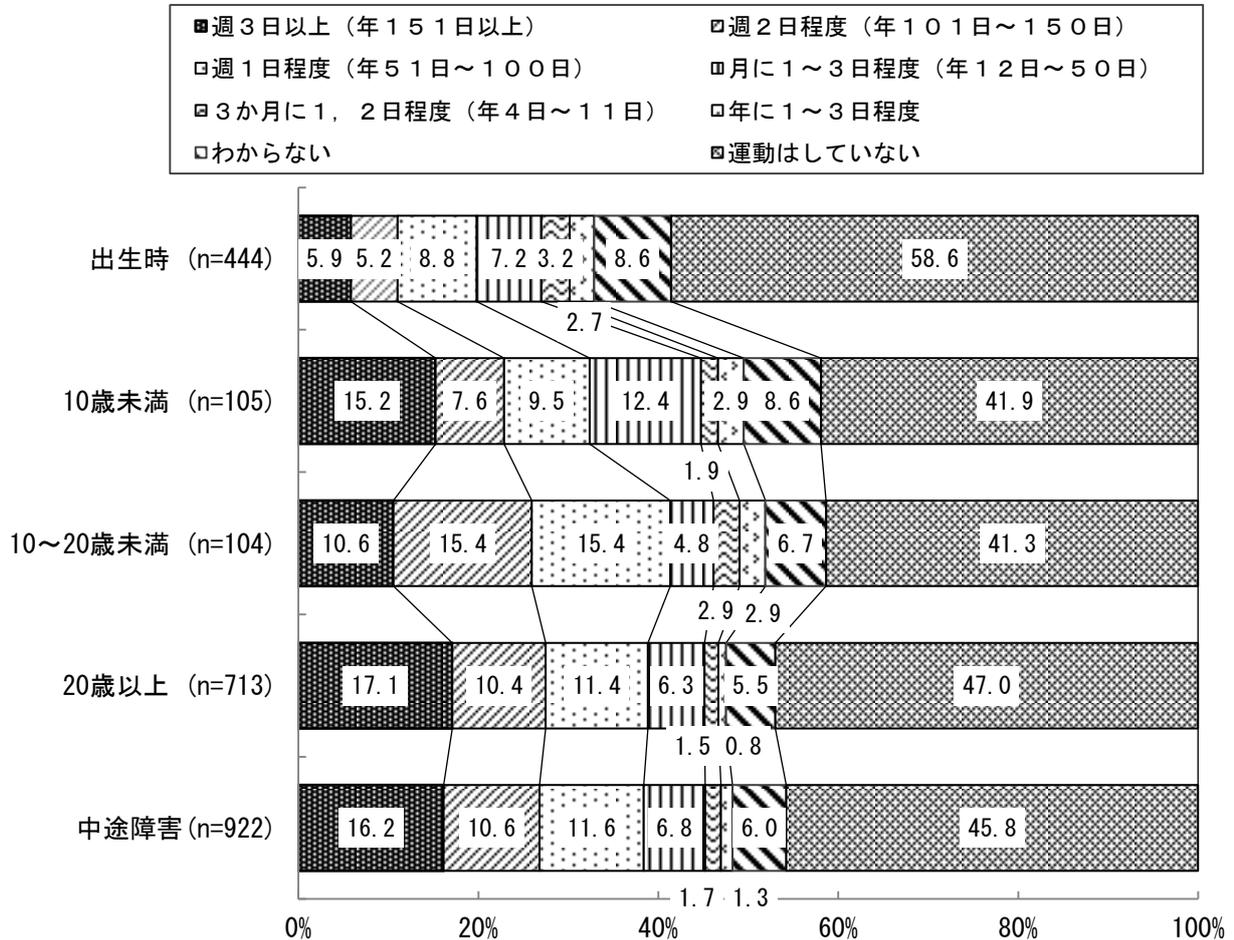


【図表32】 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数（障害程度別）



障害発生年齢別で見ると、週1日以上スポーツ・運動を実施しているのは、「中途障害」が38.4%、「出生時」が19.9%であった。【図表33】

【図表33】 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数（障害発生時の年齢別）



以下の（３）～（６）は、過去１年間に何らかのスポーツ・運動を行った 684 人を対象に調査を実施した結果である。

（３）過去 1 年間に行ったスポーツ・運動

過去 1 年間にスポーツや運動を「行った」と回答した人が、どのようなスポーツ・運動を行ったかについて、上位種目をまとめたところ、「ウォーキング、散歩」(73.8%) が最も高く、次いで「体操」(27.5%)、「室内運動器具を用いる運動」(17.4%)、「水泳・遊泳」(12.0%)、「陸上競技」(7.2%)、「球技」(7.2%) の順であった。

18 歳以上の都民全般を対象に実施している『都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査』(東京都生活文化局：平成 29 年 1 月)でも、本調査と同様に「ウォーキング、散歩」が 1 位、「体操」が 2 位となっているが、実施の割合が 1 割を超える種目が多い。【図表 34】

障害種別に見ると、どの障害種別でも「ウォーキング、散歩」が最も高く、その他を除き、「体操」、「室内運動器具を用いる運動」も 4 位までに入っている。「聴覚・平衡機能障害」と「音声・言語・そしゃく障害」は、他の障害と比べて「陸上競技」(12.2%、18.6%) の割合が高く、「知的障害」は、他の障害と比べて「水泳・遊泳」(24.2%) の割合が高い。【図表 35】

障害程度別に見ると、他の区分と比べて、療育手帳(重度)は、「ダンス」(26.3%)、「ウォータースポーツ」(15.8%)、「射的」(10.5%) の割合が高く、療育手帳(軽度)は「障害者スポーツ」(21.6%) の割合が高い。【図表 36】

【図表 34】過去 1 年間に行ったスポーツ・運動[複数回答]

『都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査』

(東京都生活文化局：平成 29 年 1 月)

	本調査 (n=684) ※スポーツ・運動を実施している人		本調査 (n=1,366)		都民のスポーツ活動・パラリンピックに 関する調査(H29) (n=1,820)	
1位	ウォーキング、散歩	73.8	ウォーキング、散歩	37.0	ウォーキング、散歩	65.5
2位	体操	27.5	体操	13.8	体操	36.2
3位	室内運動器具を用いる運動	17.4	室内運動器具を用いる運動	8.7	軽い球技	18.1
4位	水泳・遊泳	12.0	水泳・遊泳	6.0	軽い水泳	15.4
5位	陸上競技	7.2	陸上競技	3.6	室内運動器具を使ってする運動	14.6
6位	球技		球技		ランニング(ジョギング)	
7位	サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ	4.1	サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ	2.0	サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ	14.0
8位	ダンス	3.4	ダンス	1.7	ボウリング	10.9
9位	障害者スポーツ	3.2	障害者スポーツ	1.6	ゴルフ	9.2
10位	アウトドアスポーツ	2.8	アウトドアスポーツ	1.4	海水浴(遊泳)	8.2
			特になし	49.9	実施しなかった	15.0

【図表 35】 過去1年間に行ったスポーツ・運動（全体・障害種別）〔複数回答〕

順位	全体 (n=684)	視覚障害 (n=84)		聴覚・平衡機能障害 (n=82)		音声・言語・ そしゃく障害 (n=43)		肢体不自由 (n=251)		内部障害 (n=151)		知的障害 (n=66)		精神障害 (n=131)		その他 (n=8)		
		内容	割合	内容	割合	内容	割合	内容	割合	内容	割合	内容	割合	内容	割合	内容	割合	
1位	ウォーキング、散歩	73.8	ウォーキング、散歩	76.2	ウォーキング、散歩	82.9	ウォーキング、散歩	62.8	ウォーキング、散歩	64.9	ウォーキング、散歩	78.1	ウォーキング、散歩	75.8	ウォーキング、散歩	80.2	ウォーキング、散歩	100.0
2位	体操	27.5	体操	21.4	体操	41.5	室内運動器具を用 いる運動	34.9	体操	29.1	体操	27.2	体操		体操	19.8	体操	25.0
3位	室内運動器具を用 いる運動	17.4	室内運動器具を用 いる運動	9.5	室内運動器具を用 いる運動	15.9	体操	32.6	室内運動器具を用 いる運動	19.5	室内運動器具を用 いる運動	23.2	水泳・遊泳	24.2	室内運動器具を用 いる運動	16.0	サイクリング、モー ター(サイクル)ス ポーツ	12.5
4位	水泳・遊泳	12.0	球技	9.5	陸上競技	12.2	陸上競技	18.6	水泳・遊泳	10.8	水泳・遊泳	10.6	室内運動器具を用 いる運動	18.2	水泳・遊泳	13.0		-
5位	陸上競技		陸上競技	7.1	水泳・遊泳	8.5	水泳・遊泳	14.0	球技	7.2	障害者スポーツ	7.9	球技	12.1	陸上競技	9.2		-
6位	球技	7.2	球技	7.3	球技	7.3	球技	9.3	陸上競技	6.0	陸上競技		陸上競技		球技	8.4		-
7位	サイクリング、モー ター(サイクル) スポーツ	4.1	ダンス	3.7	ダンス	3.7	ダンス		サイクリング、モー ター(サイクル)ス ポーツ	5.2	アウトドアスポーツ	6.0	ダンス	7.6	障害者スポーツ	7.6		-
8位	ダンス	3.4	障害者スポーツ		射的		ウインタースポーツ	4.7	ダンス	4.0	球技	4.6	障害者スポーツ	6.1	サイクリング、モー ター(サイクル)ス ポーツ	5.3		-
9位	障害者スポーツ	3.2	スカイスポーツ	2.4	ウォータースポーツ	2.4	アウトドアスポーツ		ウォータースポーツ	3.6	ダンス		サイクリング、モー ター(サイクル)ス ポーツ	4.5	ダンス			-
10位	アウトドアスポーツ	2.8	アウトドアスポーツ		サイクリング、モー ター(サイクル)ス ポーツ		武道		射的	2.8	ウインタースポーツ	4.0	ウインタースポーツ		射的	3.8		-
					ウォータースポーツ		ウォータースポーツ				ウォータースポーツ		ウォータースポーツ	3.0	アウトドアスポーツ			-
					格闘技		格闘技	2.3					アウトドアスポーツ					-
					サイクリング、モー ター(サイクル)ス ポーツ		サイクリング、モー ター(サイクル)ス ポーツ											-
					障害者スポーツ		障害者スポーツ											-

※実際の調査では、この設問に「障害者スポーツ」という単語での選択肢は設定されていない。以降、当報告書内における「障害者スポーツ」の分類は、「フライングサッカー」「車いすラグビー」「車いすバスケットボール」「ウィルチェアラグビー(車いすラグビー)」「ポッチャ」の選択肢の回答を合計した数値である。

【図表 36】 過去1年間に行ったスポーツ・運動（障害程度別）〔複数回答〕

(%)

	身体障害者		療育手帳		精神障害者		障害者手帳は持っていない (n=307)
	重度(n=108)	軽度(n=80)	重度(n=19)	軽度(n=37)	重度(n=5)	軽度(n=57)	
1位	ウォーキング、散歩	ウォーキング、散歩	ウォーキング、散歩	ウォーキング、散歩	ウォーキング、散歩	ウォーキング、散歩	ウォーキング、散歩
2位	体操	体操	水泳・遊泳	体操	体操	体操	体操
3位	室内運動器具を用いる運動	室内運動器具を用いる運動	体操	水泳・遊泳	室内運動器具を用いる運動	室内運動器具を用いる運動	室内運動器具を用いる運動
4位	水泳・遊泳	水泳・遊泳	ダンス	室内運動器具を用いる運動	水泳・遊泳	水泳・遊泳	陸上競技
5位	球技	陸上競技	陸上競技	球技	球技	球技	水泳・遊泳
6位	陸上競技	球技	ウォータースポーツ	障害者スポーツ	サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ	陸上競技	球技
7位	アウトドアスポーツ	ダンス	球技	ダンス	-	サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ	サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ
8位	サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ	障害者スポーツ	射的	ウォータースポーツ	-	ダンス	アウトドアスポーツ
9位	障害者スポーツ	ウォータースポーツ	室内運動器具を用いる運動	陸上競技	-	アウトドアスポーツ	ウォータースポーツ
10位	ウォータースポーツ	サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ	格闘技	格闘技	-	格闘技	障害者スポーツ
		武道		武道			
		アウトドアスポーツ		射的			
		サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ		ウォータースポーツ		1.8	
		障害者スポーツ		ウォータースポーツ			
		障害者スポーツ		障害者スポーツ			

(4) スポーツ・運動を実施する場所

スポーツや運動を実施する場所は、「道路や遊歩道」が 43.4%と最も高く、次いで「自宅」(32.3%)、「広場や公園」(26.0%)、「民間のスポーツ施設」(18.9%)、「公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)」(14.8%)の順であった。

障害種別にみると、「音声・言語・そしゃく障害」は「民間のスポーツ施設」(32.6%)の割合が最も高く、「知的障害」は、他の障害に比べて「公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)」(24.2%)の割合が高くなっている。【図表 37】

障害程度別にみると、「療育手帳(重度)」は、「公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)」(36.8%)が最も高く、「療育手帳(軽度)」は、他の区分と比べて、「公共のスポーツ施設(障害者専用施設)」と「特別支援学校の体育施設」(いずれも 21.6%)の割合が高い。【図表 38】

【図表 37】 スポーツ・運動を実施する場所（全体・障害種別） [複数回答] (%)

順位	全体 (n=694)		視覚障害 (n=64)		聴覚・平衡機能障害 (n=82)		音声・言語・ そしゃく障害 (n=43)		肢体不自由 (n=251)		内部障害 (n=151)		知的障害 (n=66)		精神障害 (n=131)		その他 (n=8)		
	道路や遊歩道	自宅	道路や遊歩道	自宅	道路や遊歩道	自宅	民間のスポーツ施設	広場や公園	道路や遊歩道	民間のスポーツ施設	道路や遊歩道	自宅	道路や遊歩道	民間のスポーツ施設	道路や遊歩道	民間のスポーツ施設	道路や遊歩道	民間のスポーツ施設	その他
1位	43.4	32.3	45.2	25.0	48.8	37.8	48.8	32.6	41.4	43.0	37.1	43.0	39.4	39.4	49.6	49.6	87.5	87.5	道路や遊歩道
2位																			広場や公園
3位																			広場や公園
4位																			自宅
5位																			公共のスポーツ施設 (障害者専用施設以外)
6位																			公共のスポーツ施設 (障害者専用施設以外)
7位																			山・川・海
8位																			公共のスポーツ施設 (障害者専用施設)
9位																			福祉施設
10位																			福祉施設
11位																			医療機関
12位																			医療機関
その他																			その他
わからない																			わからない

【図表 38】 スポーツ・運動を実施する場所（障害程度別） [複数回答] (%)

	身体障害者				療育手帳				精神障害者				
	重度(n=108)		軽度(n=180)		重度(n=19)		軽度(n=37)		重度(n=5)		軽度(n=57)		障害者手帳は持っていない (n=307)
	道路や遊歩道	自宅	道路や遊歩道	公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)	公共のスポーツ施設(障害者専用施設)	公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)	公共のスポーツ施設(障害者専用施設)	公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)	道路や遊歩道	民間のスポーツ施設	道路や遊歩道	自宅	
1位	46.3	46.1	36.8	32.4	32.4	32.4	32.4	40.0	59.6	38.8	道路や遊歩道	38.8	
2位													29.6
3位													27.0
4位													16.3
5位													10.4
6位													3.9
7位													3.6
8位													3.3
9位													2.6
10位													2.3
11位													1.3
12位													0.7
													0.3
													12.7

(5) スポーツ・運動を一緒に実施する人

スポーツや運動を一緒に実施する人は、「一人」が 51.0%と最も高く、次いで「家族」(26.0%)、「福祉施設の職員・仲間」(10.1%)、「スポーツ教室の指導者・仲間」(9.4%)、「地域の公共スポーツ施設の職員・仲間」(6.9%)の順であった。

障害種別にみると、他の障害に比べて、「聴覚・平衡機能障害」は「スポーツ教室の指導者・仲間」(14.6%)、「音声・言語・そしゃく障害」は「障害者専用スポーツ施設の職員・仲間」(14.0%)、「知的障害」は「福祉施設の職員・仲間」(24.2%)、「精神障害」は「一人」(65.6%)の割合が相対的に高くなっている。【図表 39】

障害程度別にみると、「療育手帳(軽度・重度)」は、他の区分と比べて、「家族」、「福祉施設の職員・仲間」、「障害がある人のサークル・障害者スポーツサークル等の仲間」の割合が高く、「療育手帳(重度)」は「一人」(5.3%)の割合が低くなっている。【図表 40】

【図表 39】スポーツ・運動を一緒に実施する人（全体・障害種別）[複数回答]

	(%)											
	全体 (n=684)	視覚障害 (n=64)	聴覚・平癒機能障害 (n=82)	音声・言語・そしゃく 障害(n=43)	肢体不自由 (n=251)	内部障害 (n=151)	知的障害 (n=66)	精神障害 (n=131)	その他 (n=8)			
1位	一人	46.4	一人	65.6	一人	87.5						
2位	家族	19.0	家族	23.2	家族	37.5						
3位	福祉施設の職員・ 仲間	9.5	福祉施設の職員・ 仲間	8.6	福祉施設の職員・ 仲間	12.5						
4位	スポーツ教室の指 導者・仲間	9.4	スポーツ教室の指 導者・仲間	8.4	スポーツ教室の指 導者・仲間	-						
5位	地域の公共スポ ーツ施設の職員・仲 間	6.9	地域の公共スポ ーツ施設の職員・仲 間	7.9	地域の公共スポ ーツ施設の職員・仲 間	-						
6位	障害がある人の サークル・スポ ーツ施設の職員・仲 間	5.7	障害がある人の サークル・スポ ーツ施設の職員・仲 間	7.3	障害がある人の サークル・スポ ーツ施設の職員・仲 間	-						
7位	その他の友人・知 人	5.4	その他の友人・知 人	4.6	その他の友人・知 人	-						
8位	障害専用スポ ーツ施設の職員・仲 間	5.1	障害専用スポ ーツ施設の職員・仲 間	4.0	障害専用スポ ーツ施設の職員・仲 間	-						
9位	障害がある人や い人など 様々な人がいる サークルの仲間	3.9	障害がある人や い人など 様々な人がいる サークルの仲間	4.0	障害がある人や い人など 様々な人がいる サークルの仲間	-						
10位	ボランティアの 人	3.4	ボランティアの 人	3.0	ボランティアの 人	-						
11位	学校の先生や学 校の友達	2.6	学校の先生や学 校の友達	1.3	学校の先生や学 校の友達	-						
	その他	1.0	-	-	その他	その他	その他	その他	その他	1.3	その他	-
	わからない	6.4	わからない	9.3	わからない	-						

【図表 40】 スポーツ・運動を一緒に実施する人（障害程度別） [複数回答]

	身体障害者		療育手帳		精神障害者		障害者手帳は持っていない (n=307)
	軽度(n=108)		軽度(n=37)		軽度(n=57)		
	一人	家族	一人	家族	一人	家族	
1位	50.0	44.4	42.1	37.8	60.0	66.7	54.1
2位	29.6	27.8	31.6	35.1	20.0	28.1	23.5
3位	14.8	16.1	26.3	27.0	-	8.8	5.9
4位	7.4	15.6	15.8	24.3	-	7.0	5.2
5位	7.4	10.0	10.5	24.3	-	7.0	4.2
6位	6.5	9.4	5.3	13.5	-	3.5	3.9
7位	5.6	7.2	5.3	10.8	-	1.8	2.9
8位	4.6	7.2	5.3	10.8	-	1.8	2.6
9位	4.6	7.2	5.3	10.8	-	1.8	2.6
10位	2.8	3.9	3.9	5.4	-	-	2.0
11位	0.9	2.2	-	5.4	-	-	0.3
	1.9	-	-	-	-	-	0.3
	3.7	-	-	-	-	-	13.0

(6) スポーツ・運動を実施する理由

スポーツや運動を実施する理由は、「健康・体力づくりのため」(59.1%)が最も高く、次いで「運動不足解消のため」(42.1%)、「楽しみや気晴らしのため」(33.8%)、「リハビリテーションや医療・治療のため」(18.1%)、「精神の修養や訓練のため」(11.7%)の順であった。

18歳以上の都民全般を対象に実施している『都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査』(東京都生活文化局：平成29年1月)でも、「健康・体力づくりのため」(67.2%)、「運動不足を感じるから」(49.2%)、「楽しみや気晴らしとして」(47.9%)との回答が多く、本調査と同様の傾向が示されている。【図表41】

障害種別にみると、他の障害に比べて、「音声・言語・そしゃく障害」は「自己の記録や能力を向上させるため」(18.6%)、「肢体不自由」は「リハビリテーションや医療・治療のため」(35.5%)、「知的障害」は「友人・仲間との交流のため」(15.2%)、「精神障害」は「精神の修養や訓練のため」(19.1%)の割合が高くなっている。【図表42】

障害程度別にみると、上位の回答内容に大きな差は見られないが、「療育手帳(軽度)」は他と比べて、「障害者スポーツ大会に参加するため」(10.8%)の割合が高い。【図表43】

【図表41】スポーツ・運動を実施する理由[複数回答]
『都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査』
(東京都生活文化局：平成29年1月)

		(%)		
	本調査 (n=684)	都民のスポーツ活動・パラリンピックに 関する世論調査(H29) (n=1,547)		
1位	健康・体力づくりのため	59.1	健康・体力づくりのため	67.2
2位	運動不足解消のため	42.1	運動不足を感じるから	49.2
3位	楽しみや気晴らしのため	33.8	楽しみや、気晴らしとして	47.9
4位	リハビリテーションや医療・治療のため	18.1	友人・仲間との交流として	24.2
5位	精神の修養や訓練のため	11.7	美容や肥満解消のため	15.1
6位	友人・仲間との交流のため	9.9	家族のふれあいとして	13.8
7位	自己の記録や能力を向上させるため	9.2	自己の記録や能力を向上させるため	5.7
8位	家族のふれあいのため	6.7	精神の修養や訓練のため	5.4
9位	美容や肥満解消のため	6.3	その他	3.2
10位	障害者スポーツ大会に参加するため	1.8	特に理由はない	1.9
	その他	0.9	-	-
	わからない	6.4	-	-

【図表 42】 スポーツ・運動を実施する理由（全体・障害種別） [複数回答]

順位	全体 (n=684)		視覚障害 (n=84)		聴覚・平衡機能障害 (n=82)		音声・言語・そしゃく障害 (n=43)		肢体不自由 (n=251)		内部障害 (n=151)		知的障害 (n=66)		精神障害 (n=131)		その他 (n=8)	
	健康・体力づくりのため	運動不足解消のため	健康・体力づくりのため	運動不足解消のため	健康・体力づくりのため	運動不足解消のため	健康・体力づくりのため	運動不足解消のため	健康・体力づくりのため	運動不足解消のため	健康・体力づくりのため	運動不足解消のため	健康・体力づくりのため	運動不足解消のため	健康・体力づくりのため	運動不足解消のため	健康・体力づくりのため	運動不足解消のため
1位	59.1	53.6	58.5	53.6	39.5	50.6	64.9	62.1	63.4	75.0								
2位	42.1	28.6	41.5	28.6	32.6	43.0	51.0	43.9	42.0									
3位	33.8	27.4	41.5	27.4	27.9	35.5	37.1	42.4	35.9	37.5								
4位	18.1	15.5	19.5	15.5	25.6	27.9	19.2	15.2	19.1									
5位	11.7	13.1	13.4	13.1	18.6	13.1	11.9	10.6	11.5									
6位	9.9	4.8	9.8	4.8	16.3	12.7	8.6	7.6	10.7	12.5								
7位	9.2		6.1		7.0	12.4	7.9		9.2									
8位	6.7	3.6	4.9	3.6	4.7	8.8	6.6	6.1										
9位	6.3	2.4	2.4	2.4	2.3	4.4	4.6	4.5	7.6									
10位	1.8	-	-	-	2.3	2.0	1.3	3.0	3.1									
	0.9	1.2	-	1.2	-	0.7	1.5	1.5	1.5	12.5								
	6.4	7.1	7.3	7.1	2.3	2.0	7.3	7.6	11.5									

【図表 43】 スポーツ・運動を実施する理由（障害程度別） [複数回答]

	身体障害者				療育手帳				精神障害者				障害者手帳は持っていない (n=307)
	重度(n=108)		軽度(n=180)		重度(n=19)		軽度(n=37)		重度(n=5)		軽度(n=57)		
	健康・体力づくりのため	運動不足解消のため	健康・体力づくりのため	運動不足解消のため	健康・体力づくりのため	運動不足解消のため	健康・体力づくりのため	運動不足解消のため	健康・体力づくりのため	運動不足解消のため	健康・体力づくりのため	運動不足解消のため	
1位	57.4	57.8	57.9	45.9	60.0	59.6	61.2	健康・体力づくりのため	運動不足解消のため	健康・体力づくりのため	運動不足解消のため	健康・体力づくりのため	61.2
2位	44.4	43.9	47.4	43.2	43.2	43.2	37.8	運動不足解消のため	健康・体力づくりのため	健康・体力づくりのため	運動不足解消のため	運動不足解消のため	37.8
3位	36.1	32.2	31.6	27.0	40.0	43.9	31.3	楽しみや気晴らしのため	友人・仲間との交流のため	楽しみや気晴らしのため	楽しみや気晴らしのため	楽しみや気晴らしのため	31.3
4位	24.1	30.6	31.6	21.6	21.6	19.3	11.1	リハビリテーションや医療・治療のため	友人・仲間との交流のため	精神の修養や訓練のため	精神の修養や訓練のため	リハビリテーションや医療・治療のため	11.1
5位	13.0	16.7	15.8	18.9	20.0	15.8	7.8	精神の修養や訓練のため	友人・仲間との交流のため	美容や肥満解消のため	美容や肥満解消のため	精神の修養や訓練のため	7.8
6位	11.1	15.0	15.8	16.2	-	14.0	7.5	友人・仲間との交流のため	自己の記録や能力を向上させるため	リハビリテーションや医療・治療のため	リハビリテーションや医療・治療のため	友人・仲間との交流のため	7.5
7位	-	11.7	10.5	13.5	-	10.5	6.5	自己の記録や能力を向上させるため	友人・仲間との交流のため	家族のふれあいのため	家族のふれあいのため	自己の記録や能力を向上させるため	6.5
8位	7.4	8.3	5.3	5.4	-	10.5	5.5	家族のふれあいのため	友人・仲間との交流のため	友人・仲間との交流のため	友人・仲間との交流のため	家族のふれあいのため	5.5
9位	-	6.1	-	10.8	-	7.0	3.9	美容や肥満解消のため	障害者スポーツ大会に参加するため	自己の記録や能力を向上させるため	自己の記録や能力を向上させるため	美容や肥満解消のため	3.9
10位	-	2.8	-	5.4	-	1.8	1.0	障害者スポーツ大会に参加するため	家族のふれあいのため	障害者スポーツ大会に参加するため	障害者スポーツ大会に参加するため	障害者スポーツ大会に参加するため	1.0
	1.9	-	-	-	-	5.3	0.3	その他	-	その他	その他	その他	0.3
	2.8	-	-	2.7	-	1.8	12.7	わからない	-	わからない	わからない	わからない	12.7

(7) は、過去1年間にスポーツ・運動を行っていない682人を対象に調査を実施した結果である。

(7) スポーツ・運動を実施しない理由

スポーツや運動を実施しない理由は、「活動したいと思わない」が73.6%と最も高く、「活動したいが、身体的にできない」が17.6%だった。次いで「活動したいが、時間がない」(3.7%)、「活動したいが、一緒にやる人がいない」(2.9%)、「活動したいが、自分に合ったスポーツや運動の情報がない」(2.6%)、「活動したいが、身近なところにスポーツや運動がやれる場所がない」(2.3%)の順であった。

障害種別にみると、他の障害に比べて、「肢体不自由」は「活動したいが、身体的にできない」(37.0%)、「知的障害」は「活動したいが、自分に合ったスポーツや運動の情報がない」(7.0%)の割合が高くなっている。また、他の障害に比べて、「視覚障害」(94.0%)、「精神障害」(83.0%)、「知的障害」(80.2%)、「音声・言語・そしゃく障害」(80.0%)は「活動したいと思わない」と回答した割合が高い。【図表44】

障害程度別にみると、他の区分と比べて、「身体障害者(軽度・重度)」は「活動したいが、身体的にできない」(それぞれ31.9%、37.8%)、「障害者手帳は持っていない」は「活動したいと思わない」(84.0%)の割合が高い。【図表45】

【図表 44】スポーツ・運動を実施しない理由（全体・障害種別）〔複数回答〕

(%)

	全体(n=682)		視覚障害(n=83)		聴覚・平衡機能障害(n=50)		音声・言語・そしゃく障害(n=25)		肢体不自由(n=303)		内部障害(n=127)		知的障害(n=86)		精神障害(n=141)		その他(n=10)		
	活動したいが、身体的にできない	活動したいが、時間がない	活動したいが、身体的にできない	活動したいが、時間がない	活動したいが、身体的にできない	活動したいが、時間がない	活動したいが、身体的にできない	活動したいが、時間がない	活動したいが、身体的にできない	活動したいが、時間がない	活動したいが、身体的にできない	活動したいが、時間がない	活動したいが、身体的にできない	活動したいが、時間がない	活動したいが、身体的にできない	活動したいが、時間がない	活動したいが、身体的にできない	活動したいが、時間がない	活動したいが、身体的にできない
1位	17.6	4.8	14.0	16.0	37.0	21.3	10.5	7.8	50.0										
2位	3.7	1.2	6.0	4.0	5.0	4.7	7.0	4.3	10.0										
3位	2.9	-	4.0	-	4.6	2.4	5.8	2.1	-										
4位	2.6	-	2.0	-	4.0	1.6	3.5	-	-										
5位	2.3	-	-	-	2.3	0.8	-	-	-										
6位	0.9	-	-	-	1.3	-	-	-	-										
	73.6	94.0	74.0	80.0	53.1	69.3	80.2	83.0	50.0										

【図表 45】 スポーツ・運動を実施しない理由（障害程度別） [複数回答]

	身体障害者				療育手帳				精神障害者				障害者手帳は持っていない (n=425)	
	重度(n=111)		軽度(n=91)		重度(n=11)		軽度(n=18)		重度(n=3)		軽度(n=40)			
	活動したいが、身 体的にできない	活動したいが、身 体的にできない	活動したいが、一 緒にやらない	活動したいが、一 緒にやらない	活動したいが、一 緒にやらない	活動したいが、身 体的にできない	活動したいが、身 体的にできない	活動したいが、一 緒にやらない	活動したいが、一 緒にやらない	活動したいが、一 緒にやらない	活動したいが、身 体的にできない	活動したいが、身 体的にできない		
1位	37.8	31.9	27.3	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	10.6	10.6
2位	7.2	7.7	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	2.4	2.4
3位	5.4	6.6	18.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.4	1.4
4位	5.4	5.5	18.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	1.2
5位	4.5	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9	0.9
	1.8	1.1	-	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	-	-
	48.6	53.8	45.5	77.8	77.8	77.8	77.8	77.8	77.8	77.8	77.8	77.8	84.0	84.0

(8) 今後実施したいスポーツ・運動

今後、実施したいスポーツや運動は、「特にない」(47.4%)との回答が多かった。実施したいスポーツ・運動の中では、「ウォーキング、散歩」(35.4%)が最も高く、次いで「体操」(14.0%)、「室内運動器具を用いる運動」(9.9%)、「水泳・遊泳」(9.0%)、「陸上競技」(5.6%)の順であった。

18歳以上の都民全般を対象に実施している『都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査』(東京都生活文化局：平成29年1月)でも、本調査と同様に「ウォーキング、散歩」が1位、「体操」が2位となっているが、実施したい割合が1割を超える種目が多い。【図表46】

障害種別にみると、過去1年間で実施したスポーツ・運動の種目と同様(図表35参照)に、どの障害種別でも「ウォーキング、散歩」が最も高く、「体操」、「室内運動器具を用いる運動」が4位までに入っている。「聴覚・平衡機能障害」、「音声・言語・そしゃく障害」は、他の障害と比べて「陸上競技」(9.1%、19.1%)の割合が高い。【図表47】

【図表46】 今後実施したいスポーツ・運動 [複数回答]
『都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査』
(東京都生活文化局：平成29年1月)

	本調査 (n=1,366)		都民のスポーツ活動・パラリンピックに 関する調査(H29) (n=1,820)	
1位	ウォーキング、散歩	35.4	ウォーキング、散歩	54.5
2位	体操	14.0	体操	35.2
3位	室内運動器具を用いる運動	9.9	軽い水泳	23.2
4位	水泳・遊泳	9.0	軽い球技	18.7
5位	陸上競技	5.6	ランニング(ジョギング)	14.9
6位	球技	4.6	室内運動器具を使ってする運動	14.8
7位	ダンス	3.1	サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ	12.7
8位	アウトドアスポーツ	2.6	ゴルフ	11.0
9位	障害者スポーツ	2.4	登山(クライミング)	
10位	ウィンタースポーツ	2.2	ハイキング、ワンダーフォーゲル、オリエンテーリング、ウォークラリー	10.7
	特にない	47.4	特にない	12.5

【図表 47】 今後実施したいスポーツ・運動（全体・障害種別） [複数回答]

	全体 (n=1,366)	視覚障害 (n=167)	聴覚・平衡機能障害 (n=132)	音声・言語・ そしゃく障害 (n=68)	肢体不自由 (n=554)	内部障害 (n=278)	知的障害 (n=152)	精神障害 (n=272)	その他 (n=18)
1位	ウォーキング、 散歩 35.4	ウォーキング、 散歩 30.5	ウォーキング、 散歩 41.7	ウォーキング、 散歩 35.3	ウォーキング、 散歩 34.8	ウォーキング、 散歩 44.2	ウォーキング、 散歩 28.9	ウォーキング、 散歩 32.7	ウォーキング、 散歩 44.4
2位	体操 14.0	体操 9.6	体操 26.5	体操 19.1	体操 14.8	体操 16.9	体操 9.2	体操 11.8	体操 27.8
3位	室内運動器具を 用いる運動 9.9	室内運動器具を 用いる運動 6.6	室内運動器具を 用いる運動 15.9	室内運動器具を 用いる運動 19.1	室内運動器具を 用いる運動 9.2	室内運動器具を 用いる運動 11.9	室内運動器具を 用いる運動 8.6	室内運動器具を 用いる運動 9.9	水泳・遊泳 11.1
4位	水泳・遊泳 9.0	陸上競技 4.2	陸上競技 9.1	陸上競技 11.8	水泳・遊泳 8.7	水泳・遊泳 10.1	室内運動器具を 用いる運動 7.2	水泳・遊泳 9.6	室内運動器具を 用いる運動
5位	陸上競技 5.6	水泳・遊泳 4.6	球技 6.1	水泳・遊泳 5.9	ダンス 5.1	球技 5.4	陸上競技 6.6	陸上競技 6.6	ダンス 5.6
6位	球技 4.6	球技 3.6	ダンス 4.5	球技 4.5	球技 4.5	陸上競技 3.6	球技 4.6	障害者スポーツ 5.5	アウトドアスポー ツ
7位	ダンス 3.1	ダンス 2.4	水泳・遊泳 3.8	ウィンタースポー ツ 2.9	陸上競技 4.3	障害者スポーツ 3.6	ウィンタースポー ツ 4.0	アウトドアスポー ツ 4.0	-
8位	アウトドアスポー ツ 2.6	ウォータースポー ツ 2.4	ウォータースポー ツ 2.3	ダンス 4.4	ウォータースポー ツ 2.5	ウィンタースポー ツ 3.2	ダンス 3.9	球技 3.7	-
9位	障害者スポーツ 2.4	サイクリング、 モーター(サイク ル)スポーツ 1.8	ウィンタースポー ツ 1.5	スキイスポーツ 2.9	障害者スポーツ 3.1	アウトドアスポー ツ 3.2	アウトドアスポー ツ 3.3	サイクリング、 モーター(サイク ル)スポーツ 2.9	-
10位	ウィンタースポー ツ 2.2	ウィンタースポー ツ 1.2	アウトドアスポー ツ 1.2	格闘技 ・武道 ・アウトドアスポー ツ ・サイクリング、モーター ・イカスポーツ ・障害者スポーツ	アウトドアスポー ツ 2.0	サイクリング、 モーター(サイク ル)スポーツ	障害者スポーツ 2.6	ダンス 2.9	-
	特になし 47.4	特になし 53.9	特になし 37.9	特になし 38.2	特になし 47.3	特になし 41.4	特になし 54.6	特になし 52.2	特になし 50.0

(9) スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援

スポーツや運動を行う際に必要と考える支援は、「わからない」(26.9%)が最も高く、次いで「活動したいと思わない」(16.3%)、「特にない」(16.0%)であった。

必要な支援があると回答した中では、「交通機関やまちのバリアフリー化」(9.7%)が最も高く、次いで「会場までの送迎」(9.2%)、「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(8.9%)、「適切な指導者」(8.8%)、「障害にあわせたプログラムの充実」(7.2%)の順であった。

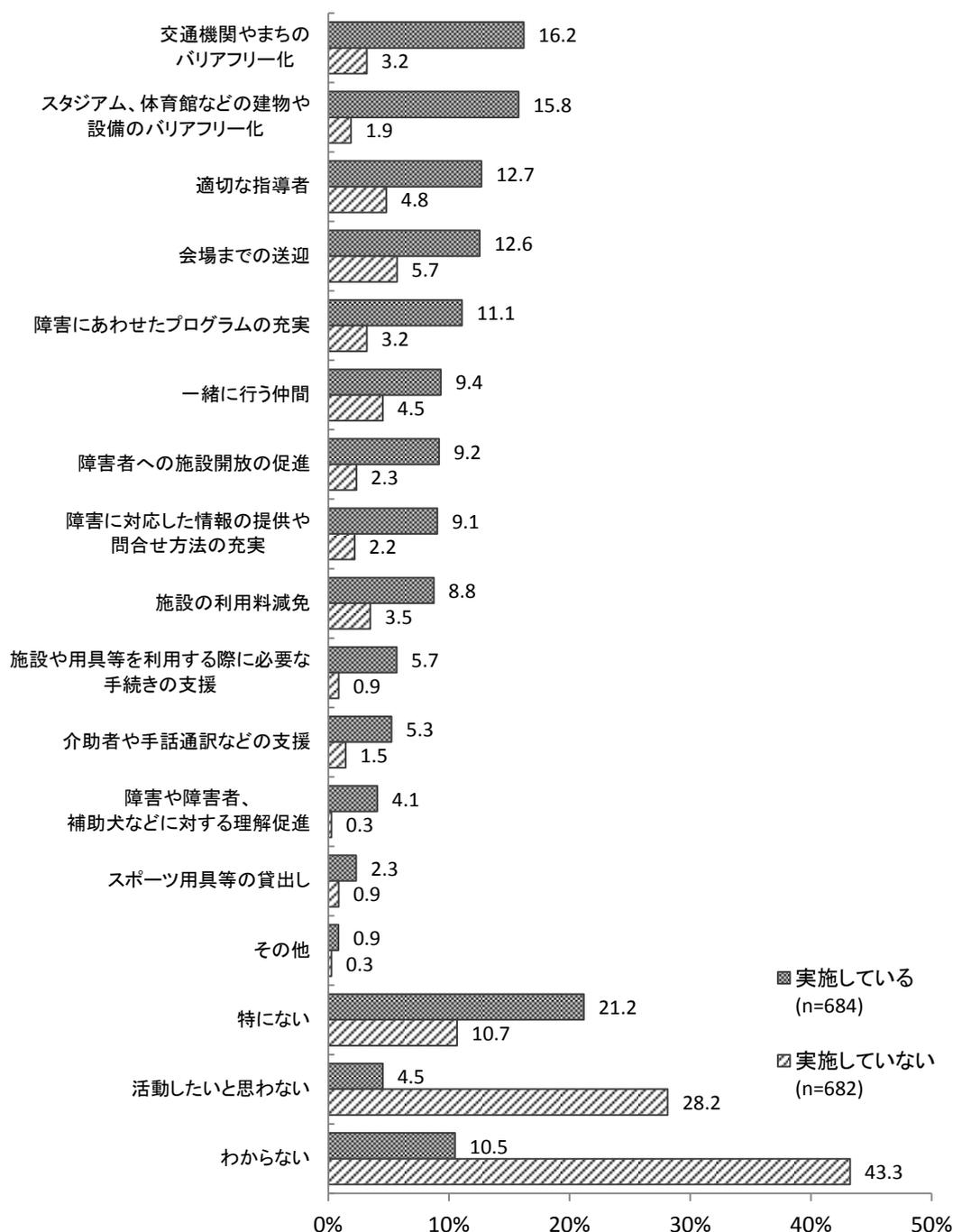
障害種別にみると、他の障害に比べて、「音声・言語・そしゃく障害」は「障害にあわせたプログラムの充実」(13.2%)、「肢体不自由」は「会場までの送迎」(13.0%)、「知的障害」は「適切な指導者」(13.8%)、「一緒に行う仲間」(12.5%)の割合が高くなっている。【図表 48】

【図表 48】スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援（全体・障害種別）〔複数回答〕

順位	全体 (n=1,366)	視覚障害 (n=167)	聴覚・平衡機能障害 (n=132)	音声・言語・ そしゃく障害 (n=68)	肢体不自由 (n=554)	内部障害 (n=278)		知的障害 (n=152)		精神障害 (n=272)		その他 (n=18)				
						14.1 会場までの送迎	11.5 適切な指導者	13.8 適切な指導者	9.2 適切な指導者	14.1 会場までの送迎	11.2 会場までの送迎	13.8 適切な指導者	9.2 適切な指導者	14.1 会場までの送迎	11.2 会場までの送迎	13.8 適切な指導者
1位	交通機関やまの ハリアフリー化	9.7	スタジアム、体育館な どの建物や設備のハリ アフリー化	10.2	交通機関やまの ハリアフリー化	14.7	交通機関やまの ハリアフリー化	14.1	会場までの送迎	11.5	適切な指導者	13.8	適切な指導者	9.2	適切な指導者	22.2
2位	会場までの送迎	9.2	交通機関やまの ハリアフリー化	9.0	会場までの送迎	13.2	会場までの送迎	13.0	交通機関やまの ハリアフリー化	11.2	一緒にいる仲間	12.5	一緒にいる仲間	8.1	一緒にいる仲間	16.7
3位	スタジアム、体育館な どの建物や設備のハリ アフリー化	8.9	会場までの送迎	7.2	スタジアム、体育館な どの建物や設備のハリ アフリー化	11.8	スタジアム、体育館な どの建物や設備のハリ アフリー化	10.1	適切な指導者	10.1	適切な指導者	11.2	適切な指導者	6.6	適切な指導者	16.7
4位	適切な指導者	8.8	適切な指導者	6.6	適切な指導者	10.3	適切な指導者	9.9	スタジアム、体育館な どの建物や設備のハリ アフリー化	8.6	会場までの送迎	9.2	会場までの送迎	6.6	会場までの送迎	11.1
5位	障害にあわせたブ ログラムの充実	7.2	障害者への施設開 放の促進	5.4	障害者への施設開 放の促進	7.4	会場までの送迎	9.4	会場までの送迎	7.9	会場までの送迎	8.6	会場までの送迎	5.5	会場までの送迎	11.1
6位	一緒にいる仲間	7.0	障害者への施設開 放の促進	3.6	障害者への施設開 放の促進	8.8	適切な指導者	8.3	障害者への施設開 放の促進	6.1	一緒にいる仲間	6.6	一緒にいる仲間	4.8	一緒にいる仲間	5.6
7位	施設の利用率減 免	6.1	介助者や手話通訳 などの支援	3.0	介助者や手話通訳 などの支援	7.4	適切な指導者	7.6	適切な指導者	5.4	適切な指導者	5.9	適切な指導者	4.4	適切な指導者	5.6
8位	障害者への施設開 放の促進	5.8	施設や用具等を利用す る際に必要な手続きの 支援	3.0	施設や用具等を利用す る際に必要な手続きの 支援	5.9	適切な指導者	6.5	適切な指導者	2.5	適切な指導者	4.6	適切な指導者	3.3	適切な指導者	5.6
9位	障害者への施設開 放の促進	5.6	障害者への施設開 放の促進	2.4	障害者への施設開 放の促進	5.9	適切な指導者	5.3	適切な指導者	2.2	適切な指導者	2.2	適切な指導者	3.3	適切な指導者	5.6
10位	介助者や手話通訳 などの支援	3.4	施設や用具等を利用す る際に必要な手続きの 支援	2.4	施設や用具等を利用す る際に必要な手続きの 支援	4.4	適切な指導者	4.3	適切な指導者	2.2	適切な指導者	3.3	適切な指導者	2.2	適切な指導者	5.6
11位	施設や用具等を利用す る際に必要な手続きの 支援	3.3	施設や用具等を利用す る際に必要な手続きの 支援	2.4	施設や用具等を利用す る際に必要な手続きの 支援	4.4	適切な指導者	4.3	適切な指導者	2.2	適切な指導者	3.3	適切な指導者	2.2	適切な指導者	5.6
12位	障害者や障害者、補助大 などに対する理解促進	2.2	施設や用具等を利用す る際に必要な手続きの 支援	1.8	施設や用具等を利用す る際に必要な手続きの 支援	2.9	適切な指導者	2.9	適切な指導者	1.8	適切な指導者	2.0	適切な指導者	1.8	適切な指導者	5.6
13位	スポーツ用具等の買出 し	1.6	スポーツ用具等の買出 し	0.6	スポーツ用具等の買出 し	2.9	適切な指導者	2.5	適切な指導者	1.8	適切な指導者	1.3	適切な指導者	1.5	適切な指導者	5.6
	その他	0.6	その他	0.6	その他	-	適切な指導者	0.9	その他	1.1	その他	1.3	その他	1.5	その他	5.6
	特になし	16.0	特になし	12.0	特になし	7.4	特になし	14.4	特になし	25.5	特になし	13.2	特になし	11.8	特になし	16.7
	活動したいと思わ ない	16.3	活動したいと思わ ない	14.4	活動したいと思わ ない	17.6	活動したいと思わ ない	16.2	活動したいと思わ ない	11.9	活動したいと思わ ない	16.4	活動したいと思わ ない	19.1	活動したいと思わ ない	22.2
	わからない	26.9	わからない	37.1	わからない	20.6	わからない	15.0	わからない	23.4	わからない	27.6	わからない	36.0	わからない	22.2

過去1年間のスポーツ・運動の実施有無別にみると、実施者が必要と考える支援は、「交通機関やまちのバリアフリー化」(16.2%)が最も高く、次いで「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(15.8%)、「適切な指導者」(12.7%)、「会場までの送迎」(12.6%)、「障害にあわせたプログラムの充実」(11.1%)の順であった。【図表49】

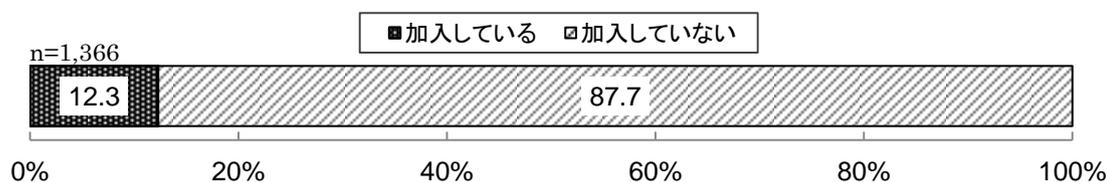
【図表49】 スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援
(スポーツ・運動の実施の有無別) [複数回答]



(10) スポーツクラブや同好会・サークルへの加入状況とその形態

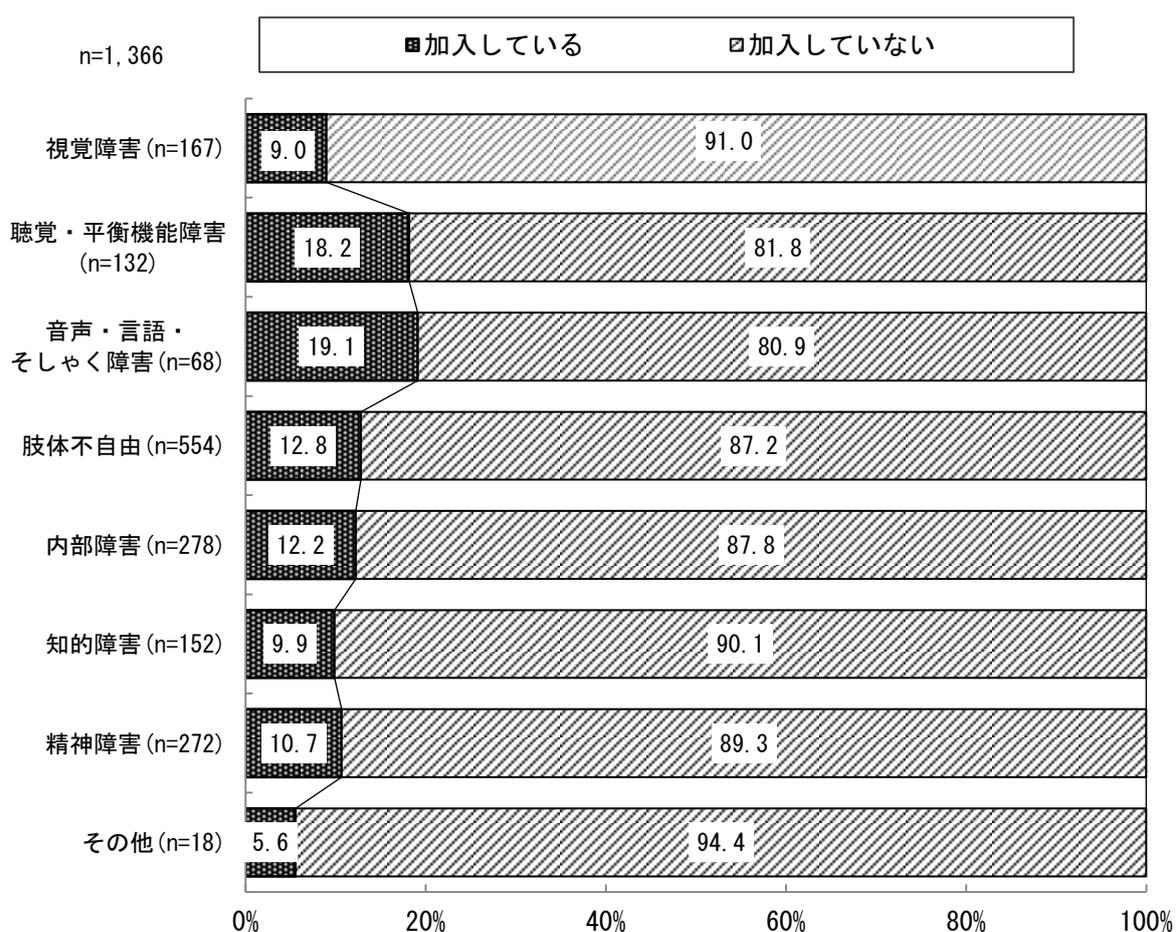
スポーツクラブや同好会・サークルに加入しているかについては、「加入している」が12.3%、「加入していない」が87.7%であった。【図表50】

【図表50】 スポーツクラブや同好会・サークルへの加入状況



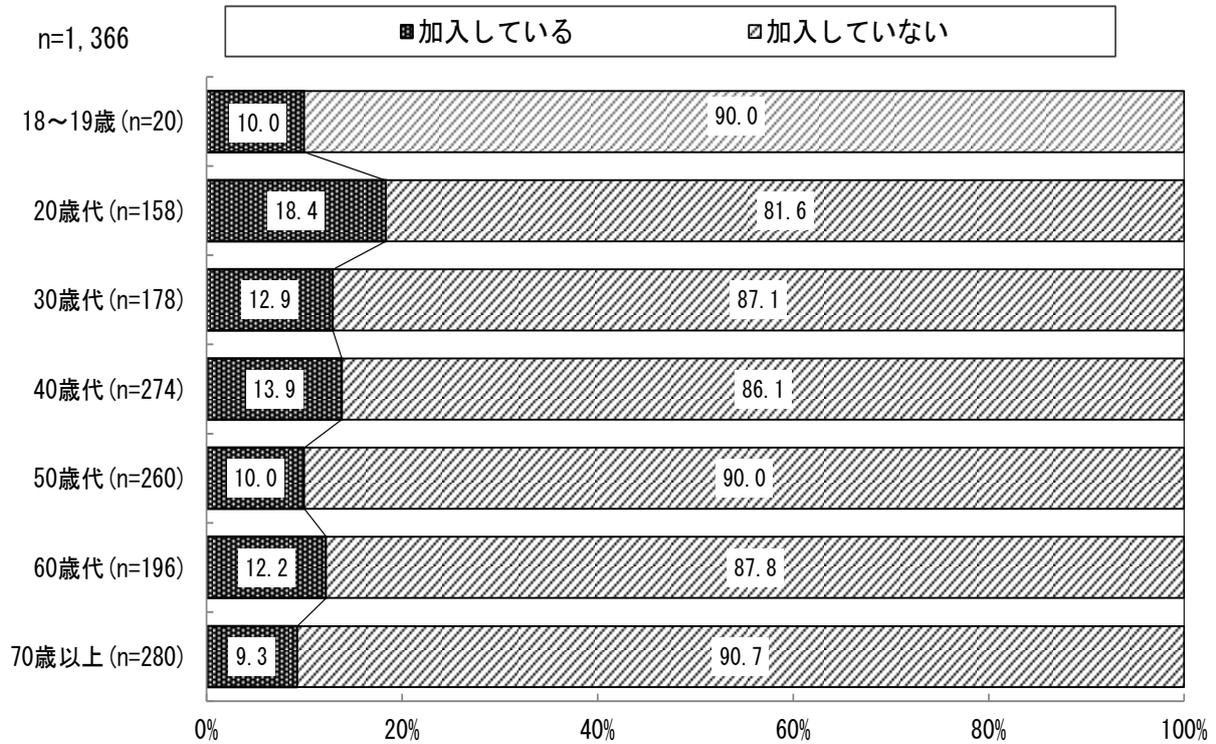
障害種別にみると、「音声・言語・そしゃく障害」は19.1%、「聴覚・平衡機能障害」は18.2%、「肢体不自由」は12.8%が、スポーツクラブや同好会・サークルに加入していた。【図表51】

【図表51】 スポーツクラブや同好会・サークルへの加入状況（障害種別）



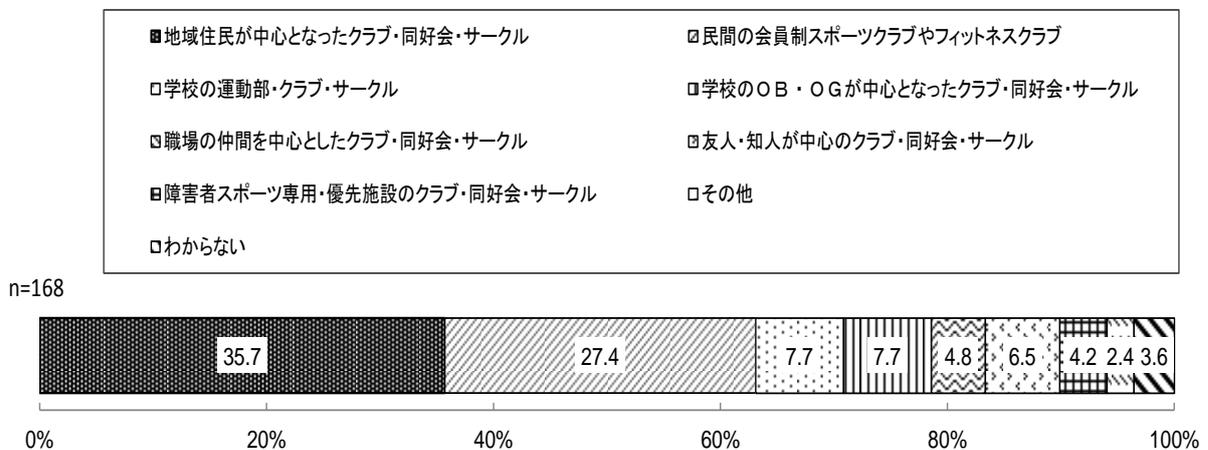
年齢別にみると、20歳代で18.4%が加入しており、他の年代に比べると、相対的に割合が高くなっている。【図表 52】

【図表 52】 スポーツクラブや同好会・サークルへの加入状況（年齢別）



加入しているスポーツクラブや同好会・サークルの主な形態についてみると、「地域住民が中心となったクラブ・同好会・サークル」(35.7%)が最も多く、次いで「民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ」(27.4%)、「学校の運動部・クラブ・サークル」(7.7%)、「学校のOB・OGなどが中心となったクラブ・同好会・サークル」(7.7%)の順であった。【図表 53】

【図表 53】 スポーツクラブや同好会・サークルの主な形態



障害種別にみると、他の障害に比べて、「視覚障害」では「地域住民が中心となったクラブ・同好会・サークル」(60.0%)、「音声・言語・そしゃく障害」では「民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ」(53.8%)、「肢体不自由」では「学校の運動部・クラブ・サークル」(16.9%)、「知的障害」では「学校のOB・OGなどが中心となったクラブ・同好会・サークル」(26.7%)、「障害者スポーツ専用・優先施設のクラブ・同好会・サークル」(20.0%)、「友人・知人が中心のクラブ・同好会・サークル」(13.3%)の割合が高かった。【図表 54】

【図表 54】 スポーツクラブや同好会・サークルの主な形態（障害種別）

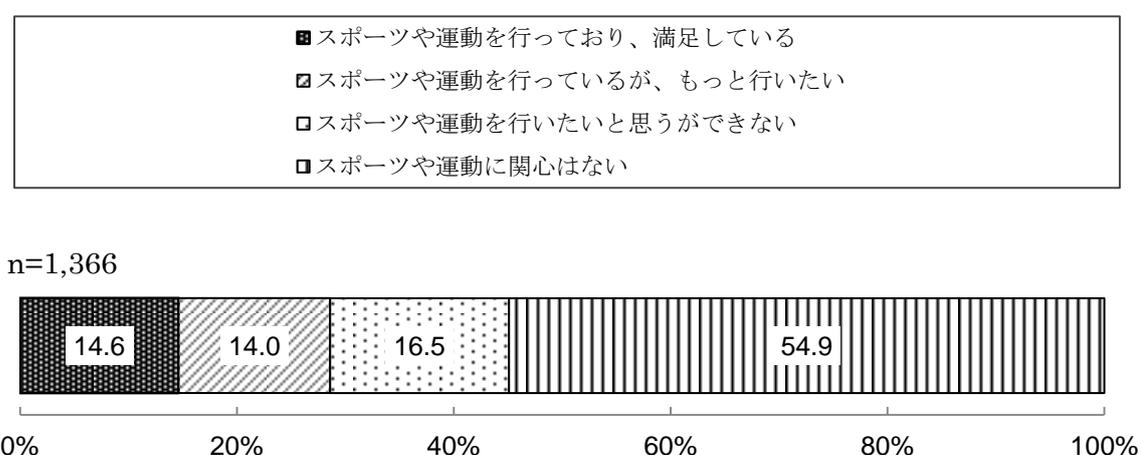
	視覚障害 (n=15)	聴覚・ 平衡 機能障害 (n=24)	音声・ 言語・ そしゃく 障害 (n=13)	肢体不自 由 (n=71)	内部障害 (n=34)	知的障害 (n=15)	精神障害 (n=29)	その他 (n=1)
地域住民が中心となった クラブ・同好会・サークル	60.0	37.5	23.1	25.4	44.1	6.7	34.5	100.0
民間の会員制スポーツ クラブやフィットネスクラブ	13.3	25.0	53.8	25.4	32.4	20.0	34.5	-
学校の運動部・ クラブ・サークル	6.7	8.3	7.7	16.9	5.9	6.7	3.4	-
学校のOB・OGが中心と なった クラブ・同好会・サークル	6.7	8.3	7.7	8.5	-	26.7	3.4	-
職場の仲間を中心とした クラブ・同好会・サークル	6.7	4.2	-	7.0	2.9	-	3.4	-
友人・知人が中心の クラブ・同好会・サークル	6.7	4.2	7.7	7.0	2.9	13.3	10.3	-
障害者スポーツ専用・優先施 設の クラブ・同好会・サークル	-	8.3	-	2.8	-	20.0	-	-
その他	-	-	-	-	8.8	6.7	3.4	-
わからない	-	-	-	5.6	2.9	-	6.9	-

(11) 現在のスポーツ・運動への取組

現在のスポーツや運動への取組については、「スポーツや運動に関心はない」(54.9%)が最も高かった。次いで「スポーツや運動を行いたいと思うができない」(16.5%)、「スポーツや運動を行っており、満足している」(14.6%)、「スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい」(14.0%)の順であった。【図表 55】

スポーツ庁が全国の障害児・者を対象に実施している、『地域における障害者スポーツ普及促進事業（障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究）』（笹川スポーツ財団：平成30年3月）と同様の傾向であった。【図表 56】

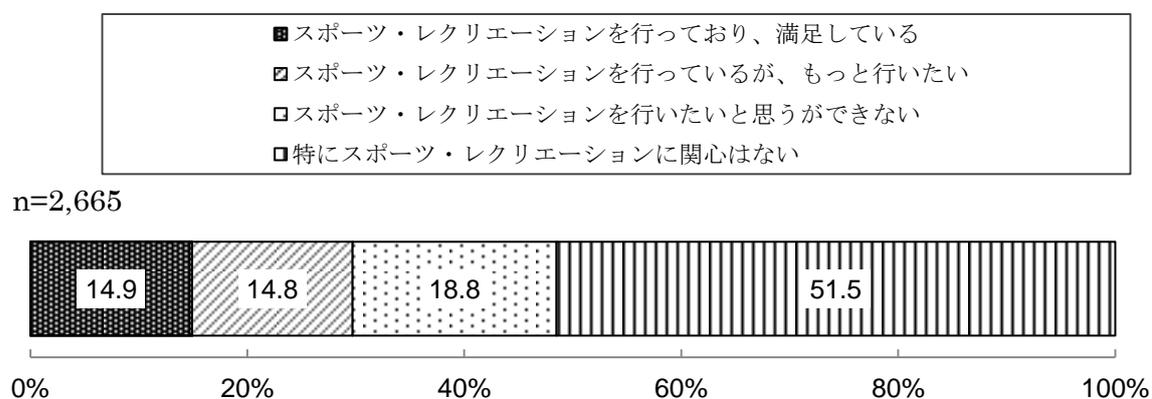
【図表 55】 現在のスポーツ・運動への取組



【図表 56】 現在のスポーツ・レクリエーションへの取組

「障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究」

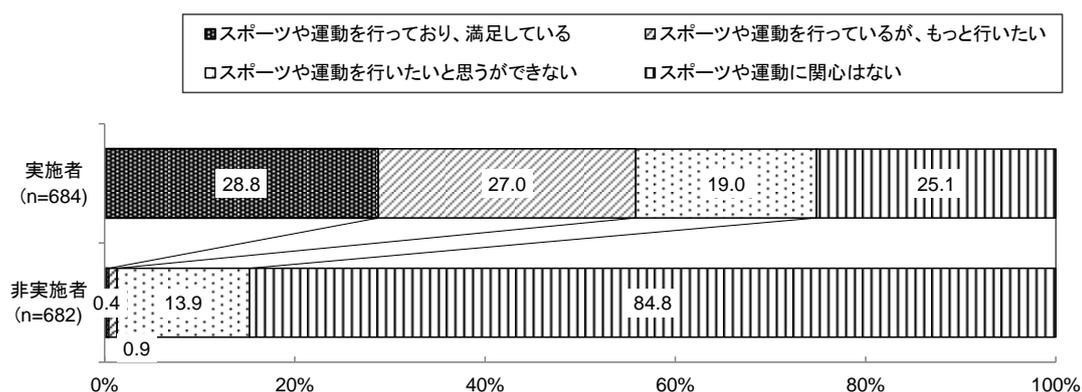
(笹川スポーツ財団：平成30年3月)



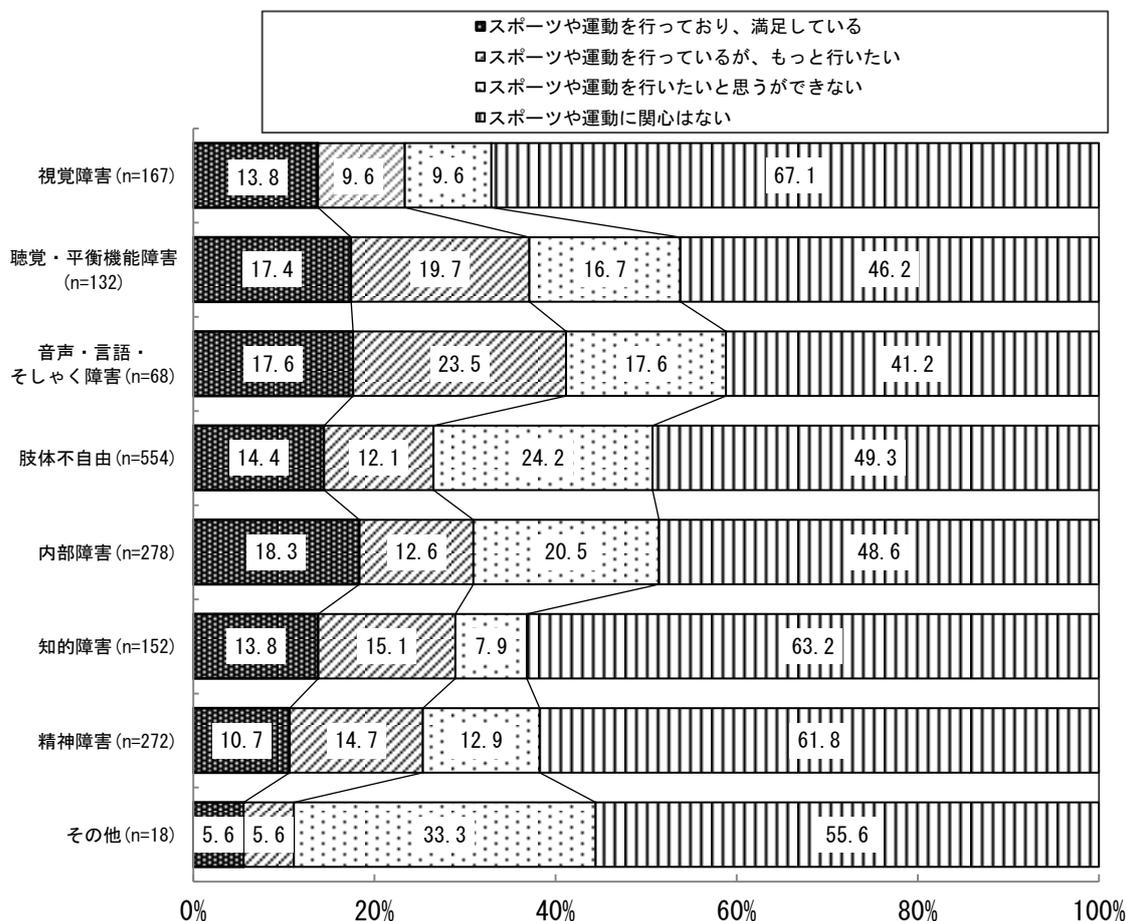
過去1年間のスポーツ・運動の実施有無別にみると、非実施者においては、「スポーツや運動に関心はない」が84.8%となった。【図表57】

障害種別でみると、全ての障害種別において「スポーツや運動に関心はない」の割合が高く、「肢体不自由」、「内部障害」では「スポーツや運動を行いたいと思うができない」がそれぞれ2割を超えた。【図表58】

【図表57】現在のスポーツ・運動への取組（スポーツ・運動の実施の有無別）

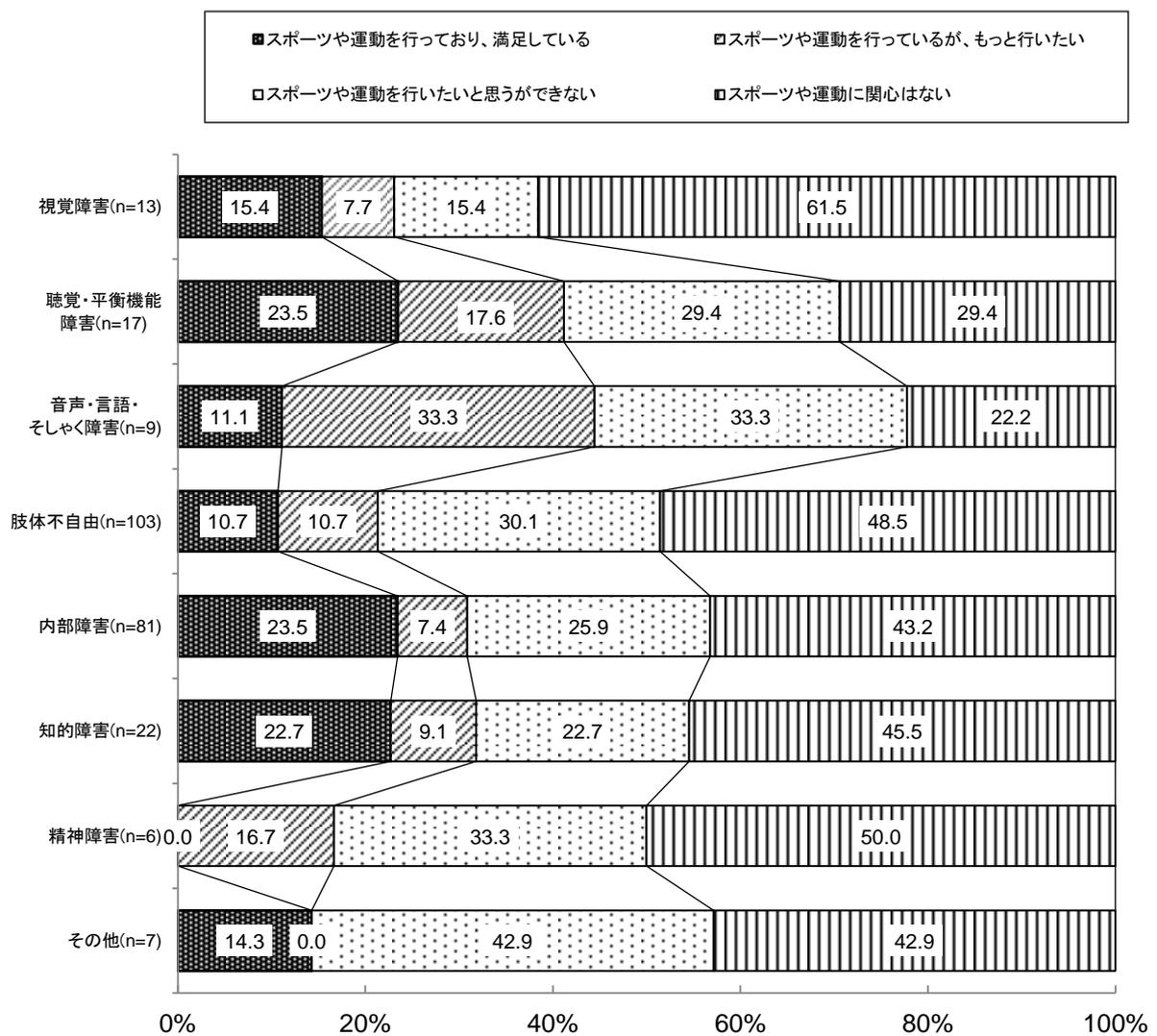


【図表58】現在のスポーツ・運動への取組（障害種別）



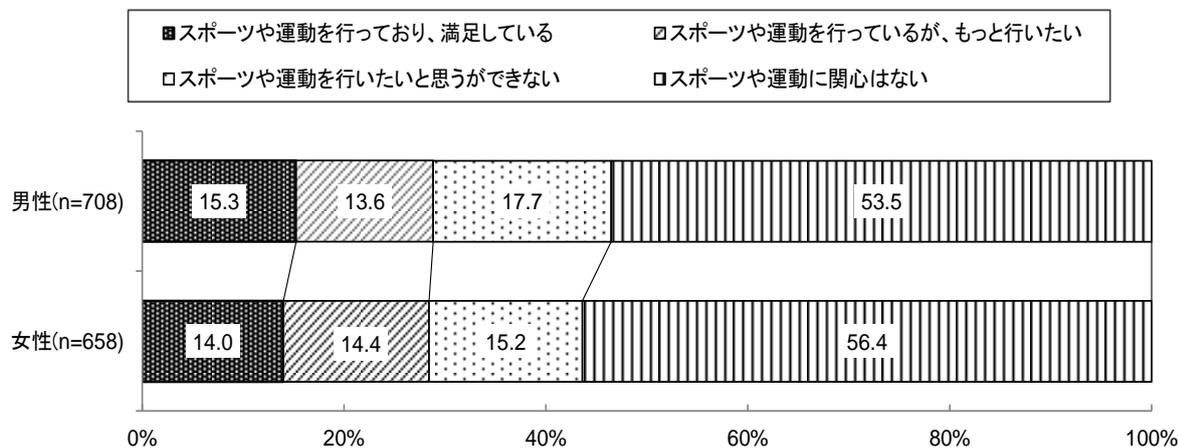
障害の程度を重度に絞ると、全ての障害において、図表 58 と比べ「スポーツや運動に関心はない」の割合が低くなり、「スポーツや運動を行いたいと思うができない」と回答する割合が高くなっている。【図表 59】

【図表 59】現在のスポーツ・運動への取組（障害種別）【重度】

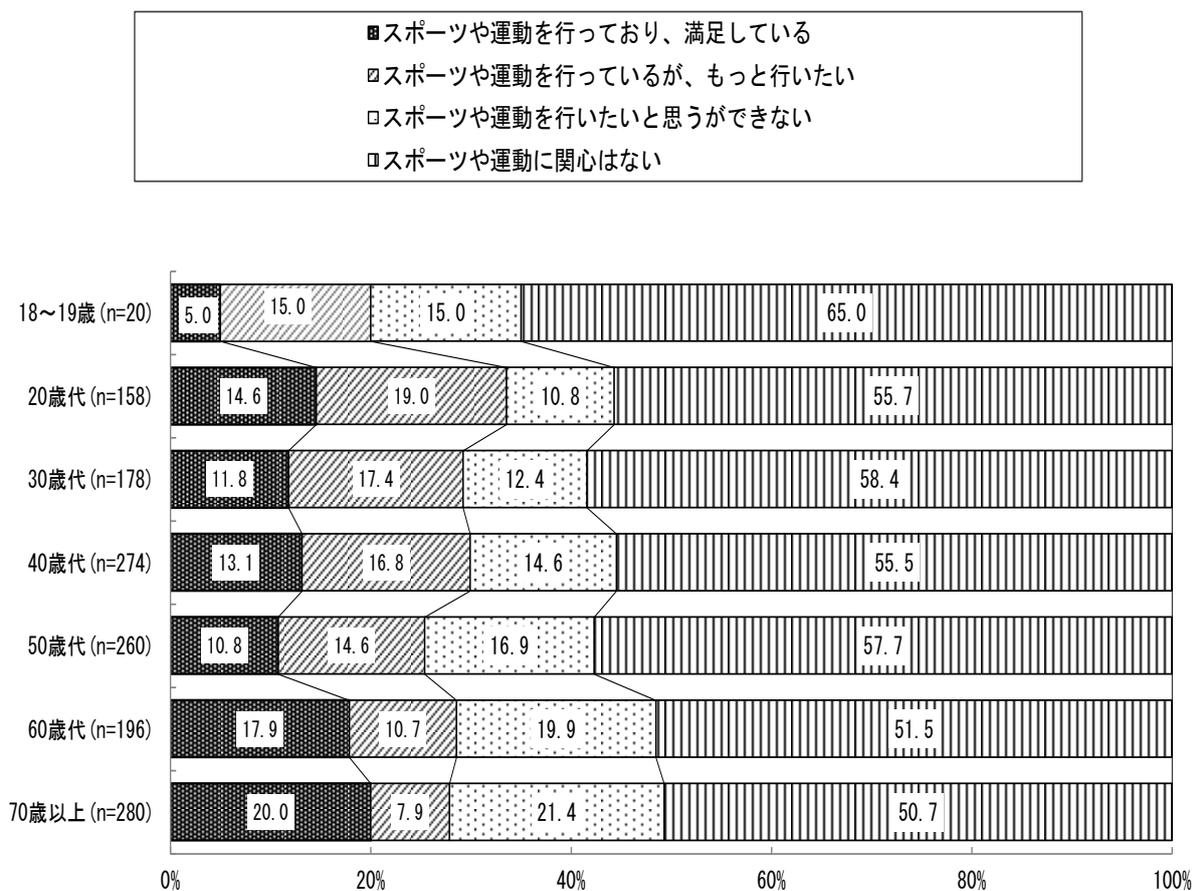


性別で見ると、いずれも「スポーツや運動に関心はない」が5割を超えた。【図表 60】
 年齢別にみると、18～59歳に比べて、60歳以上では「スポーツや運動を行っており、満足している」割合が高かった。【図表 61】

【図表 60】現在のスポーツ・運動への取組（性別）



【図表 61】現在のスポーツ・運動への取組（年齢別）



2. 3 スポーツ観戦の実施

(1) 過去1年間のスポーツ観戦の有無

過去1年間のスポーツ観戦の有無では、「観戦したことはない」(34.6%)が最も高かった。観戦したことがあると回答した中では、「テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある」(28.4%)が最も高く、次いで「スタジアム・体育館などで実際に観戦したことがある」(13.4%)、「浴道で実際に観戦したことがある」(7.2%)の順であった。

障害種別にみると、他の障害に比べて、「聴覚・平衡機能障害」と「音声・言語・そしゃく障害」は「スタジアム・体育館などで実際に観戦したことがある」(それぞれ21.2%、25.0%)が高かった。【図表62】

年齢別にみると、年齢が高くなるほど、「スタジアム・体育館などで実際に観戦したことがある」は低くなる傾向が見られた。【図表63】

【図表 62】 過去 1 年間のスポーツ観戦の有無（全体・障害種別） [複数回答]

(%)

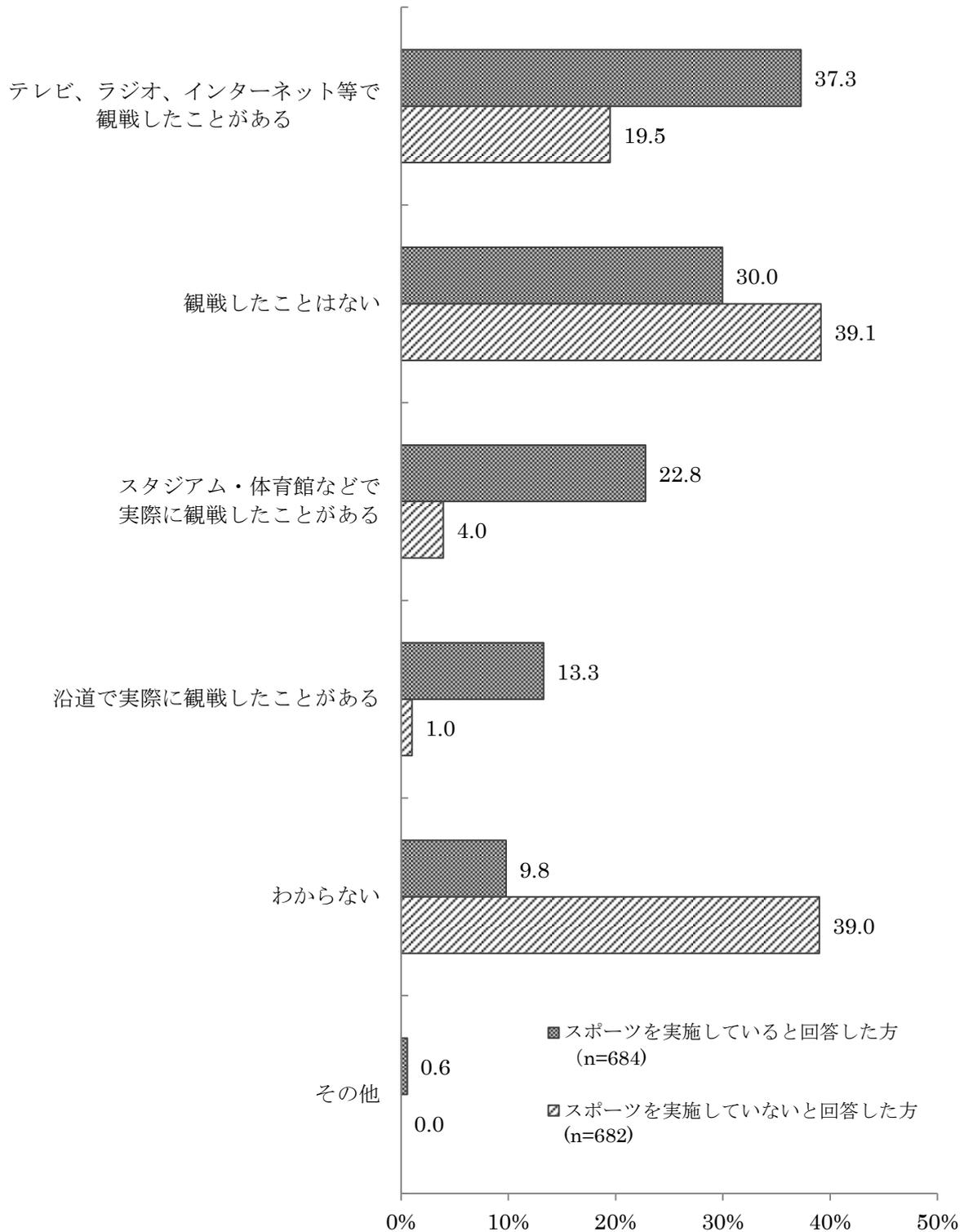
	全体 (n=1,366)	視覚障害 (n=167)	聴覚・平衡機能障害 (n=132)	音声・言語・ そしゃく障害 (n=68)	肢体不自由 (n=554)	内部障害 (n=278)	知的障害 (n=152)	精神障害 (n=272)	その他 (n=18)
1位	テレビ、ラジオ、 インターネット等 で観戦したことが ある 28.4	テレビ、ラジオ、 インターネット等 で観戦したことが ある 21.0	テレビ、ラジオ、 インターネット等 で観戦したことが ある 23.5	テレビ、ラジオ、 インターネット等 で観戦したことが ある 35.3	テレビ、ラジオ、 インターネット等 で観戦したことが ある 35.2	テレビ、ラジオ、 インターネット等 で観戦したことが ある 35.6	テレビ、ラジオ、 インターネット等 で観戦したことが ある 21.1	テレビ、ラジオ、 インターネット等 で観戦したことが ある 21.0	テレビ、ラジオ、 インターネット等 で観戦したことが ある 50.0
2位	スタジアム・体育 館などで実際に観 戦したことがある 13.4	スタジアム・体育 館などで実際に観 戦したことがある 13.2	スタジアム・体育 館などで実際に観 戦したことがある 21.2	スタジアム・体育 館などで実際に観 戦したことがある 25.0	スタジアム・体育 館などで実際に観 戦したことがある 12.8	スタジアム・体育 館などで実際に観 戦したことがある 12.2	スタジアム・体育 館などで実際に観 戦したことがある 10.5	スタジアム・体育 館などで実際に観 戦したことがある 11.4	沿道で実際に観戦 したことがある 5.6
3位	沿道で実際に観戦 したことがある 7.2	沿道で実際に観戦 したことがある 12.0	沿道で実際に観戦 したことがある 17.4	沿道で実際に観戦 したことがある 14.7	沿道で実際に観戦 したことがある 6.7	沿道で実際に観戦 したことがある 4.0	沿道で実際に観戦 したことがある 4.6	沿道で実際に観戦 したことがある 4.8	-
	その他 0.3	-	-	-	その他 0.4	その他 0.4	-	その他 1.1	-
	観戦したことはな い 34.6	観戦したことはな い 28.1	観戦したことはな い 31.8	観戦したことはな い 32.4	観戦したことはな い 38.6	観戦したことはな い 36.0	観戦したことはな い 42.8	観戦したことはな い 35.3	観戦したことはな い 27.8
	わからない 24.4	わからない 34.1	わからない 22.7	わからない 13.2	わからない 13.7	わからない 21.9	わからない 27.0	わからない 33.1	わからない 22.2

【図表 63】過去1年間のスポーツ観戦の有無（年齢別）〔複数回答〕

		(%)							
		全体 (n=1,366)	18～19歳 (n=20)	20歳代 (n=158)	30歳代 (n=178)	40歳代 (n=274)	50歳代 (n=260)	60歳代 (n=196)	70歳以上 (n=280)
1位	テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある	28.4	30.0	24.7	18.5	26.3	27.3	35.7	35.4
			テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある		スタジアム・体育館などで実際に観戦したことがある	テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある	テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある	テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある	テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある
2位	スタジアム・体育館などで実際に観戦したことがある	13.4	20.0	15.8	17.4	16.4	12.3	10.2	8.6
			スタジアム・体育館などで実際に観戦したことがある		テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある	スタジアム・体育館などで実際に観戦したことがある	スタジアム・体育館などで実際に観戦したことがある	スタジアム・体育館などで実際に観戦したことがある	スタジアム・体育館などで実際に観戦したことがある
3位	沿道で実際に観戦したことがある	7.2	10.0	8.9	11.2	6.6	8.8	5.6	3.6
			沿道で実際に観戦したことがある		沿道で実際に観戦したことがある	沿道で実際に観戦したことがある	沿道で実際に観戦したことがある	沿道で実際に観戦したことがある	沿道で実際に観戦したことがある
	その他	0.3	-	0.6	-	0.7	-	0.5	-
			-	その他	-	その他	-	その他	-
	観戦したことはない	34.6	30.0	27.2	33.1	35.8	33.1	36.2	38.9
			観戦したことはない		観戦したことはない	観戦したことはない	観戦したことはない	観戦したことはない	観戦したことはない
	わからない	24.4	25.0	31.0	29.8	23.7	26.2	20.4	18.9
			わからない		わからない	わからない	わからない	わからない	わからない

スポーツ・運動の実施の有無別にみると、非実施者に比べて、実施者の方が「テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある」で約18ポイント、「スタジアム・体育館などで実際に観戦したことがある」で約19ポイント、「沿道で実際に観戦したことがある」で約12ポイント高くなっている。【図表64】

【図表64】 過去1年間のスポーツ観戦の有無（スポーツ・運動の実施の有無別）[複数回答]



(2) スポーツ観戦を行う際に必要と考える支援

スポーツ観戦を行う際に必要と考える支援は、「観戦したいと思わない」(23.2%)が最も高く、次いで「わからない」(22.5%)、「特にない」(16.7%)であった。

必要な支援があると回答した中では、「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(12.3%)が最も高く、次いで「交通機関やまちのバリアフリー化」(11.8%)、「会場までの送迎」(11.7%)、「障害者に配慮した観戦席の充実」(11.4%)、「観戦料の減免」(7.0%)の順であった。

障害種別にみると、「音声・言語・そしゃく障害」は「障害者に配慮した観戦席の充実」(17.6%)、「知的障害」は「会場までの送迎」(13.2%)、「精神障害」は「観戦料の減免」(11.8%)が最も高く、他の障害に比べて、「知的障害」は「一緒に観戦する仲間」(9.2%)の割合が高くなっている。【図表 65】

【図表 65】スポーツ観戦を行う際に必要な支援（全体・障害種別）[複数回答]

(%)

	全体 (n=1,366)	視覚障害 (n=167)	聴覚・平衡機能障害 (n=132)	音声・言語・ そしゃく障害 (n=68)	肢体不自由 (n=554)	内部障害 (n=278)	知的障害 (n=152)	精神障害 (n=272)	その他 (n=18)
1位	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化 12.3	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化 12.6	交通機関やまちのバリアフリー化 14.4	障害者に配慮した観戦席の充実 17.6	交通機関やまちのバリアフリー化 19.1	交通機関やまちのバリアフリー化 13.3	会場までの送迎 13.2	観戦料の減免 11.8	観戦料の減免 22.2
2位	交通機関やまちのバリアフリー化 11.8	会場までの送迎 10.2	会場までの送迎 12.9	交通機関やまちのバリアフリー化 16.2	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化 19.0	会場までの送迎 10.4	障害者に配慮した観戦席の充実 12.5	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化 9.6	障害者に配慮した観戦席の充実 16.7
3位	会場までの送迎 11.7	障害者に配慮した観戦席の充実 9.0	会場までの送迎 9.8	会場までの送迎 14.7	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化 17.7	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化 10.1	観戦料の減免 10.5	障害者に配慮した観戦席の充実 7.7	テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応 11.1
4位	障害者に配慮した観戦席の充実 11.4	交通機関やまちのバリアフリー化 8.4	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化 9.1	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化 13.2	障害者に配慮した観戦席の充実 14.6	障害者に配慮した観戦席の充実 10.1	一緒に観戦する仲間 9.2	交通機関やまちのバリアフリー化 5.5	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化 5.6
5位	観戦料の減免 7.0	テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応 3.6	テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応 7.6	介助者や手話通訳などの支援 7.4	観戦料の減免 9.4	観戦料の減免 7.6	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化 7.2	会場までの送迎 5.5	交通機関やまちのバリアフリー化 5.6
6位	一緒に観戦する仲間 4.7	テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応 4.7	観戦料の減免 6.1	観戦料の減免 4.4	一緒に観戦する仲間 5.4	一緒に観戦する仲間 4.0	介助者や手話通訳などの支援 5.9	一緒に観戦する仲間 5.9	会場までの送迎 5.6
7位	テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応 3.4	観戦料の減免 3.0	障害者に配慮した情報の提供や問合せ方法の充実 5.3	テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応 2.9	介助者や手話通訳などの支援 5.1	障害者に配慮した情報の提供や問合せ方法の充実 2.2	障害者に配慮した情報の提供や問合せ方法の充実 4.6	テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応 2.9	障害者に配慮した情報の提供や問合せ方法の充実 2.9
8位	障害者に配慮した情報の提供や問合せ方法の充実 3.4	一緒に観戦する仲間 2.4	一緒に観戦する仲間 3.8	情報機器操作の支援 3.8	障害者に配慮した情報の提供や問合せ方法の充実 4.3	介助者や手話通訳などの支援 2.2	交通機関やまちのバリアフリー化 3.3	障害者に配慮した情報の提供や問合せ方法の充実 2.6	—
9位	介助者や手話通訳などの支援 3.2	情報機器操作の支援 1.2	観戦料の減免 3.0	障害者に配慮した情報の提供や問合せ方法の充実 3.0	テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応 3.4	テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応 1.4	テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応 2.6	介助者や手話通訳などの支援 1.5	—
10位	情報機器操作の支援 1.3	障害者、補助犬などに対する理解促進 1.2	障害者、補助犬などに対する理解促進 1.5	障害者、補助犬などに対する理解促進 1.6	障害者、補助犬などに対する理解促進 1.3	情報機器操作の支援 1.3	情報機器操作の支援 1.3	障害者、補助犬などに対する理解促進 1.1	—
11位	障害者、補助犬などに対する理解促進 0.9	障害者に配慮した情報の提供や問合せ方法の充実 0.9	情報機器操作の支援 0.8	情報機器操作の支援 1.5	情報機器操作の支援 1.3	—	障害者、補助犬などに対する理解促進 0.7	情報機器操作の支援 0.7	—
	その他 0.7	その他 0.6	その他 0.8	その他 1.5	その他 2.2	その他 1.1	その他 1.3	その他 1.1	—
	特になし 16.7	特になし 13.8	特になし 12.1	特になし 10.3	特になし 14.4	特になし 25.2	特になし 12.5	特になし 11.8	特になし 33.3
	観戦したいと思わない 23.2	観戦したいと思わない 20.4	観戦したいと思わない 22.7	観戦したいと思わない 32.4	観戦したいと思わない 23.1	観戦したいと思わない 21.6	観戦したいと思わない 24.3	観戦したいと思わない 27.6	観戦したいと思わない 16.7
	わからない 22.5	わからない 31.1	わからない 23.5	わからない 13.2	わからない 12.6	わからない 20.5	わからない 25.0	わからない 29.4	わからない 16.7

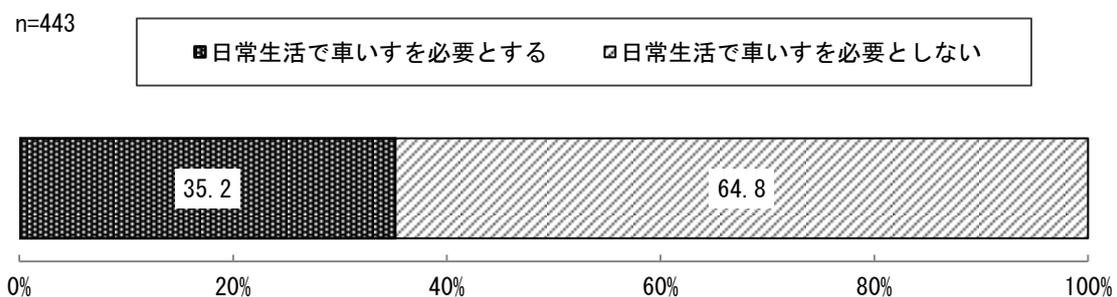
3 日常生活における車いす利用の有無によるスポーツ・運動の実施状況

該当する障害の種類において、肢体不自由と回答した方の内、日常生活で車いすを必要とするか、必要としないかによって、区分を行い、回答結果の分析を行った。

(1) 障害の種類

肢体不自由と回答のあった方の内、「日常生活で車いすを必要とする」が 35.2%、「日常生活で車いすを必要としない」が 64.8%であった。【図表 66】

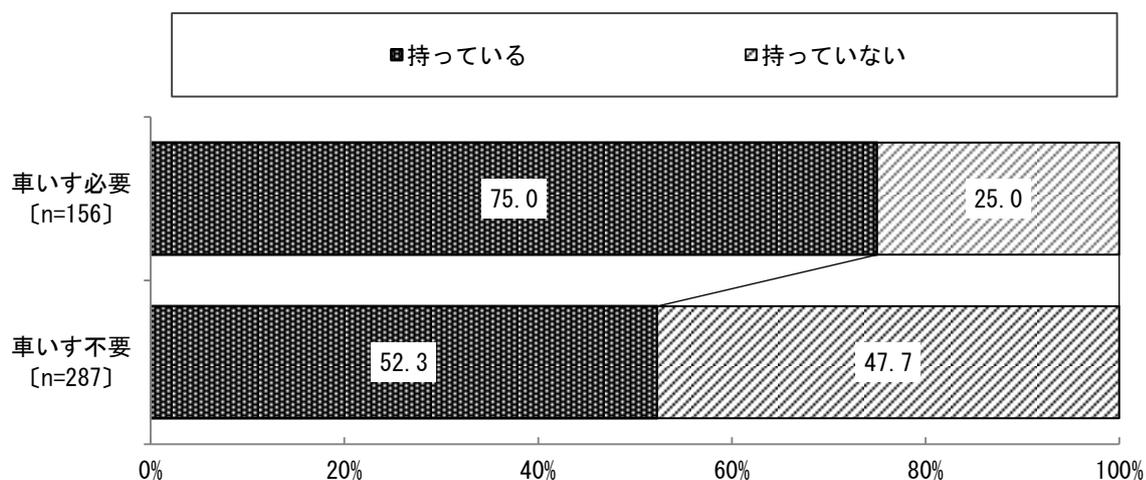
【図表 66】 障害の種類（日常生活で車いす必要／不要）



(2) 障害者手帳の保有状況

障害者手帳の保有状況でみると、「日常生活で車いすを必要とする」の保有率が 75.0%であるのに対し、「日常生活で車いすを必要としない」の保有率は 52.3%であった。【図表 67】

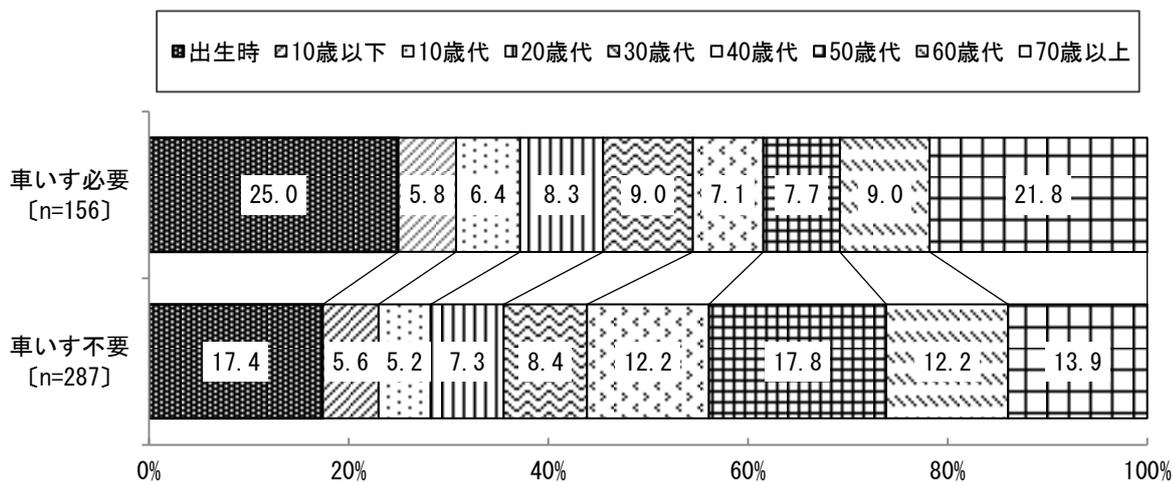
【図表 67】 障害者手帳の保有状況（日常生活で車いす必要／不要）



(3) 障害が発生した年齢

障害が発生した年齢でみると、「日常生活で車いすを必要とする」は「出生時」及び「70歳以上」の発生がそれぞれ25.0%、21.8%と高かった。【図表68】

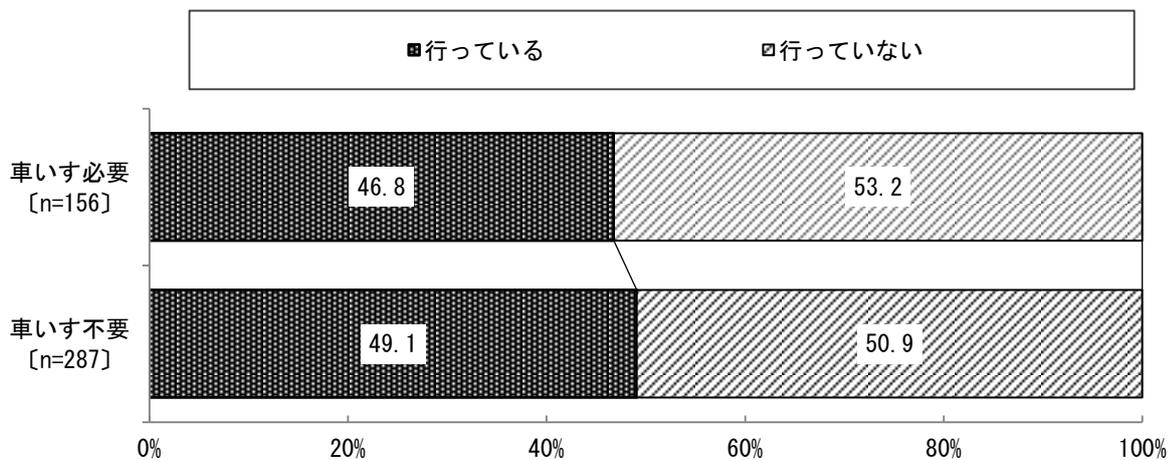
【図表68】 障害が発生した年齢（日常生活で車いす必要／不要）



(4) 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無

過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無でみると、スポーツ・運動の実施者は、「日常生活で車いすを必要とする」は46.8%、「日常生活で車いすを必要としない」は49.1%であった。【図表69】

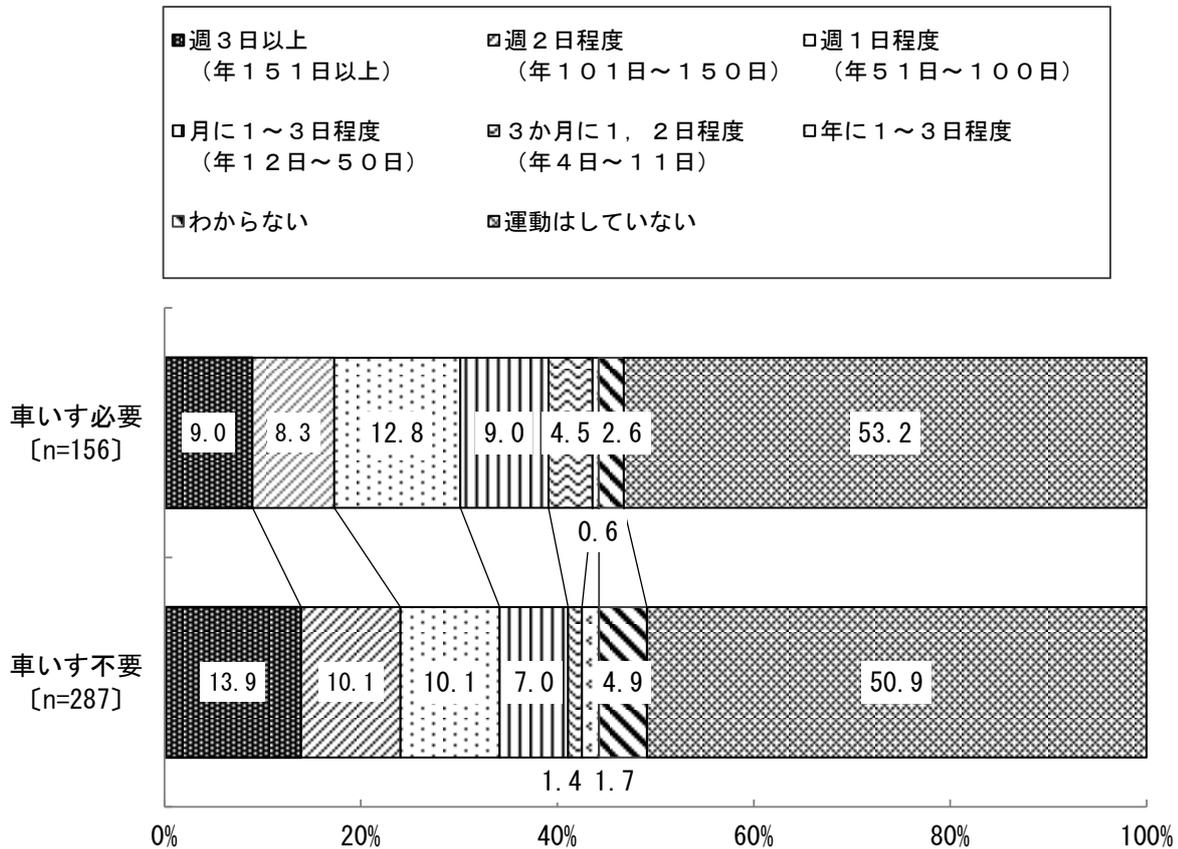
【図表69】 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無（日常生活で車いす必要／不要）



(5) 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数

過去1年間のスポーツ・運動を行った日数について、週1日以上の実施者は、「日常生活で車いすを必要とする」は30.1%、「日常生活で車いすを必要としない」は34.1%であった。【図表70】

【図表70】 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数（日常生活で車いす必要／不要）



(6) 過去1年間に行ったスポーツ・運動

過去1年間にスポーツ・運動を「行った」と回答した人が、どのようなスポーツ・運動を行ったかについて、上位種目をまとめたところ、いずれも「ウォーキング、散歩」が最も高く、次いで「体操」、「室内運動器具を用いる運動」の順であった。また、「ウォーキング、散歩」については、「日常生活で車いすを必要としない」の方が、約20ポイント高かった。【図表71】

【図表71】過去1年間に行ったスポーツ・運動（日常生活で車いす必要／不要）[複数回答]

	車いす必要[n=73]		車いす不要[n=141]	
1位	ウォーキング、散歩	52.1	ウォーキング、散歩	72.3
2位	体操	32.9	体操	28.4
3位	室内運動器具を用いる運動	20.5	室内運動器具を用いる運動	18.4
4位	水泳・遊泳	8.2	水泳・遊泳	13.5
5位	陸上競技	6.8	球技	8.5
6位	球技	5.5	サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ	6.4
7位	格闘技		陸上競技	5.0
8位	障害者スポーツ	4.1	武道	2.8
9位	サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ		ウィンタースポーツ	
10位	ダンス		ウォータースポーツ	
	射的			
	ウォータースポーツ			

(7) スポーツ・運動を実施する場所

スポーツ・運動を実施する場所は、「日常生活で車いすを必要とする」は「自宅」(34.2%)が最も高く、「日常生活で車いすを必要としない」は「道路や遊歩道」(50.4%)が最も高かった。

【図表 72】

【図表 72】 スポーツ・運動を実施する場所（日常生活で車いす必要／不要）[複数回答]

	車いす必要[n=73]		車いす不要[n=141]	
1位	自宅	34.2	道路や遊歩道	50.4
2位	道路や遊歩道	23.3	自宅	36.9
3位	広場や公園	21.9	広場や公園	22.7
4位	民間のスポーツ施設	20.5	公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)	17.7
5位	公共のスポーツ施設(障害者専用施設)	15.1	民間のスポーツ施設	14.9
6位	公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)	11.0	医療機関	7.8
7位	福祉施設		公共のスポーツ施設(障害者専用施設)	6.4
8位	小中高校の体育施設	8.2	福祉施設	
9位	特別支援学校の体育施設		山・川・海	
10位	職場のスポーツ施設	6.8	小中高校の体育施設	4.3

(8) スポーツ・運動を一緒に実施する人

スポーツ・運動を一緒に実施する人は、「日常生活で車いすを必要とする」は「家族」(30.1%)が最も高く、「日常生活で車いすを必要としない」は「一人」(59.6%)が最も高かった。【図表73】

【図表 73】 スポーツ・運動を一緒に実施する人（日常生活で車いす必要／不要）[複数回答]

	車いす必要[n=73]		車いす不要[n=141]	
1位	家族	30.1	一人	59.6
2位	一人	24.7	家族	22.0
3位	障害者専用スポーツ施設の職員・仲間	20.5	福祉施設の職員・仲間	10.6
4位	福祉施設の職員・仲間	19.2	スポーツ教室の指導者・仲間	9.2
5位	地域の公共スポーツ施設の職員・仲間	15.1	その他の友人・知人	7.8
6位	障害がある人のサークル・障害者スポーツサークル等の仲間		地域の公共スポーツ施設の職員・仲間	6.4
7位	スポーツ教室の指導者・仲間	9.6	障害がある人やない人など様々な人がいるサークルの仲間	5.7
8位	障害がある人やない人など様々な人がいるサークルの仲間	6.8	障害がある人のサークル・障害者スポーツサークル等の仲間	2.8
9位	ボランティアの人たち	5.5	ボランティアの人たち	
10位	学校の先生や学校の友達	4.1	学校の先生や学校の友達	2.1

(9) スポーツ・運動を実施する理由

スポーツ・運動を実施する理由は、「日常生活で車いすを必要とする」は「リハビリテーションや医療・治療のため」(37.0%)が最も高く、「日常生活で車いすを必要としない」は「健康・体力づくりのため」(64.5%)が最も高かった。【図表 74】

【図表 74】 スポーツ・運動を実施する理由（日常生活で車いす必要／不要）【複数回答】

	車いす必要[n=73]		車いす不要[n=141]	
1位	リハビリテーションや医療・治療のため	37.0	健康・体力づくりのため	64.5
2位	健康・体力づくりのため	30.1	運動不足解消のため	52.5
3位	楽しみや気晴らしのため	28.8	リハビリテーションや医療・治療のため	29.8
4位	運動不足解消のため		楽しみや気晴らしのため	28.4
5位	自己の記録や能力を向上させるため	21.9	友人・仲間との交流のため	14.2
6位	精神の修養や訓練のため	17.8	精神の修養や訓練のため	10.6
7位	家族のふれあいのため	13.7	自己の記録や能力を向上させるため	8.5
8位	友人・仲間との交流のため	8.2	家族のふれあいのため	5.7
9位	美容や肥満解消のため	6.8	美容や肥満解消のため	3.5
10位	障害者スポーツ大会に参加するため	1.4	障害者スポーツ大会に参加するため	2.8

(10) スポーツ・運動を実施しない理由

スポーツ・運動を実施しない理由は、いずれも、「活動したいと思わない」が最も高く、次いで「活動したいが、身体的にできない」であった。【図表 75】

【図表 75】 スポーツ・運動を実施しない理由（日常生活で車いす必要／不要）【複数回答】

	車いす必要[n=83]		車いす不要[n=146]	
1位	活動したいが、身体的にできない	37.3	活動したいが、身体的にできない	32.2
2位	活動したいが、自分に合ったスポーツや運動の情報がない	4.8	活動したいが、一緒にやる人がいない	5.5
3位	活動したいが、身近なところにスポーツや運動がやれる場所がない	3.6	活動したいが、身近なところにスポーツや運動がやれる場所がない	4.8
4位	活動したいが、一緒にやる人がいない		活動したいが、自分に合ったスポーツや運動の情報がない	4.1
5位	活動したいが、時間がない		活動したいが、時間がない	2.7
	活動したいと思わない	54.2	活動したいと思わない	56.2

(11) 今後実施したいスポーツ・運動

今後、実施したいスポーツや運動は、「日常生活で車いすを必要とする」は「特にない」(50.0%)が最も高かった。「日常生活で車いすを必要としない」は、「ウォーキング、散歩」(42.5%)の割合が最も高かった。【図表 76】

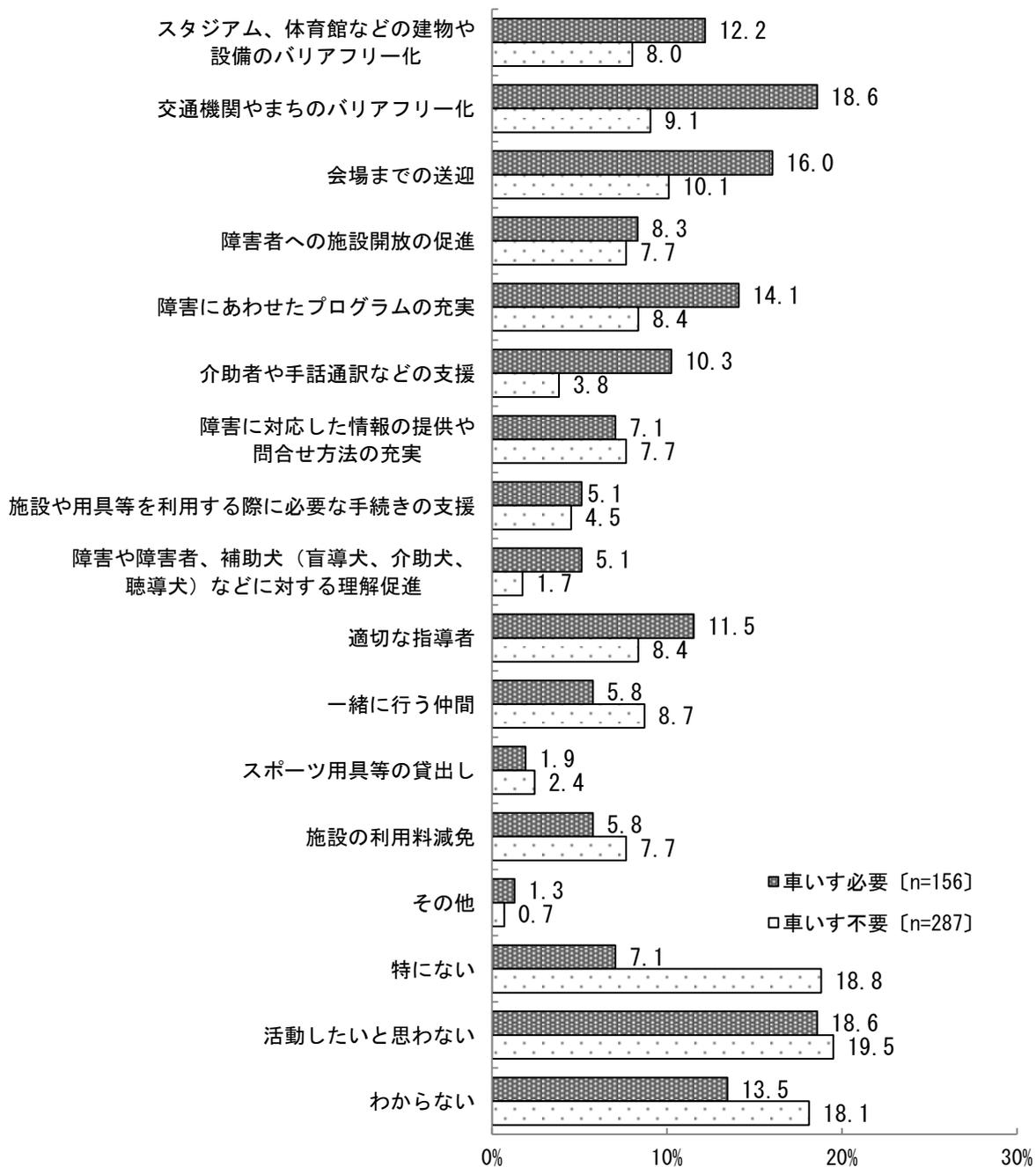
【図表 76】 今後実施したいスポーツ・運動（日常生活で車いす必要／不要）[複数回答]

	車いす必要[n=156]		車いす不要[n=287]	
1位	ウォーキング、散歩	25.6	ウォーキング、散歩	42.5
2位	体操	14.1	体操	17.1
3位	室内運動器具を用いる運動	10.3	水泳・遊泳	12.2
4位	陸上競技	7.7	室内運動器具を用いる運動	9.8
5位	球技	6.4	ダンス	4.9
6位	障害者スポーツ		球技	4.2
7位	水泳・遊泳	5.1	サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ	3.5
8位	ダンス	4.5	陸上競技	3.1
9位	ウォータースポーツ	3.2	アウトドアスポーツ	2.4
10位	格闘技	2.6	ウィンタースポーツ	2.1
	特にない	50.0	特にない	41.1

(12) スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援

スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援は、「日常生活で車いすを必要とする」は、「交通機関やまちのバリアフリー化」(18.6%)が最も高く、次いで「会場までの送迎」(16.0%)、「障害にあわせたプログラムの充実」(14.1%)の順であった。「日常生活で車いすを必要としない」は、「会場までの送迎」(10.1%)が最も高く、次いで「交通機関やまちのバリアフリー化」(9.1%)、「一緒に行く仲間」(8.7%)の順であった。【図表 77】

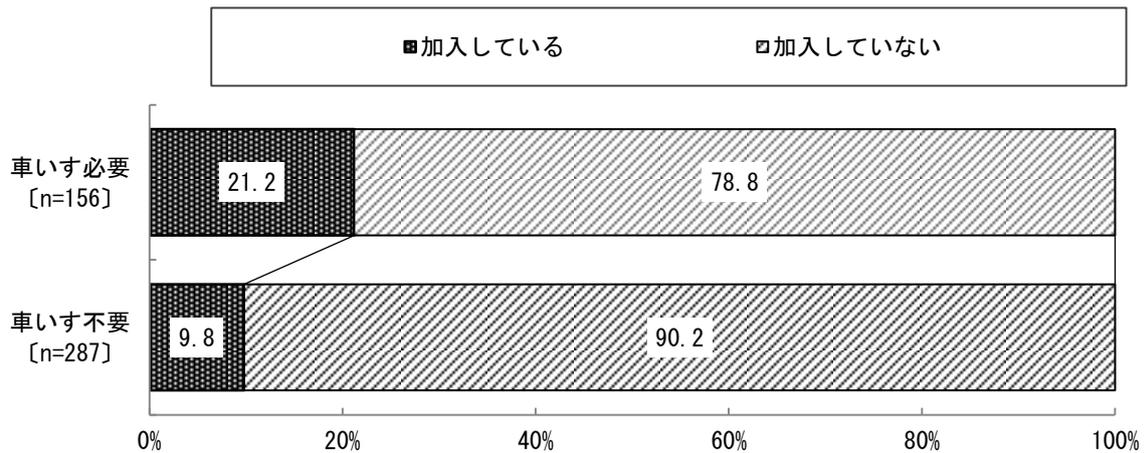
【図表 77】 スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援（日常生活で車いす必要／不要）〔複数回答〕



(13) スポーツクラブや同好会・サークルへの加入状況

スポーツクラブや同好会・サークルへの加入状況について、「日常生活で車いすを必要とする」は「加入している」が21.2%、「加入していない」が78.8%であった。「日常生活で車いすを必要としない」は「加入している」が9.8%、「加入していない」が90.2%であり、「加入している」については、「日常生活で車いすを必要とする」の方が約10ポイント高かった、【図表78】

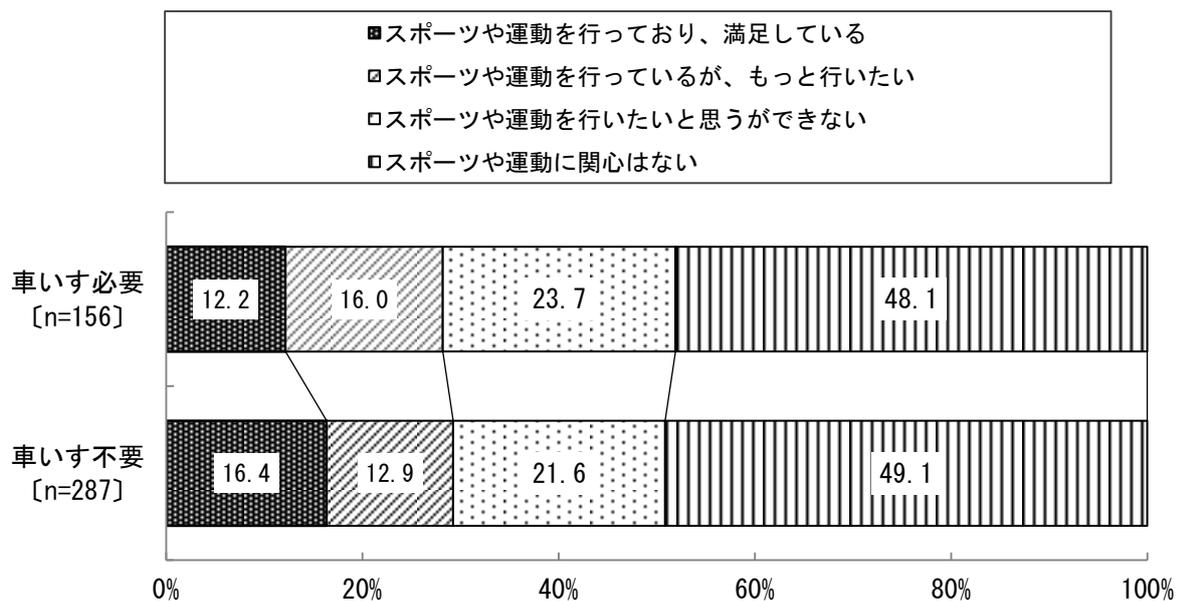
【図表78】 スポーツクラブや同好会・サークルへの加入（日常生活で車いす必要／不要）



(14) 現在のスポーツ・運動への取組

現在のスポーツ・運動への取組については、それぞれ、約5割の回答者がスポーツや運動に関心がなかった。【図表79】

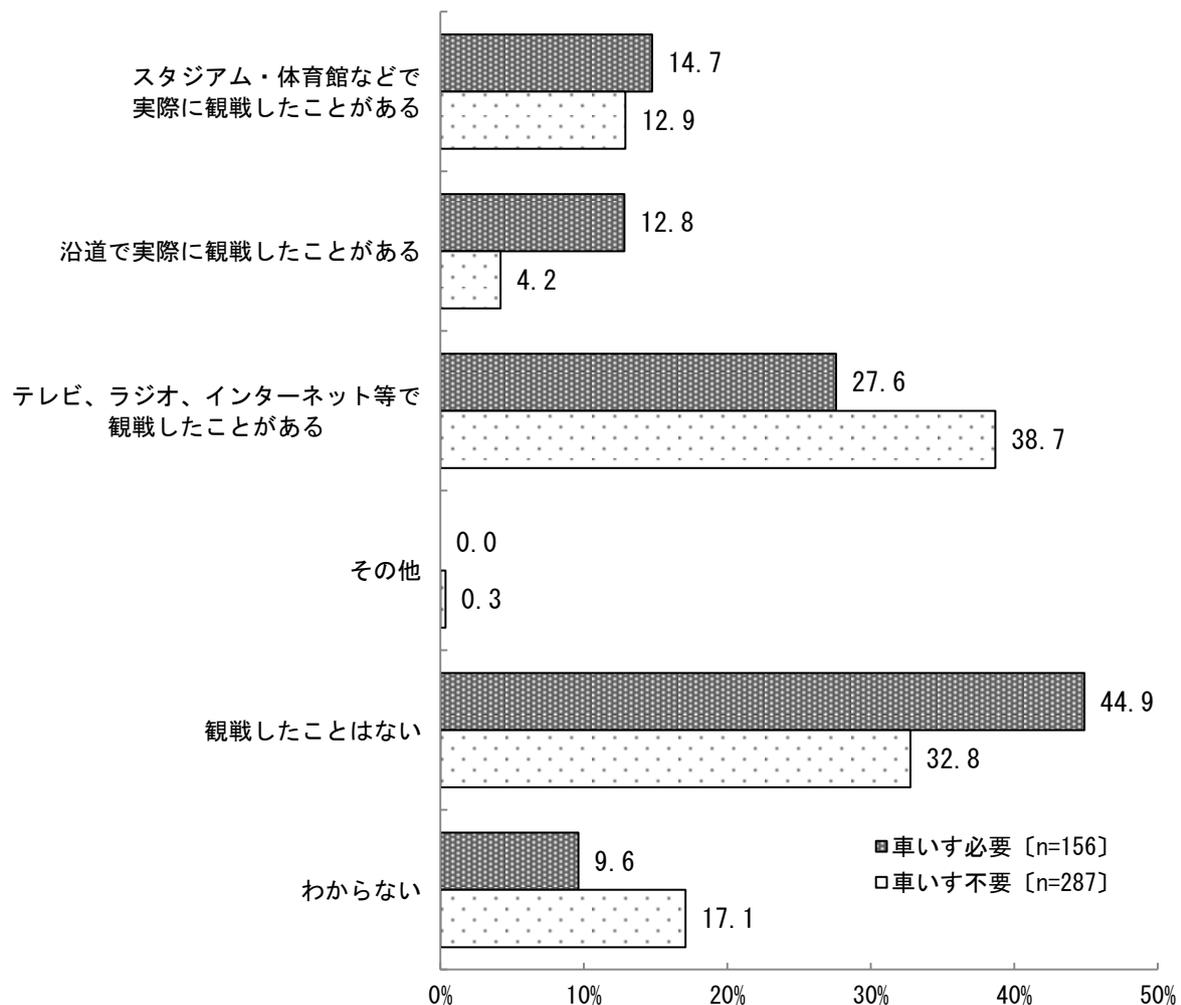
【図表79】 現在のスポーツ・運動への取組（日常生活で車いす必要／不要）



(15) 過去1年間のスポーツ観戦の有無

過去1年間のスポーツ観戦の有無では、「日常生活で車いすを必要とする」は、「観戦したことはない」(44.9%)が最も高かった。「日常生活で車いすを必要としない」は、「テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある」(38.7%)の割合が最も高かった。【図表80】

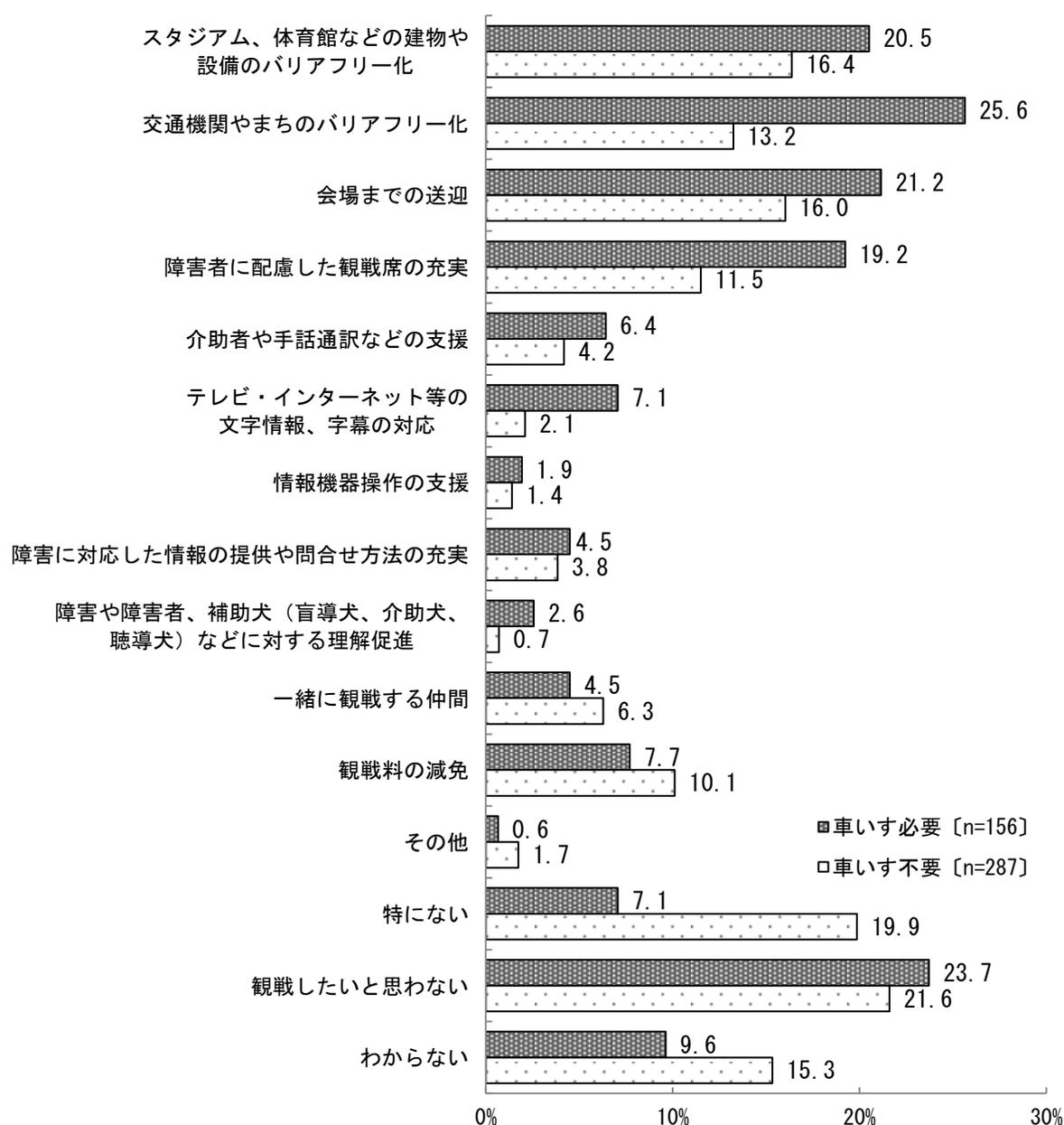
【図表80】 過去1年間のスポーツ観戦の有無（日常生活で車いす必要／不要）[複数回答]



(16) スポーツ観戦を行う際に必要と考える支援

スポーツ観戦を行う際に必要と考える支援は、「日常生活で車いすを必要とする」は、「交通機関やまちのバリアフリー化」(25.6%)が最も高く、次いで「会場までの送迎」(21.2%)、「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(20.5%)の順であった。「日常生活で車いすを必要としない」は、「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(16.4%)が最も高く、次いで「会場までの送迎」(16.0%)、「交通機関やまちのバリアフリー化」(13.2%)の順であった。【図表 81】

【図表 81】 スポーツ観戦を行う際に必要と考える支援（日常生活で車いす必要／不要）〔複数回答〕



4 まとめ

今回の調査をとりまとめると以下のとおりである。

○ 調査結果

・週に1日以上スポーツ・運動を実施した人は32.4%、スポーツ・運動を実施していない人は49.9%

週に1日以上、何らかのスポーツ・運動を実施した人は32.4%、スポーツ・運動を実施していない人は49.9%であった。障害種別では、聴覚・平衡機能障害の41.6%が週1日以上スポーツ・運動を実施しているのに対して、知的障害では25.1%であった。【図表27、29】(P16～17参照)

・過去1年間に実施したスポーツ・運動の上位種目は、「ウォーキング、散歩」、「体操」、「室内運動器具を用いる運動」

過去1年間にスポーツ・運動を実施した人が行った種目は、「ウォーキング、散歩」が73.8%と最も高く、次いで「体操」(27.5%)、「室内運動器具を用いる運動」(17.4%)であった。【図表34】(P21参照)

・スポーツ・運動を実施する場所は、「道路や遊歩道」、「自宅」、「広場や公園」

スポーツ・運動を実施する場所は、「道路や遊歩道」が43.4%と最も高く、次いで「自宅」(32.3%)、「広場や公園」(26.0%)であった。【図表37】(P25参照)

・スポーツ・運動を一緒に実施する人は、「一人」、「家族」、「福祉施設の職員・仲間」

スポーツ・運動を一緒に実施する人は、「一人」が51.0%と最も高く、次いで「家族」(26.0%)、「福祉施設の職員・仲間」(10.1%)であった。【図表39】(P28参照)

・スポーツ・運動を実施する理由は、「健康・体力づくりのため」、「運動不足解消のため」、「楽しみや気晴らしのため」

スポーツ・運動を実施する理由は、「健康・体力づくりのため」が59.1%と最も高く、次いで「運動不足解消のため」(42.1%)、「楽しみや気晴らしのため」(33.8%)であった。障害種別では、他の障害に比べて、音声・言語・そしゃく障害は「自己の記録や能力を向上させるため」(18.6%)、知的障害は「友人・仲間との交流のため」(15.2%)、精神障害は「精神の修養や訓練のため」(19.1%)が高かった。【図表41、42】(P30～31参照)

・スポーツ・運動を実施しない理由は、「活動したいと思わない」、「活動したいが、身体的にできない」、「活動したいが、時間がない」

スポーツ・運動を実施しない理由は、「活動したいと思わない」が73.6%と最も高く、次いで「活動したいが、身体的にできない」(17.6%)、「活動したいが、時間がない」(3.7%)であった。【図表44】(P34参照)

・スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援は「交通機関やまちのバリアフリー化」など様々

スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援は、「交通機関やまちのバリアフリー化」が9.7%と最も高く、次いで「会場までの送迎」(9.2%)、「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(8.9%)、「適切な指導者」(8.8%)、「障害にあわせたプログラムの充実」(7.2%)、と様々である。【図表48】(P39参照)

・全体の半数以上の人がスポーツ・運動に関心がない

スポーツ・運動の取組に対して、「スポーツや運動に関心はない」との回答が54.9%を占めており、全体の半数以上の人

がスポーツ・運動に無関心であった。障害種別では、視覚障害は67.1%、知的障害は63.2%が無関心であった。【図表55、58】(P44～45参照)

○ 参考（考察）

障害のある都民（18歳以上）のスポーツ・運動実施率を高める観点から、以下のとおり、分析・考察を行った。

①スポーツ・運動の実施が週1日未満の方が必要と考える支援

週1日未満のスポーツ・運動実施者が、スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援については、実施頻度毎にみると、月に1～3日程度では、「障害にあわせたプログラムの充実」（16.8%）が最も高い。3か月に1, 2日程度では、「交通機関やまちのバリアフリー化」（23.3%）や、「一緒に行く仲間」（20.0%）、年に1～3日程度では、「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」（25.0%）が高かった。【図表82】

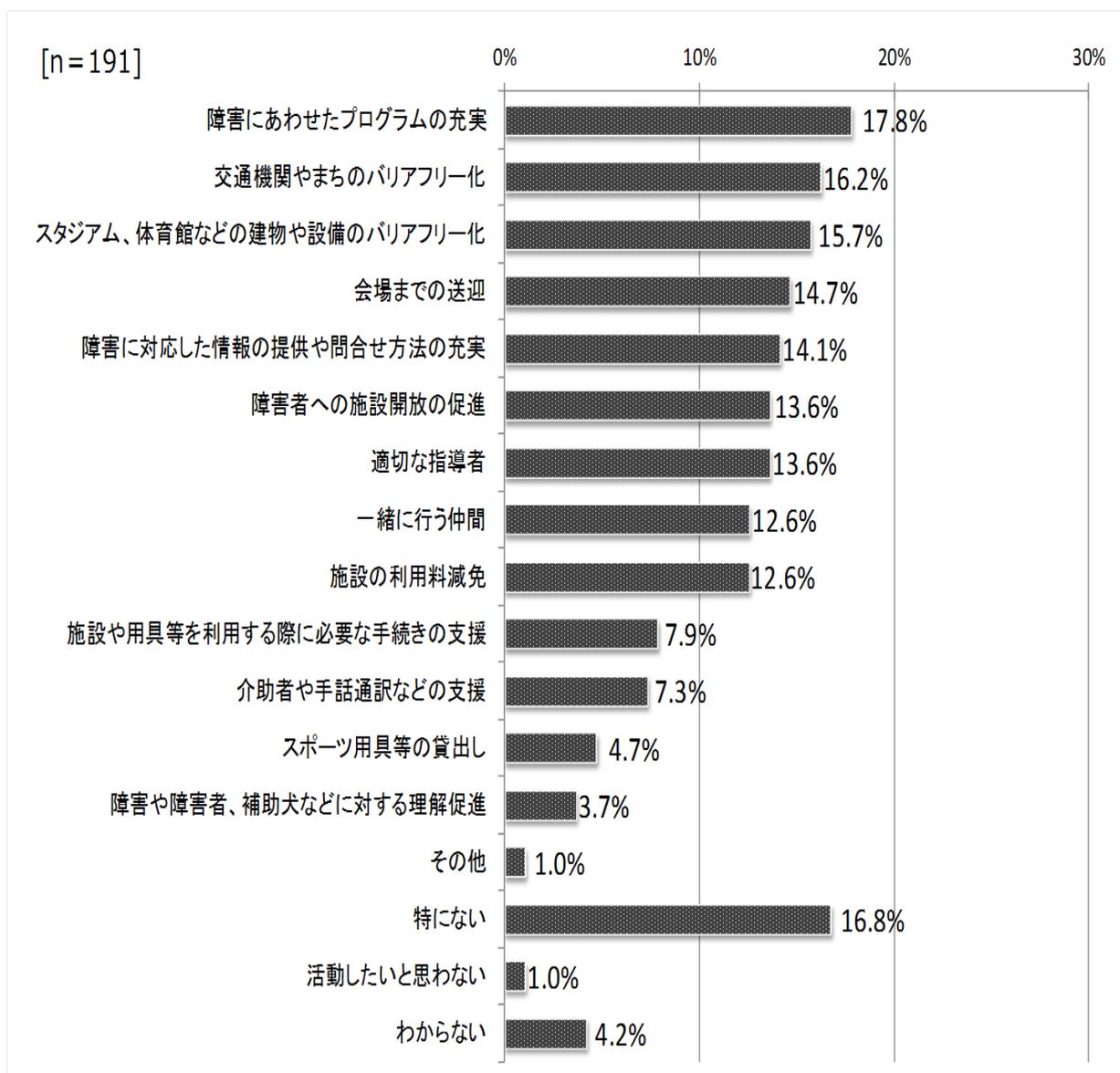
【図表82】スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援（スポーツや運動の実施頻度別）[複数回答]

	1 } 3 月 日に 程 度	1 } 3 か 月 に 程 度	1 } 3 年 に 程 度
	n=95	n=30	n=24
1位	障害にあわせたプログラムの充実 16.8	交通機関やまちのバリアフリー化 23.3	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化 25.0
2位	交通機関やまちのバリアフリー化 15.8	一緒に行く仲間 20.0	施設の利用料減免 16.7
3位	・スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化 ・会場までの送迎	適切な指導者 11.6	・交通機関やまちのバリアフリー化 ・障害者への施設開放の促進 ・障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実 ・施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援 ・適切な指導者 ・一緒に行く仲間
4位		施設の利用料減免 13.3	
5位	障害者への施設開放の促進 10.5	・スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化 ・会場までの送迎 ・施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援 ・障害や障害者、補助犬などに対する理解促進 10.0	8.3

② 「スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい」と回答した方が必要と考える支援

「スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい」と回答した方が、スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援は、「障害にあわせたプログラムの充実」(17.8%)が最も高かった。次いで「交通機関やまちのバリアフリー化」(16.2%)、をはじめ、きめ細かい対応を求める回答が多かった。【図表 83】

【図表 83】 スポーツ・運動を行う際に必要な支援
 (「スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい」と回答した方) [複数回答]



③ 「活動をしたいが、身体的にできない」と回答した方の障害種別・程度

「活動をしたいが、身体的にできない」と回答した方の障害種別・程度は、肢体不自由(下肢)【手帳非保持】が(23人)で最も多く、次いで、肢体不自由(下肢)【重度】(22人)、肢体

不自由（下肢）【軽度】（17人）、内部障害【重度】（14人）、肢体不自由（上肢）【重度】（11人）、肢体不自由（体幹）【手帳非保持】（11人）が多かった。【図表 84】

【図表 84】「活動をしたいが、身体的にできない」と回答した方の障害種別、程度

	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・ そしやく障害	肢体不自由（上肢）	肢体不自由（下肢）	肢体不自由（体幹）	（脳原性運動機能障害） 肢体不自由	内部障害	知的障害	精神障害	その他
重度(n=67)	1	1	2	11	22	8	1	14	4	1	2
軽度(n=43)	0	0	1	4	17	6	1	8	1	5	0
手帳非保持(n=69)	3	6	1	7	23	11	1	5	4	5	3
合計(n=179)	4	7	4	22	62	25	3	27	9	11	5

④③で回答の多かった方と同じ障害種別・程度の方が実施しているスポーツ・運動

一方、図表 84 において回答が多かった方と同じ障害種別・程度の方が実施しているスポーツ・運動は、図表 35 と同様に、「ウォーキング、散歩」、「体操」、「室内運動器具を用いる運動」、「水泳・遊泳」が多く、障害が重度あっても、多様なスポーツ・運動に取り組んでいる。【図表 85】

【図表 85】 図表 84 において回答が多かった方と同じ
障害種別・程度の方が実施しているスポーツ・運動

(%)

	肢体不自由(上肢)		肢体不自由(下肢)				肢体不自由(体幹)		内部障害			
	重度(n=48)		重度(n=65)		軽度(n=111)		手帳非保持者(n=90)		手帳非保持者(n=45)			
1位	ウォーキング、散歩	27.1	ウォーキング、散歩	13.8	ウォーキング、散歩	38.7	ウォーキング、散歩	26.7	ウォーキング、散歩	15.6	ウォーキング、散歩	44.6
2位	体操	10.4	室内運動器具を用いる運動	7.7	体操	24.3	体操	11.1	体操	4.4	体操	15.7
3位	陸上競技	6.3	体操	6.2	室内運動器具を用いる運動	14.4	水泳・遊泳	6.7	室内運動器具を用いる運動	4.4	室内運動器具を用いる運動	13.3
4位	室内運動器具を用いる運動	4.2	水泳・遊泳	4.6	球技	8.1	室内運動器具を用いる運動	4.4	射的	2.2	水泳・遊泳	6.0
5位	水泳・遊泳		球技	3.1	水泳・遊泳	7.2	球技	1.1	ウィンタースポーツ		アウトドアスポーツ	3.6
6位	ダンス		障害者スポーツ		サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ	3.6	ウィンタースポーツ		ウィンタースポーツ		陸上競技	2.4
7位	球技		ウオータースポーツ	1.5	陸上競技	1.8	アウトドアスポーツ	スカイスポーツ	ダンス			
8位	射的	サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ	格闘技		-		-	-	球技			
9位	ウオータースポーツ	2.1	-	-	スカイスポーツ	-	-	-	武道	1.2		
10位	サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ		-	-	障害者スポーツ	-	-	-	ウオータースポーツ			
	障害者スポーツ			ダンス	0.9				サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ			
	アウトドアスポーツ			射的								
				ウィンタースポーツ								
				ウオータースポーツ								

以上の結果を踏まえると、障害のある都民（18歳以上）のスポーツ・運動の実施率を向上させるためには、「障害にあわせたプログラムの充実」や「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」、「施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援」などのソフト面から環境を整えていくことに加え、「交通機関やまちのバリアフリー化」や「スタジアムや体育館などの建物や設備のバリアフリー化」などのハード面での整備も重要である。

また、「障害者への施設開放の促進」といった場の拡大のほか、「一緒に行く仲間」、「適切な指導者」などの多様な担い手の育成を図るとともに、一緒にスポーツ・運動に取り組める仲間・指導者に出会える機会の提供や、自分の障害に合ったスポーツを知る機会の提供も大切と言える。

○参考文献・付録

参考文献

東京都, 東京都スポーツ推進総合計画, 平成 30 年 3 月, 203p

笹川スポーツ財団, 『地域における障害者スポーツ普及促進事業(障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究)』, 平成 30 年 3 月, 132p

東京都生活文化局, 都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査, 平成 29 年 1 月, 188p

【資料】調査設問

	分野	設問番号	設問																								
属性	回答者性別	1	あなたの性別をお答えください。(当てはまるもの1つ) 1 <input type="checkbox"/> 男性 2 <input type="checkbox"/> 女性																								
属性	回答者年齢	2	あなたの年齢をお答えください。 <input style="width: 40px;" type="text"/> 歳																								
属性	回答者居住地域	3	あなたの居住している区市町村をお答えください。 区市町村(プルダウンで選択) <input style="width: 120px;" type="text"/> 郵便番号 <input style="width: 120px;" type="text"/>																								
属性	障害の有無	4	あなた、あるいはあなたが 同居する ご家族で障害のある方はいますか。(当てはまるものすべて) ※障害者手帳の有無は問いません 1 <input type="checkbox"/> あなたご自身 2 <input type="checkbox"/> 配偶者 3 <input type="checkbox"/> 父親 4 <input type="checkbox"/> 母親 5 <input type="checkbox"/> 兄弟 6 <input type="checkbox"/> 姉妹 7 <input type="checkbox"/> お子様 8 <input type="checkbox"/> 上記の中で障害のある方はいない																								
※以下の項目は、障害のある方それぞれについて、お答えください。 ※障害のある兄弟、姉妹、またはお子様が複数いる場合は、それぞれ 年齢が一番上の方についてのみ お答えください。																											
属性	障害者の年齢	5	ご家族で障害のある方の年齢と誕生日をお答えください。(それぞれ数値をご記入ください) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">ヨコに回答</th> <th style="width: 20%;">年齢</th> <th style="width: 50%;">誕生日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あなたご自身</td> <td><input style="width: 40px;" type="text"/> 歳</td> <td><input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日</td> </tr> <tr> <td>配偶者</td> <td><input style="width: 40px;" type="text"/> 歳</td> <td><input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日</td> </tr> <tr> <td>父親</td> <td><input style="width: 40px;" type="text"/> 歳</td> <td><input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日</td> </tr> <tr> <td>母親</td> <td><input style="width: 40px;" type="text"/> 歳</td> <td><input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日</td> </tr> <tr> <td>兄弟</td> <td><input style="width: 40px;" type="text"/> 歳</td> <td><input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日</td> </tr> <tr> <td>姉妹</td> <td><input style="width: 40px;" type="text"/> 歳</td> <td><input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日</td> </tr> <tr> <td>お子様</td> <td><input style="width: 40px;" type="text"/> 歳</td> <td><input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日</td> </tr> </tbody> </table>	ヨコに回答	年齢	誕生日	あなたご自身	<input style="width: 40px;" type="text"/> 歳	<input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日	配偶者	<input style="width: 40px;" type="text"/> 歳	<input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日	父親	<input style="width: 40px;" type="text"/> 歳	<input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日	母親	<input style="width: 40px;" type="text"/> 歳	<input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日	兄弟	<input style="width: 40px;" type="text"/> 歳	<input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日	姉妹	<input style="width: 40px;" type="text"/> 歳	<input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日	お子様	<input style="width: 40px;" type="text"/> 歳	<input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日
ヨコに回答	年齢	誕生日																									
あなたご自身	<input style="width: 40px;" type="text"/> 歳	<input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日																									
配偶者	<input style="width: 40px;" type="text"/> 歳	<input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日																									
父親	<input style="width: 40px;" type="text"/> 歳	<input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日																									
母親	<input style="width: 40px;" type="text"/> 歳	<input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日																									
兄弟	<input style="width: 40px;" type="text"/> 歳	<input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日																									
姉妹	<input style="width: 40px;" type="text"/> 歳	<input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日																									
お子様	<input style="width: 40px;" type="text"/> 歳	<input style="width: 40px;" type="text"/> 月 <input style="width: 40px;" type="text"/> 日																									
属性	障害者の性別	6	障害のあるお子様の性別をお答えください。(当てはまるもの1つ) 1 <input type="checkbox"/> 男性 2 <input type="checkbox"/> 女性																								

属性	障害種別	7	<p>あなた、あるいはご家族で障害のある方の障害の種類をお答えください。(当てはまるものすべて)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視覚障害</td> <td>聴覚・平衡機能障害</td> <td>音声・言語・そしゃく障害</td> <td>肢体不自由(上肢)</td> <td>肢体不自由(下肢)</td> <td>肢体不自由(体幹)</td> <td>(肢体不自由(脳原性運動機能障害※))</td> <td>内部障害</td> <td>知的障害</td> <td>精神障害</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>ヨコに回答</td> <td></td> </tr> <tr> <td>あなたご自身</td> <td></td> </tr> <tr> <td>配偶者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>父親</td> <td></td> </tr> <tr> <td>母親</td> <td></td> </tr> <tr> <td>兄弟</td> <td></td> </tr> <tr> <td>姉妹</td> <td></td> </tr> <tr> <td>お子様</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※脳性まひによる脳病変上肢機能障害、脳病変移動機能障害など</p>											1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく障害	肢体不自由(上肢)	肢体不自由(下肢)	肢体不自由(体幹)	(肢体不自由(脳原性運動機能障害※))	内部障害	知的障害	精神障害	その他	ヨコに回答											あなたご自身											配偶者											父親											母親											兄弟											姉妹											お子様										
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11																																																																																																														
視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく障害	肢体不自由(上肢)	肢体不自由(下肢)	肢体不自由(体幹)	(肢体不自由(脳原性運動機能障害※))	内部障害	知的障害	精神障害	その他																																																																																																																	
ヨコに回答																																																																																																																											
あなたご自身																																																																																																																											
配偶者																																																																																																																											
父親																																																																																																																											
母親																																																																																																																											
兄弟																																																																																																																											
姉妹																																																																																																																											
お子様																																																																																																																											
属性	障害種別	7-1	<p>問7で、選択肢4, 5, 6, 7のうち1つ以上該当した方にお聞きします 該当する方は日常生活で車いすを必要としていますか。(それぞれ当てはまるもの1つ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ヨコに回答</th> <th>必要とする</th> <th>必要としない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あなたご自身</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>配偶者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>父親</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>母親</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>兄弟</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>姉妹</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>お子様</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											ヨコに回答	必要とする	必要としない	あなたご自身			配偶者			父親			母親			兄弟			姉妹			お子様																																																																																								
ヨコに回答	必要とする	必要としない																																																																																																																									
あなたご自身																																																																																																																											
配偶者																																																																																																																											
父親																																																																																																																											
母親																																																																																																																											
兄弟																																																																																																																											
姉妹																																																																																																																											
お子様																																																																																																																											

《本調査》

分野	設問 番号	設問
障害のある()についてお伺いします。		
(属性)	障害者手帳の有無	1 障害のある()は障害者手帳はお持ちですか。(当てはまるものすべて) 1 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 1級 2 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 2級 3 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 3級 4 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 4級 5 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 5級 6 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 6級 7 <input type="checkbox"/> 療育手帳(愛の手帳)1度(最重度) 8 <input type="checkbox"/> 療育手帳(愛の手帳)2度(重度) 9 <input type="checkbox"/> 療育手帳(愛の手帳)3度(中度) 10 <input type="checkbox"/> 療育手帳(愛の手帳)4度(軽度) 11 <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 1級 12 <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 2級 13 <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 3級 14 <input type="checkbox"/> 障害者手帳は持っていない
(属性)	受傷の時期	2 障害のある()は何歳から障害がありますか 複数の障害がある方は、最初に障害が発生した年齢をお答えください。(当てはまるもの1つ) 1 <input type="checkbox"/> 出生時 2 <input type="checkbox"/> <input type="text"/> 歳のとき
アンケート	過去1年間の実施種目	3 障害のある()は、この1年間にスポーツや運動を行いましたか。(当てはまるものすべて) ※学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます。 1 <input type="checkbox"/> ウォーキング、散歩(散策、ベットの散歩など) 2 <input type="checkbox"/> 体操(ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳びなど) 3 <input type="checkbox"/> 室内運動器具(ウエイト器具、ランニングマシン、バランスボールなど)を用いる運動 4 <input type="checkbox"/> 陸上競技(ランニング、ジョギングなどの軽い運動も含めます) 5 <input type="checkbox"/> 水泳・遊泳(水中歩行・水中運動) 6 <input type="checkbox"/> 球技(キャッチボールなどのボールを使った軽い運動も含めます) 7 <input type="checkbox"/> ダンス(フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、民謡踊りなど) 8 <input type="checkbox"/> 格闘技(ボクシング、レスリング、相撲など) 9 <input type="checkbox"/> 武道(柔道、剣道、空手、合気道など) 10 <input type="checkbox"/> 射的(弓道、アーチェリー、ダーツ、スポーツ吹矢など) 11 <input type="checkbox"/> ウィンタースポーツ(スキー、スノーボード、スケートなど) 12 <input type="checkbox"/> ウォータースポーツ(ボート、ヨット、スキューバダイビング、スクーバダイビング、カヌー、水上バイク、サーフィン、ウインドサーフィン、ボディボード、ボードセーリングなど) 13 <input type="checkbox"/> スカイスポーツ(ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビングなど) 14 <input type="checkbox"/> アウトドアスポーツ(ハイキング、ワンダーフォーゲル、釣り、登山、キャンプなど) 15 <input type="checkbox"/> サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ 16 <input type="checkbox"/> ブラインドサッカー 17 <input type="checkbox"/> 車いすテニス 18 <input type="checkbox"/> サウンドテーブルテニス 19 <input type="checkbox"/> シットイングバレーボール 20 <input type="checkbox"/> 車いすバスケットボール 21 <input type="checkbox"/> ウィルチェアラグビー(車いすラグビー) 22 <input type="checkbox"/> ボッチャ 23 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/> 24 <input type="checkbox"/> 特にない

アンケート	実施頻度	<p>障害のある()のスポーツや運動を実施した日数を全部足し合わせると、どの程度の頻度で行っていますか。(当てはまるもの1つ)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 週3日以上(年151日以上)</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 週2日程度(年101日～150日)</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 週1日程度(年51日～100日)</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 月に1～3日程度(年12日～50日)</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 3か月に1.2日程度(年4日～11日)</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 年に1～3日程度</p> <p>7 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	実施した場所	<p>障害のある()がスポーツや運動を行った場所はどこですか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 自宅</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 道路や遊歩道</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 広場や公園</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 民間のスポーツ施設</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 公共のスポーツ施設(障害者専用施設)</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 小中高校の体育施設</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 特別支援学校の体育施設</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 職場のスポーツ施設</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 福祉施設</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 医療機関</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 山・川・海</p> <p>13 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>14 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	一緒に実施する人	<p>障害のある()がスポーツや運動を一緒にするのは誰ですか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 一人</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 家族</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 福祉施設の職員・仲間</p> <p>4 <input type="checkbox"/> スポーツ教室の指導者・仲間</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 地域の公共スポーツ施設の職員・仲間</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 障害者専用スポーツ施設の職員・仲間</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 障害がある人のサークル・障害者スポーツサークル等の仲間</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 障害がある人やない人など様々な人がいるサークルの仲間</p> <p>9 <input type="checkbox"/> ボランティアの人たち</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 学校の先生や学校の友達</p> <p>11 <input type="checkbox"/> その他の友人・知人</p> <p>12 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>13 <input type="checkbox"/> わからない</p>

アンケート	実施した理由	<p>障害のある()が、スポーツや運動をしたのどのような理由からですか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 健康・体力づくりのため</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 楽しみや気晴らしのため</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 運動不足解消のため</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 精神の修養や訓練のため</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 自己の記録や能力を向上させるため</p> <p>6 <input type="checkbox"/> リハビリテーションや医療・治療のため</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 家族のふれあいのため</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 友人・仲間との交流のため</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 美容や肥満解消のため</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 障害者スポーツ大会に参加するため</p> <p>11 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>12 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	実施していない理由	<p>障害のある()が、スポーツや運動を行っていないのどのような理由からですか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 活動したいが、身体的にできない</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 活動したいが、身近なところにスポーツや運動がやれる場所がない</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 活動したいが、自分に合ったスポーツや運動の情報がない</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 活動したいが、一緒にやる人がいない</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 活動したいが、時間がない</p> <p>6 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>7 <input type="checkbox"/> 活動したいと思わない</p>
アンケート	実施したいスポーツ	<p>障害のある()が、今後、行いたいスポーツや運動はありますか。(当てはまるものすべて) ※学校の体育の授業として行うものや、職業として行う予定のものは除きます。</p> <p>1 <input type="checkbox"/> ウォーキング、散歩(散策、ベットの散歩など)</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 体操(ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳びなど)</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 室内運動器具(ウエイト器具、ランニングマシン、バランスボールなど)を用いる運動</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 陸上競技(ランニング、ジョギングなどの軽い運動も含めます)</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 水泳・遊泳(水中歩行・水中運動)</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 球技(キャッチボールなどのボールを使った軽い運動も含めます)</p> <p>7 <input type="checkbox"/> ダンス(フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、民謡踊りなど)</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 格闘技(ボクシング、レスリング、相撲など)</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 武道(柔道、剣道、空手、合気道など)</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 射的(弓道、アーチェリー、ダーツ、スポーツ吹矢など)</p> <p>11 <input type="checkbox"/> ウィンタースポーツ(スキー、スノーボード、スケートなど)</p> <p>12 <input type="checkbox"/> オータースポーツ(ボート、ヨット、スキndaイビング、スクーバダイビング、カヌー、水上バイク、サーフィン、ウィンドサーフィン、ボディボード、ボードセーリングなど)</p> <p>13 <input type="checkbox"/> スカイスポーツ(ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビングなど)</p> <p>14 <input type="checkbox"/> アウトドアスポーツ(ハイキング、ワンダーフォーゲル、釣り、登山、キャンプなど)</p> <p>15 <input type="checkbox"/> サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ</p> <p>16 <input type="checkbox"/> ブラインドサッカー</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 車いすテニス</p> <p>18 <input type="checkbox"/> サウンドテーブルテニス</p> <p>19 <input type="checkbox"/> シットティングバレーボール</p> <p>20 <input type="checkbox"/> 車いすバスケットボール</p> <p>21 <input type="checkbox"/> ウィルチェアーラグビー(車いすラグビー)</p> <p>22 <input type="checkbox"/> ボッチャ</p> <p>23 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>24 <input type="checkbox"/> 特にない</p>

アンケート	必要な支援	10	<p>障害のある()が、スポーツや運動を行う際に必要な支援は何ですか。 特に、現在不足していて、今後活動する際に必要だと思われる支援をお答えください。(上位3つまで)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 交通機関やまちのバリアフリー化</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 会場までの送迎</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 障害者への施設開放の促進</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 障害にあわせたプログラムの充実</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 介助者や手話通訳などの支援</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 適切な指導者</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 一緒に行く仲間</p> <p>12 <input type="checkbox"/> スポーツ用具等の貸出し</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 施設の利用料減免</p> <p>14 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>15 <input type="checkbox"/> 特にない</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 活動したいと思わない</p> <p>17 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	クラブ加入状況	11	<p>障害のある()は、現在、スポーツクラブや同好会・サークルに加入していますか。(当てはまるもの1つ)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 加入している</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 加入していない</p>
アンケート	クラブ加入状況	12	<p>問11で「加入している」と答えた方にお伺いします。 加入しているスポーツクラブや同好会・サークルは、主にどのような人たちの集まりですか。(当てはまるもの1つ) ※複数のスポーツクラブ・同好会・サークルに所属している場合は、最も多く参加しているものについてお答えください。</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 地域住民が中心となったクラブ・同好会・サークル</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 学校の運動部・クラブ・サークル</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 学校のOB・OGが中心となったクラブ・同好会・サークル</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 職場の仲間を中心としたクラブ・同好会・サークル</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 友人・知人が中心のクラブ・同好会・サークル</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 障害者スポーツ専用・優先施設のクラブ・同好会・サークル</p> <p>8 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>9 <input type="checkbox"/> わからない</p>

アンケート	関心	<p>障害のある()の現在のスポーツや運動への取組について、最も近いものを選んでください。(当てはまるもの1つ)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> スポーツや運動を行っており、満足している</p> <p>2 <input type="checkbox"/> スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい</p> <p>3 <input type="checkbox"/> スポーツや運動を行いたいと思うができない</p> <p>4 <input type="checkbox"/> スポーツや運動に関心はない</p>
アンケート	スポーツ観戦	<p>障害のある()は、この1年間にスポーツを観戦しましたか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> スタジアム・体育館などで実際に観戦したことがある</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 沿道で実際に観戦したことがある</p> <p>3 <input type="checkbox"/> テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある</p> <p>4 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>5 <input type="checkbox"/> 観戦したことはない</p> <p>6 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	必要な支援	<p>障害のある()が、スポーツを観戦する上で必要な支援は何ですか。特に、現在不足していて、今後観戦する際に必要だと感じている支援をお答えください。(上位3つまで)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 交通機関やまちのバリアフリー化</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 会場までの送迎</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 障害者に配慮した観戦席の充実</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 介助者や手話通訳などの支援</p> <p>6 <input type="checkbox"/> テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 情報機器操作の支援</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 一緒に観戦する仲間</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 観戦料の減免</p> <p>12 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>13 <input type="checkbox"/> 特にない</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 観戦したいと思わない</p> <p>15 <input type="checkbox"/> わからない</p>

ご協力ありがとうございました。